

第 2 次神崎市総合計画 住民意識調査報告書

平成 29 年 11 月
神 崎 市

目次

1. 調査概要	1
2. アンケート調査結果	2
3. アンケート調査票	47

1. 調査概要

(1) 調査の目的

神埼市の住みよさや印象、これまでのまちづくりへの評価や今後のまちづくりに対する考え方等を把握し、「第2次神埼市総合計画」の策定に反映することを目的に、アンケート調査を実施した。

(2) 調査対象・方法・期間

- 調査対象：18歳以上の市民の中から、2,000名を無作為に抽出
- 調査方法：調査票の郵送配布・郵送回収
- 調査期間：平成29年7月31日（発送）～8月14日

(3) サンプル数

- 本資料のサンプル数（平成29年8月14日回収分までを対象としている）

配布数	回答数	回収率
2,000	519	26.0%

(4) 留意事項

表中、グラフ中の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しており、そのため、各選択肢の構成比の合計が100%にならない場合がある。

クロス集計における各設問の表の回答割合に関して、表中の **太字** は1番多い項目、**太字** は2番目に多い項目、**太字** は3番目に多い項目を示している。

2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。

図表中の「N」あるいは「n」は、比率算出上の基数（標本数）を表す記号である。「N」は全標本数ベース、「n」は該当数ベースを示している。

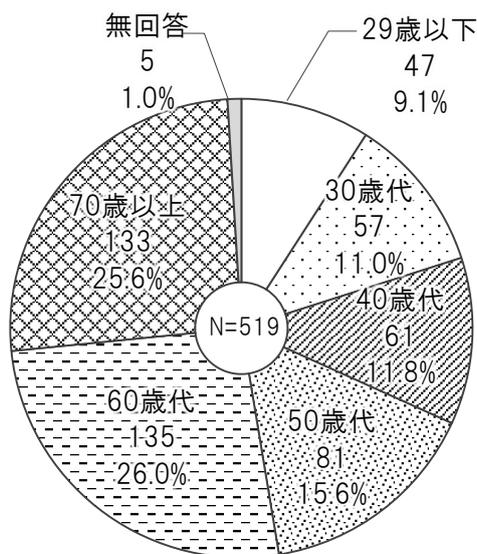
2. アンケート調査結果

I. あなたご自身のことについておたずねします。

【問1】 あなた自身のことについてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

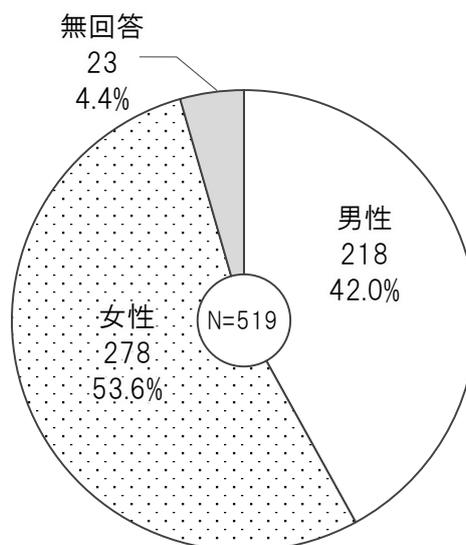
① 年齢

「60歳代」と回答した人が26.0%で最も多い。次いで「70歳以上」と回答した人が25.6%、「50歳代」と回答した人が15.6%で60代以上の回答が全体の半数を占めている。



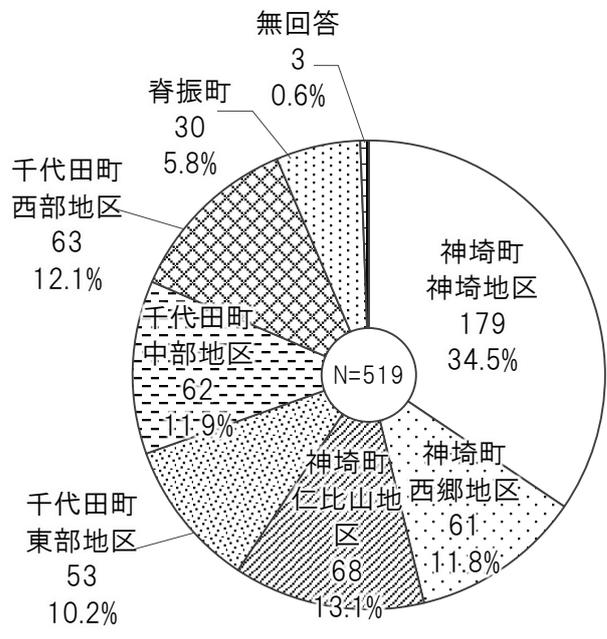
② 性別

「男性」と回答した人が42.0%、「女性」と回答した人が53.6%で若干女性の回答が多い。



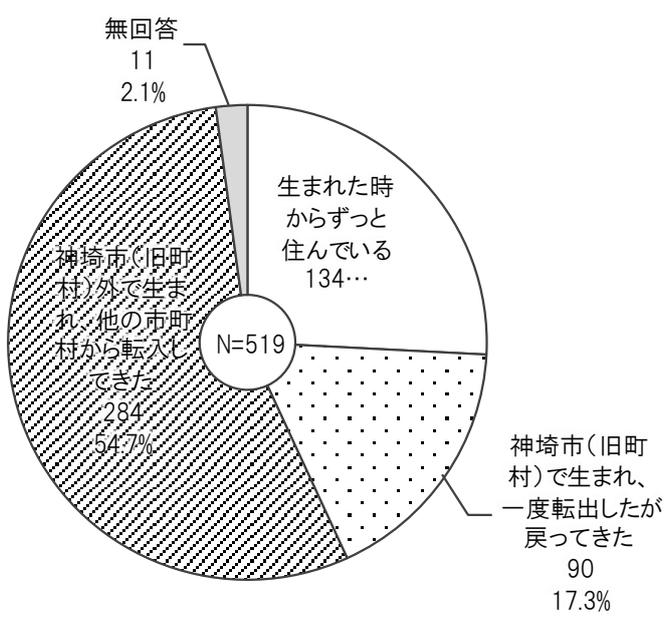
③ お住まいの地域

「神埼町神埼地区」と回答した人が34.5%で最も多い。次いで、「神埼町仁比山地区」と回答した人が13.1%、「千代田町西部地区」と回答した人が12.1%、「千代田町中部地区」と回答した人が11.9%となっている。



④ 神崎市でのお住まい状況

「神崎市（旧町村）外で生まれ、他の市町村から転入してきた」と回答した人が54.7%で最も多い。次いで、「生まれた時からずっと住んでいる」と回答した人が25.8%、「神崎市（旧町村）で生まれ、一度転出したが戻ってきた」と回答した人が17.3%となっている。



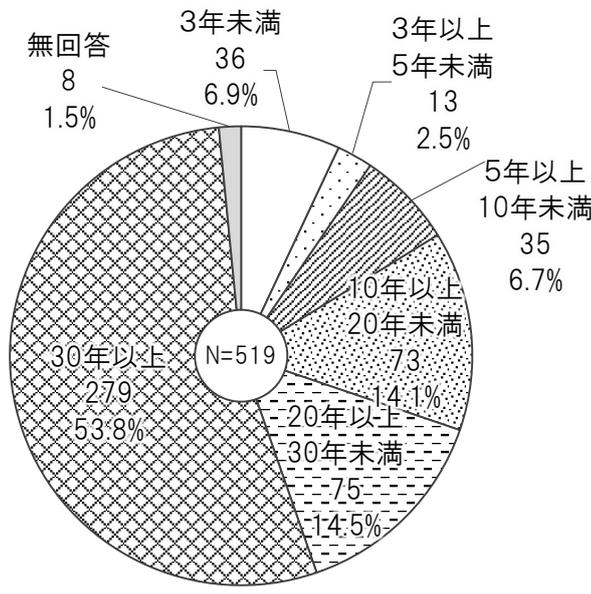
■各属性のクロス集計結果

単位＝上段：％、下段：件数

		サンプル数	と生 住ま れた でい る時 から ずつ	てれ きた 度 転 出 し た が 戻 つ	神 埼 市 (旧 町 村) で 生 ま れ て 入 り ま し た	神 埼 市 (旧 町 村) 外 で 生 ま れ た 他 の 町 村 か ら 転 入 し た	無 回 答
全 体		100.0 519	25.8 134	17.3 90	54.7 284	2.1 11	
年 齢 別	29歳以下	100.0 47	34.0 16	10.6 5	55.3 26	0.0 0	
	30歳代	100.0 57	14.0 8	24.6 14	61.4 35	0.0 0	
	40歳代	100.0 61	21.3 13	18.0 11	60.7 37	0.0 0	
	50歳代	100.0 81	25.9 21	19.8 16	51.9 42	2.5 2	
	60歳代	100.0 135	25.2 34	18.5 25	55.6 75	0.7 1	
	70歳以上	100.0 133	30.8 41	14.3 19	51.1 68	3.8 5	
性 別	男性	100.0 218	34.9 76	21.6 47	42.7 93	0.9 2	
	女性	100.0 278	18.7 52	14.4 40	64.7 180	2.2 6	
居 住 地 別	神埼町神埼地区	100.0 179	21.8 39	15.6 28	62.0 111	0.6 1	
	神埼町西郷地区	100.0 61	19.7 12	14.8 9	63.9 39	1.6 1	
	神埼町仁比山地区	100.0 68	32.4 22	17.6 12	50.0 34	0.0 0	
	千代田町東部地区	100.0 53	37.7 20	22.6 12	34.0 18	5.7 3	
	千代田町中部地区	100.0 62	27.4 17	27.4 17	41.9 26	3.2 2	
	千代田町西部地区	100.0 63	23.8 15	14.3 9	60.3 38	1.6 1	
	脊振町	100.0 30	30.0 9	10.0 3	56.7 17	3.3 1	
居 住 年 数 別	3年未満	100.0 36	0.0 0	5.6 2	94.4 34	0.0 0	
	3年以上5年未満	100.0 13	0.0 0	23.1 3	76.9 10	0.0 0	
	5年以上10年未満	100.0 35	0.0 0	20.0 7	80.0 28	0.0 0	
	10年以上20年未満	100.0 73	6.8 5	15.1 11	76.7 56	1.4 1	
	20年以上30年未満	100.0 75	14.7 11	13.3 10	72.0 54	0.0 0	
	30年以上	100.0 279	41.6 116	20.4 57	36.2 101	1.8 5	

⑤ 神崎市での居住年数は

「30年以上」と回答した人が53.8%で最も多い。次いで、「20年以上30年未満」と回答した人が14.5%、「10年以上20年未満」と回答した人が14.1%となっている。10年以上の居住者が全体の8割強を占めている。



■各属性のクロス集計結果

単位＝上段：％、下段：件数

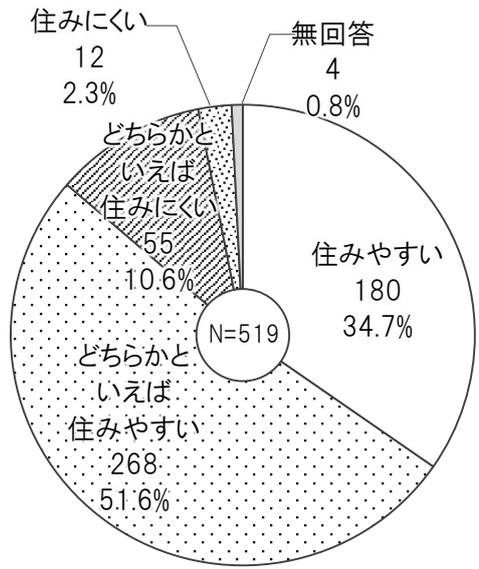
		サ ン プ ル 数	3 年 未 満	3 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上 1 0 年 未 満	満 1 0 年 以 上 2 0 年 未	満 2 0 年 以 上 3 0 年 未	3 0 年 以 上	無 回 答
全 体		100.0 519	6.9 36	2.5 13	6.7 35	14.1 73	14.5 75	53.8 279	1.5 8
年 齢 別	29歳以下	100.0 47	29.8 14	8.5 4	4.3 2	25.5 12	31.9 15	0.0 0	0.0 0
	30歳代	100.0 57	21.1 12	7.0 4	21.1 12	10.5 6	12.3 7	28.1 16	0.0 0
	40歳代	100.0 61	8.2 5	4.9 3	16.4 10	27.9 17	8.2 5	34.4 21	0.0 0
	50歳代	100.0 81	1.2 1	1.2 1	2.5 2	19.8 16	21.0 17	51.9 42	2.5 2
	60歳代	100.0 135	2.2 3	0.0 0	5.9 8	5.9 8	14.8 20	69.6 94	1.5 2
	70歳以上	100.0 133	0.8 1	0.8 1	0.8 1	10.5 14	8.3 11	78.2 104	0.8 1
性 別	男性	100.0 218	4.6 10	2.3 5	7.3 16	15.1 33	11.0 24	58.7 128	0.9 2
	女性	100.0 278	9.0 25	2.9 8	6.1 17	12.9 36	17.3 48	50.7 141	1.1 3
居 住 地 別	神埼町神埼地区	100.0 179	8.4 15	3.4 6	8.9 16	13.4 24	17.3 31	48.0 86	0.6 1
	神埼町西郷地区	100.0 61	4.9 3	1.6 1	4.9 3	14.8 9	24.6 15	49.2 30	0.0 0
	神埼町仁比山地区	100.0 68	5.9 4	0.0 0	7.4 5	11.8 8	11.8 8	63.2 43	0.0 0
	千代田町東部地区	100.0 53	1.9 1	5.7 3	1.9 1	11.3 6	3.8 2	73.6 39	1.9 1
	千代田町中部地区	100.0 62	4.8 3	1.6 1	4.8 3	11.3 7	16.1 10	59.7 37	1.6 1
	千代田町西部地区	100.0 63	9.5 6	1.6 1	7.9 5	20.6 13	12.7 8	44.4 28	3.2 2
	脊振町	100.0 30	13.3 4	3.3 1	6.7 2	16.7 5	3.3 1	53.3 16	3.3 1

【問2】 あなたは、神崎市が住みやすいと思いますか。(1つに○)

「どちらかといえば住みやすい」と回答した人が 51.6%で最も多い。次いで、「住みやすい」と回答した人も 34.7%と多く、神崎市を住みやすいまちだと思う人が 8 割台半ばを占めている。

その一方で、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と回答した人をあわせると、1 割強の人が神崎市を住みにくいまちと感じている。

居住地別で見ると、脊振町の居住者は約 3 割の人が住みにくいまちと感じており、他の地区と比べて多く、居住年数別で見ると、5 年未満の短期間の居住者に住みにくいまちと感じている人が多い。



■各属性のクロス集計結果

単位＝上段：％、下段：件数

		サンプル数	住みやすい	みどりがすいかといえば住	みどちらかといえば住	住みにくい	無回答
全体		100.0 519	34.7 180	51.6 268	10.6 55	2.3 12	0.8 4
年齢別	29歳以下	100.0 47	38.3 18	53.2 25	8.5 4	0.0 0	0.0 0
	30歳代	100.0 57	24.6 14	57.9 33	12.3 7	5.3 3	0.0 0
	40歳代	100.0 61	31.1 19	49.2 30	14.8 9	4.9 3	0.0 0
	50歳代	100.0 81	28.4 23	54.3 44	13.6 11	1.2 1	2.5 2
	60歳代	100.0 135	36.3 49	54.1 73	7.4 10	2.2 3	0.0 0
	70歳以上	100.0 133	42.1 56	45.9 61	10.5 14	1.5 2	0.0 0
性別	男性	100.0 218	36.2 79	52.8 115	8.3 18	2.3 5	0.5 1
	女性	100.0 278	34.5 96	50.0 139	12.9 36	2.2 6	0.4 1
居住地別	神埼町神埼地区	100.0 179	39.7 71	51.4 92	7.8 14	1.1 2	0.0 0
	神埼町西郷地区	100.0 61	34.4 21	49.2 30	8.2 5	6.6 4	1.6 1
	神埼町仁比山地区	100.0 68	36.8 25	54.4 37	7.4 5	1.5 1	0.0 0
	千代田町東部地区	100.0 53	26.4 14	56.6 30	15.1 8	1.9 1	0.0 0
	千代田町中部地区	100.0 62	38.7 24	46.8 29	11.3 7	1.6 1	1.6 1
	千代田町西部地区	100.0 63	31.7 20	52.4 33	12.7 8	3.2 2	0.0 0
	脊振町	100.0 30	13.3 4	56.7 17	26.7 8	3.3 1	0.0 0
居住年数別	3年未満	100.0 36	25.0 9	52.8 19	19.4 7	2.8 1	0.0 0
	3年以上5年未満	100.0 13	23.1 3	46.2 6	23.1 3	7.7 1	0.0 0
	5年以上10年未満	100.0 35	20.0 7	65.7 23	14.3 5	0.0 0	0.0 0
	10年以上20年未満	100.0 73	35.6 26	49.3 36	9.6 7	5.5 4	0.0 0
	20年以上30年未満	100.0 75	30.7 23	54.7 41	12.0 9	1.3 1	1.3 1
	30年以上	100.0 279	39.8 111	50.5 141	7.5 21	1.8 5	0.4 1

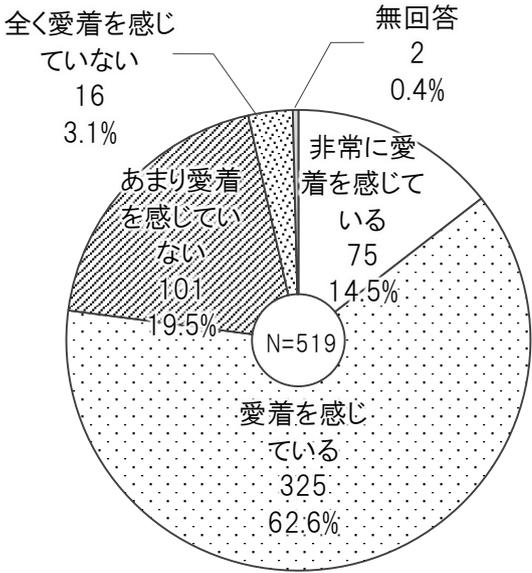
【問3】 あなたは、神崎市にどの程度愛着を感じていますか。(1つに○)

「愛着を感じている」と回答した人が 62.6%で最も多い。「非常に愛着を感じている」と回答した人は 14.5%で、神崎市に愛着を感じている人が 8 割弱を占めている。

また、「あまり愛着を感じていない」と回答した人も 19.5%と約 2 割を占め、「全く愛着を感じていない」と回答した層と合わせて、神崎市への愛着を高めるしかけを行うことも必要である。

年齢別でみると、60 歳以上の人々の愛着度が高く、年齢が下がるほど愛着度が低くなる傾向がみられる。性別でみると、男性より女性の方が愛着度が低い。

居住年数別でみると、30 年以上の長期間の居住者の愛着度が高く、居住年数が短いほど愛着度が低くなる傾向がみられる。



■各属性のクロス集計結果

単位＝上段：％、下段：件数

		サンプル数	いる 非常に愛着を感じて	愛着を感じている	あまり愛着を感じて	全く愛着を感じていない	無回答
全体		100.0 519	14.5 75	62.6 325	19.5 101	3.1 16	0.4 2
年齢別	29歳以下	100.0 47	21.3 10	46.8 22	29.8 14	2.1 1	0.0 0
	30歳代	100.0 57	3.5 2	66.7 38	21.1 12	8.8 5	0.0 0
	40歳代	100.0 61	14.8 9	52.5 32	31.1 19	1.6 1	0.0 0
	50歳代	100.0 81	12.3 10	61.7 50	23.5 19	2.5 2	0.0 0
	60歳代	100.0 135	15.6 21	65.9 89	14.8 20	3.7 5	0.0 0
	70歳以上	100.0 133	17.3 23	68.4 91	12.8 17	1.5 2	0.0 0
性別	男性	100.0 218	16.5 36	66.1 144	13.8 30	3.7 8	0.0 0
	女性	100.0 278	12.9 36	59.4 165	25.2 70	2.5 7	0.0 0
居住地別	神埼町神埼地区	100.0 179	17.9 32	63.1 113	16.2 29	2.8 5	0.0 0
	神埼町西郷地区	100.0 61	9.8 6	72.1 44	13.1 8	4.9 3	0.0 0
	神埼町仁比山地区	100.0 68	16.2 11	63.2 43	20.6 14	0.0 0	0.0 0
	千代田町東部地区	100.0 53	15.1 8	58.5 31	26.4 14	0.0 0	0.0 0
	千代田町中部地区	100.0 62	17.7 11	58.1 36	22.6 14	1.6 1	0.0 0
	千代田町西部地区	100.0 63	7.9 5	57.1 36	28.6 18	6.3 4	0.0 0
	脊振町	100.0 30	6.7 2	70.0 21	13.3 4	10.0 3	0.0 0
居住年数別	3年未満	100.0 36	2.8 1	44.4 16	44.4 16	8.3 3	0.0 0
	3年以上5年未満	100.0 13	15.4 2	30.8 4	53.8 7	0.0 0	0.0 0
	5年以上10年未満	100.0 35	2.9 1	60.0 21	31.4 11	5.7 2	0.0 0
	10年以上20年未満	100.0 73	16.4 12	60.3 44	21.9 16	1.4 1	0.0 0
	20年以上30年未満	100.0 75	6.7 5	66.7 50	24.0 18	2.7 2	0.0 0
	30年以上	100.0 279	19.4 54	67.4 188	11.1 31	2.2 6	0.0 0

【問4】 これからも、神崎市に住みたいと思いますか。それとも市外に移りたいと思いますか。

(1つに○)

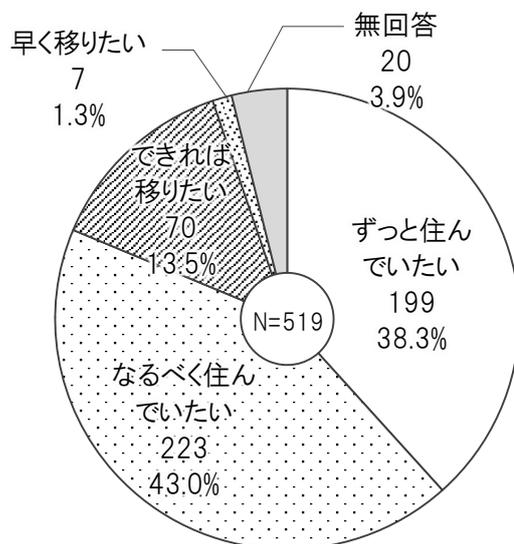
「なるべく住んでいたい」と回答した人が 43.0%で最も多い。次いで、「ずっと住んでいたい」と回答した人も 38.3%と多く、神崎市に住んでいたいと思う人が 8 割強を占めている。

その一方で、「できれば移りたい」「早く移りたい」と回答した人をあわせると、1 割台半ばの人が神崎市から移りたいと思っている。

年齢別でみると、60 歳以上の人の今後の居留意向が高く、年齢が下がるほど市外に移りたいと感じている人が多くなる傾向がみられ、とくに 29 歳以下の人では全体の 3 分の 1 の人が市外に移りたいと感じている。

居住地域別でみると、脊振町の居住者は 3 割弱の人が市外に移りたいと感じており、他の地区と比べて多い。

居住年数別でみると、30 年以上の長期間の居住者の今後の居留意向が高い一方で、5 年未満の短期間の居住者は市外に移りたいと感じている人が多くみられる。



■各属性のクロス集計結果

単位＝上段：％、下段：件数

		サンプル数	ずっと住んでいたい	なるべく住んでいたい	できれば移りたい	早く移りたい	無回答
全体		100.0 519	38.3 199	43.0 223	13.5 70	1.3 7	3.9 20
年齢別	29歳以下	100.0 47	19.1 9	44.7 21	31.9 15	2.1 1	2.1 1
	30歳代	100.0 57	21.1 12	61.4 35	12.3 7	3.5 2	1.8 1
	40歳代	100.0 61	27.9 17	49.2 30	19.7 12	1.6 1	1.6 1
	50歳代	100.0 81	27.2 22	48.1 39	18.5 15	0.0 0	6.2 5
	60歳代	100.0 135	45.2 61	40.7 55	7.4 10	1.5 2	5.2 7
	70歳以上	100.0 133	58.6 78	30.1 40	8.3 11	0.8 1	2.3 3
性別	男性	100.0 218	42.7 93	42.2 92	7.8 17	2.3 5	5.0 11
	女性	100.0 278	34.5 96	44.6 124	18.3 51	0.4 1	2.2 6
居住地別	神埼町神埼地区	100.0 179	41.3 74	46.9 84	8.4 15	0.6 1	2.8 5
	神埼町西郷地区	100.0 61	41.0 25	36.1 22	13.1 8	4.9 3	4.9 3
	神埼町仁比山地区	100.0 68	39.7 27	44.1 30	13.2 9	0.0 0	2.9 2
	千代田町東部地区	100.0 53	45.3 24	34.0 18	17.0 9	1.9 1	1.9 1
	千代田町中部地区	100.0 62	32.3 20	41.9 26	17.7 11	0.0 0	8.1 5
	千代田町西部地区	100.0 63	28.6 18	49.2 31	17.5 11	1.6 1	3.2 2
	脊振町	100.0 30	33.3 10	40.0 12	23.3 7	3.3 1	0.0 0
居住年数別	3年未満	100.0 36	19.4 7	50.0 18	25.0 9	5.6 2	0.0 0
	3年以上5年未満	100.0 13	23.1 3	23.1 3	53.8 7	0.0 0	0.0 0
	5年以上10年未満	100.0 35	14.3 5	68.6 24	11.4 4	0.0 0	5.7 2
	10年以上20年未満	100.0 73	24.7 18	54.8 40	16.4 12	1.4 1	2.7 2
	20年以上30年未満	100.0 75	28.0 21	50.7 38	14.7 11	1.3 1	5.3 4
	30年以上	100.0 279	51.6 144	34.4 96	9.3 26	1.1 3	3.6 10

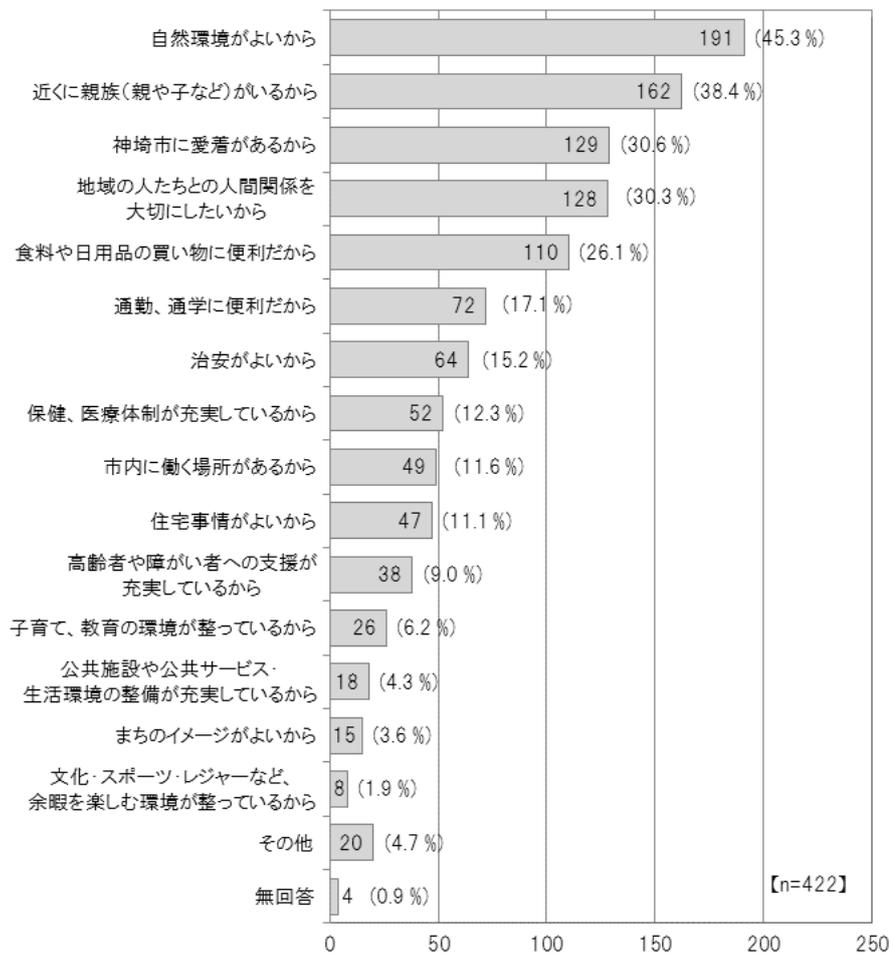
【問4-1】 1. ずっと住んでいたい 2. なるべく住んでいたいと回答した方

その理由を3つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。

「自然環境がよいから」と回答した人が 45.3%で最も多い。次いで、「近くに親族（親や子など）がいるから」と回答した人が 38.4%、「神埼市に愛着があるから」と回答した人が 30.6%、「地域の人たちとの人間関係を大切にしたいから」と回答した人が 30.3%となっている。

年齢別で見ると、全体の割合と比較し、30歳代及び40歳代に「通勤、通学に便利だから」、50歳代及び60歳代に「自然環境がよいから」と回答した人が多い。

居住地域別で見ると、全体の割合と比較し、神埼町神埼地区に「食料品や日用品の買い物に便利だから」、神埼町仁比山地区及び脊振町に「自然環境がよいから」、千代田町西部地区に「通勤、通学に便利だから」と回答した人が多い。



【その他の回答】

- ・ 家があるから
- ・ 建てた家のローンが残っているため、他に移れない
- ・ 住宅、不動産があるから
- ・ ここで生まれたから
- ・ 他に住んだことがない
- ・ 高齢のため
- ・ 友人がいる
- ・ 独身でお金がないから
- ・ 家を建てたから
- ・ 結婚した夫の持ち家なので仕方がない
- ・ 実家があるから
- ・ 長年住んでおり、慣れているから
- ・ 40年以上過ごしたこの家に愛着がある
- ・ 高齢であり今更住まいは変えられない
- ・ 地理的条件

■各属性のクロス集計結果

【住んでいたい理由】

単位＝上段：％、下段：件数

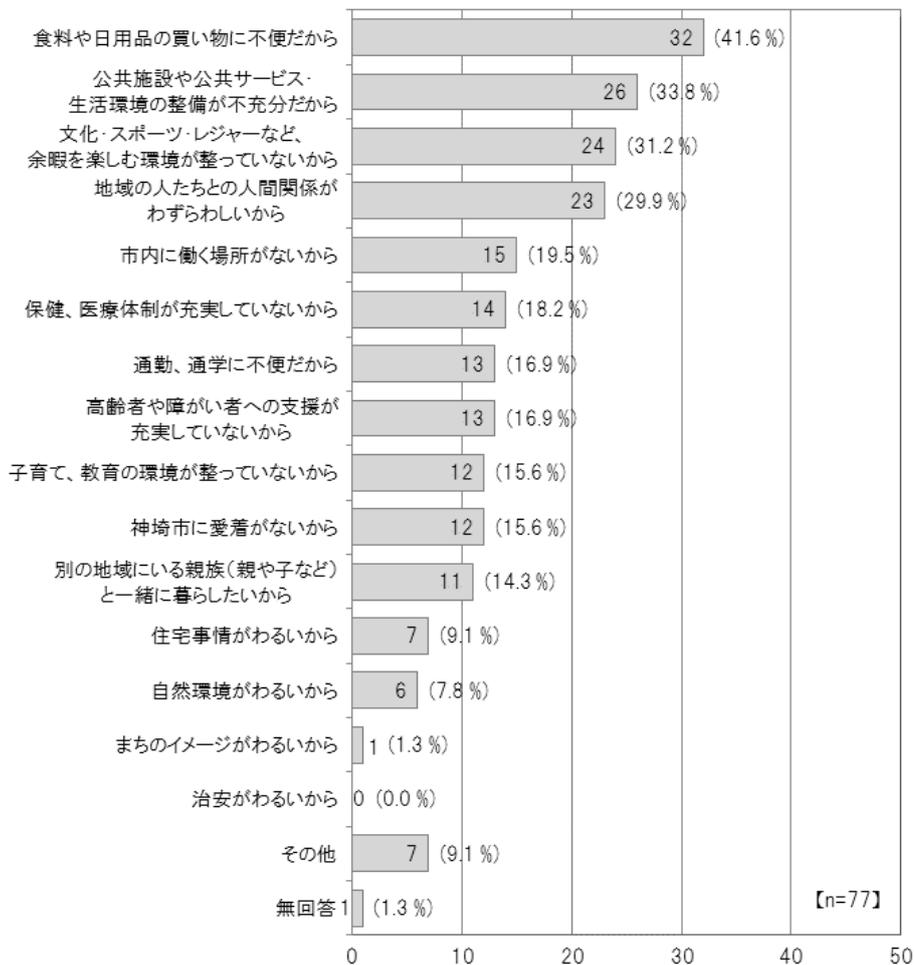
		サンプル数	市内に働く場所があるから	通勤、通学に便利だから	子育て、教育の環境が整っているから	保健、医療体制が充実しているから	高齢者や障がい者への支援が充実しているから	食料や日用品の買い物が便利だから	公共施設や公共サービス・生活環境の整備が充実しているから	文化・スポーツ・レジャーなど、余暇を楽しむ環境が整っているから	神崎市に愛着があるから	近くに親族（親や子ども）がいるから	地域の人たちとの人間関係を大切にしたいから	自然環境がよいから	まちのイメージがよいから	治安がよいから	住宅事情がよいから	その他	無回答
全体		100.0 422	11.6 49	17.1 72	6.2 26	12.3 52	9.0 38	26.1 110	4.3 18	1.9 8	30.6 129	38.4 162	30.3 128	45.3 191	3.6 15	15.2 64	11.1 47	4.7 20	0.9 4
年齢別	29歳以下	100.0 30	26.7 8	20.0 6	10.0 3	3.3 1	6.7 2	26.7 8	3.3 1	0.0 0	40.0 12	50.0 15	20.0 6	30.0 9	10.0 3	6.7 2	6.7 2	0.0 0	0.0 0
	30歳代	100.0 47	25.5 12	29.8 14	10.6 5	8.5 4	2.1 1	19.1 9	6.4 3	0.0 0	23.4 11	55.3 26	12.8 6	27.7 13	2.1 1	17.0 8	17.0 8	2.1 1	0.0 0
	40歳代	100.0 47	12.8 6	44.7 21	21.3 10	19.1 9	0.0 0	19.1 9	0.0 0	2.1 1	25.5 12	40.4 19	21.3 10	29.8 14	6.4 3	12.8 6	6.4 3	4.3 2	0.0 0
	50歳代	100.0 61	18.0 11	23.0 14	4.9 3	13.1 8	4.9 3	21.3 13	1.6 1	0.0 0	34.4 21	29.5 18	34.4 21	50.8 31	3.3 2	14.8 9	6.6 4	6.6 4	1.6 1
	60歳代	100.0 116	7.8 9	7.8 9	1.7 2	7.8 9	3.4 4	32.8 38	2.6 3	3.4 4	35.3 41	36.2 42	40.5 47	56.0 65	3.4 3	14.7 17	12.1 14	6.9 8	0.0 0
	70歳以上	100.0 118	1.7 2	6.8 8	2.5 3	17.8 21	23.7 28	28.0 33	8.5 10	2.5 3	27.1 32	34.7 41	32.2 38	48.3 57	1.7 2	18.6 22	13.6 16	4.2 5	1.7 2
	性別	男性	100.0 185	14.6 27	16.8 31	5.9 11	11.9 22	10.8 20	23.2 43	5.9 11	3.2 6	35.7 66	36.8 68	29.2 54	45.9 85	3.8 7	13.5 25	11.4 21	4.3 8
女性	100.0 220	9.1 20	17.7 39	6.4 14	13.6 30	8.2 18	29.1 64	3.2 7	0.5 1	27.3 60	39.5 87	30.5 67	43.2 95	3.6 8	16.4 36	10.9 24	5.5 12	1.4 3	
居住地別	神埼町神埼地区	100.0 158	13.9 22	18.4 29	5.7 9	13.3 21	10.8 17	40.5 64	5.7 9	3.2 5	32.9 52	34.2 54	20.3 32	38.0 60	5.1 8	10.1 16	12.0 19	7.0 11	0.6 1
	神埼町西郷地区	100.0 47	6.4 3	17.0 8	8.5 4	12.8 6	6.4 3	17.0 8	0.0 0	2.1 1	31.9 15	29.8 14	34.0 16	46.8 22	4.3 2	21.3 10	14.9 7	6.4 3	0.0 0
	神埼町仁比山地区	100.0 57	10.5 6	15.8 9	3.5 2	12.3 7	5.3 3	21.1 12	1.8 1	1.8 1	33.3 19	38.6 22	35.1 20	61.4 35	1.8 1	17.5 10	8.8 5	1.8 1	1.8 1
	千代田町東部地区	100.0 42	9.5 4	9.5 4	7.1 3	11.9 5	11.9 5	4.8 2	4.8 2	0.0 0	33.3 14	57.1 24	47.6 20	42.9 18	2.4 1	26.2 11	4.8 2	2.4 1	0.0 0
	千代田町中部地区	100.0 46	6.5 3	8.7 4	2.2 1	13.0 6	8.7 4	23.9 11	8.7 4	0.0 0	34.8 16	50.0 23	41.3 19	39.1 18	0.0 0	15.2 7	13.0 6	6.5 3	4.3 2
	千代田町西部地区	100.0 49	18.4 9	32.7 16	6.1 3	10.2 5	2.0 1	24.5 12	2.0 1	0.0 0	22.4 11	34.7 17	24.5 12	42.9 21	6.1 3	14.3 7	12.2 6	2.0 1	0.0 0
	脊振町	100.0 22	9.1 2	9.1 2	13.6 3	9.1 2	22.7 5	4.5 1	4.5 1	4.5 1	9.1 2	36.4 8	36.4 8	72.7 16	0.0 0	13.6 3	9.1 2	0.0 0	0.0 0
居住年数別	3年未満	100.0 25	32.0 8	36.0 9	0.0 0	4.0 1	12.0 3	12.0 3	8.0 2	0.0 0	8.0 2	48.0 12	12.0 3	44.0 11	12.0 3	8.0 2	16.0 4	0.0 0	0.0 0
	3年以上5年未満	100.0 6	0.0 0	16.7 2	33.3 3	50.0 3	16.7 1	33.3 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	33.3 2	50.0 3	0.0 0	33.3 2	16.7 1	0.0 0	0.0 0
	5年以上10年未満	100.0 29	20.7 6	27.6 8	13.8 4	3.4 1	6.9 2	31.0 9	3.4 1	0.0 0	17.2 5	44.8 13	10.3 3	31.0 9	3.4 1	20.7 6	13.8 4	3.4 1	0.0 0
	10年以上20年未満	100.0 58	15.5 9	19.0 11	8.6 5	13.8 8	12.1 7	19.0 11	3.4 2	1.7 1	27.6 16	31.0 18	22.4 13	51.7 30	10.3 6	17.2 10	13.8 8	3.4 2	0.0 0
	20年以上30年未満	100.0 59	10.2 6	18.6 11	3.4 2	10.2 6	3.4 2	32.2 19	5.1 3	0.0 0	27.1 16	32.2 19	28.8 17	40.7 24	5.1 3	13.6 8	13.6 8	10.2 6	0.0 0
	30年以上	100.0 240	7.9 19	13.3 32	5.4 13	13.3 32	9.6 23	27.1 65	4.2 10	2.9 7	37.5 90	41.7 100	37.1 89	46.7 112	0.8 2	15.0 36	8.8 21	4.2 10	1.3 3

【問4-2】 3. できれば移りたい 4. 早く移りたいと回答した方

その理由を3つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。

「食料や日用品の買い物に不便だから」と回答した人が 41.6%で最も多い。次いで、「公共施設や公共サービス・生活環境の整備が不十分だから」と回答した人が 33.8%、「文化・スポーツ・レジャーなど、余暇を楽しむ環境が整っていないから」と回答した人が 31.2%、「地域の人たちとの人間関係がわずらわしいから」と回答した人が 29.9%となっている。

年齢別で見ると、全体の割合と比較し、30歳代以下に「市内に働く場所がないから」「子育て、教育の環境が整っていないから」、60歳以上に「地域の人たちとの人間関係がわずらわしいから」「高齢者や障がい者への支援が充実していないから」と回答した人が多い。



【その他の回答】

- ・ 公共料金が高い
- ・ 全ての公共料金が高すぎる。住みにくい
- ・ 税金が高い
- ・ クリークが多く、子供が落ちないか心配
- ・ 都会に住んでみたいから
- ・ 高齢になって班長の役目が難しくなってきたため
- ・ 単身赴任なので

■各属性のクロス集計結果

【移りたい理由】

単位＝上段：％、下段：件数

		サンプル数	市内に働く場所がないから	通勤、通学に不便だから	子育て、教育の環境が整っていないから	保健、医療体制が充実していないから	高齢者や障がい者への支援が充実していないから	食料や日用品の買い物に不便だから	公共施設や公共サービス・生活環境の整備が不十分だから	文化・スポーツ・レジャーなど、余暇を楽しむ環境が整っていないから	神埼市に愛着がないから	別の地域にいる親族（親や子ども）と一緒に暮らしたいから	地域の人がたちとの人間関係がわらずにわしいから	自然環境がわるいから	まちなイメージがわるいから	治安がわるいから	住宅事情がわるいから	その他	無回答	
全体		100.0 77	19.5 15	16.9 13	15.6 12	18.2 14	16.9 13	41.6 32	33.8 26	31.2 24	15.6 12	14.3 11	29.9 23	7.8 6	1.3 1	0.0 0	9.1 7	9.1 7	1.3 1	
年齢別	29歳以下	100.0 16	50.0 8	12.5 2	31.3 5	12.5 2	0.0 0	43.8 7	43.8 7	18.8 3	6.3 1	18.8 3	6.3 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	6.3 1	12.5 2	0.0 0	
	30歳代	100.0 9	44.4 4	33.3 3	44.4 4	11.1 1	0.0 0	33.3 3	11.1 1	44.4 4	33.3 3	22.2 2	33.3 3	11.1 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	11.1 1	0.0 0
	40歳代	100.0 13	0.0 0	38.5 5	0.0 0	23.1 3	0.0 0	46.2 6	38.5 5	30.8 4	7.7 1	23.1 3	23.1 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	7.7 1	23.1 3	7.7 1
	50歳代	100.0 15	0.0 0	13.3 2	0.0 0	20.0 3	20.0 3	60.0 9	40.0 6	46.7 7	26.7 4	6.7 1	26.7 4	20.0 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0	20.0 3	0.0 0	0.0 0
	60歳代	100.0 12	16.7 2	0.0 0	16.7 2	33.3 4	33.3 4	25.0 3	33.3 4	25.0 3	8.3 1	16.7 2	50.0 6	0.0 0	8.3 1	0.0 0	0.0 0	16.7 2	0.0 0	0.0 0
	70歳以上	100.0 12	8.3 1	8.3 1	8.3 1	8.3 1	50.0 6	33.3 4	25.0 3	25.0 3	16.7 2	0.0 0	50.0 6	16.7 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	8.3 1	0.0 0
	性別	男性	100.0 22	31.8 7	13.6 3	18.2 4	27.3 6	22.7 5	27.3 6	27.3 6	36.4 8	18.2 4	22.7 5	22.7 5	9.1 2	0.0 0	0.0 0	13.6 3	13.6 3	0.0 0
女性	100.0 52	15.4 8	19.2 10	15.4 8	15.4 8	13.5 7	43.1 25	34.6 18	25.0 13	15.4 8	11.5 6	34.6 18	5.8 3	1.9 1	0.0 0	0.0 0	7.7 4	5.8 3	1.9 1	
居住地別	神埼町神埼地区	100.0 16	18.8 3	25.0 4	6.3 1	31.3 5	12.5 2	25.0 4	43.8 7	31.3 5	6.3 1	25.0 4	37.5 6	0.0 0	6.3 1	0.0 0	18.8 3	6.3 1	0.0 0	
	神埼町西郷地区	100.0 11	18.2 2	0.0 0	36.4 4	27.3 3	27.3 3	63.6 7	18.2 2	27.3 3	0.0 0	0.0 0	18.2 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	18.2 2	27.3 3	9.1 1	
	神埼町仁比山地区	100.0 9	0.0 0	0.0 0	22.2 2	22.2 2	11.1 1	44.4 4	33.3 3	33.3 3	11.1 1	22.2 2	22.2 2	11.1 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	千代田町東部地区	100.0 10	10.0 1	20.0 2	0.0 0	10.0 1	40.0 4	40.0 4	50.0 5	20.0 2	10.0 1	10.0 1	70.0 7	20.0 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	千代田町中部地区	100.0 11	45.5 5	9.1 1	9.1 1	0.0 0	9.1 1	27.3 3	36.4 4	63.6 7	27.3 3	9.1 1	18.2 2	9.1 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	9.1 1	0.0 0	0.0 0
	千代田町西部地区	100.0 12	25.0 3	16.7 2	25.0 3	0.0 0	16.7 2	41.7 5	33.3 4	25.0 3	25.0 3	0.0 0	25.0 3	16.7 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	8.3 1	16.7 2	0.0 0
	脊振町	100.0 8	12.5 1	50.0 4	12.5 1	37.5 3	0.0 0	62.5 5	12.5 1	12.5 1	37.5 3	37.5 3	12.5 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	12.5 1	0.0 0
居住年数別	3年未満	100.0 11	27.3 3	18.2 2	45.5 5	9.1 1	9.1 1	45.5 5	36.4 4	0.0 0	9.1 1	18.2 2	18.2 2	0.0 0	0.0 0	0.0 0	18.2 2	18.2 2	0.0 0	
	3年以上5年未満	100.0 7	0.0 0	28.6 2	14.3 1	14.3 1	0.0 0	57.1 4	42.9 3	42.9 3	14.3 1	57.1 4	14.3 1	14.3 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
	5年以上10年未満	100.0 4	0.0 0	25.0 1	25.0 1	0.0 0	25.0 1	50.0 2	50.0 2	0.0 0	25.0 1	25.0 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	25.0 1
	10年以上20年未満	100.0 13	23.1 3	23.1 3	0.0 0	7.7 1	0.0 0	46.2 6	38.5 5	38.5 5	15.4 2	15.4 2	23.1 3	7.7 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	7.7 1	15.4 2	0.0 0
	20年以上30年未満	100.0 12	25.0 3	8.3 1	16.7 2	16.7 2	16.7 2	33.3 4	41.7 5	41.7 5	16.7 2	0.0 0	16.7 2	8.3 1	0.0 0	0.0 0	0.0 0	16.7 2	16.7 2	0.0 0
	30年以上	100.0 29	20.7 6	10.3 3	10.3 3	31.0 9	31.0 9	34.5 10	24.1 7	37.9 11	17.2 5	6.9 2	48.3 14	10.3 3	3.4 1	0.0 0	6.9 2	3.4 1	0.0 0	

Ⅱ. 総合計画についておたずねします。

【問5】 過去 10 年間、神崎市総合計画では、まちづくりの基本理念として、市民のさまざまな生活シーンをもとに以下の 3 つを設定してきました。

【まちづくりの基本理念】

- (1) 住まう ～悠久の土地で、市民が健やかに安心して暮らし続ける～
- (2) 働く ～多様な産業基盤を築き、豊かな夢資源を活かす～
- (3) 行き交う ～次代を担う人材と地域文化を育て、市民がまちづくりの主役となる～

この 10 年間で、上記の実現に向けた取組みが進んでいると感じますか。

((1)~(3)の項目ごとに 1 つに○)

まちづくりの基本理念 (1) 住まう (2) 働く (3) 行き交う、全ての項目で「どちらともいえない・わからない」と回答した人が約 45%を超えて最も多い。

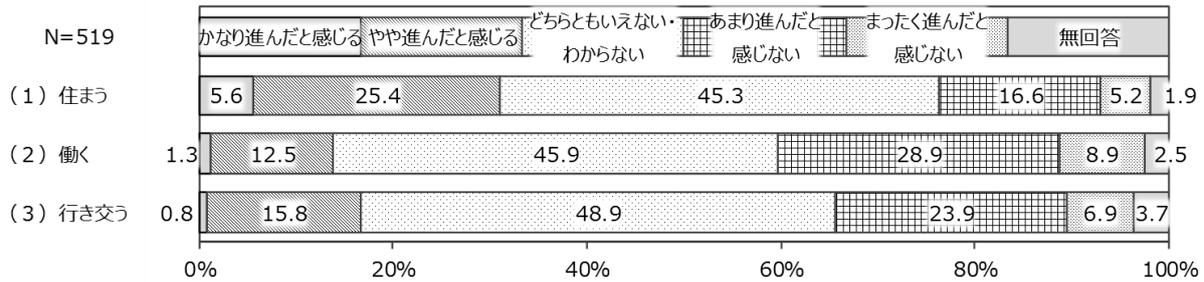
(1) 住まう、の項目では、次いで「やや進んだと感じる」と回答した人が 25.4%となっており、「やや進んだと感じる」「かなり進んだと感じる」と回答した人が約 3 割強で、「あまり進んだと感じない」「まったく進んだと感じない」と回答した人の約 2 割強より 1 割多くなっている。居住地域別でみると、神埼町仁比山地区及び千代田町西部地区の居住者は他の地域の居住者よりも取組みが進んだと感じている人が多く、脊振町の居住者は他の地域の居住者よりも取組みが進んでいないと感じている人が多い。

(2) 働く、の項目では、「あまり進んだと感じない」「まったく進んだと感じない」と回答した人が約 4 割弱で、「やや進んだと感じる」「かなり進んだと感じる」と回答した人の約 3 倍近くになっている。年齢別でみると、5、60 歳代の人には他の年代の人よりも取組みが進んでいないと感じている人が多く、居住地域別でみると、神埼町西郷地区及び脊振町の居住者は他の地域の居住者よりも取組みが進んでいないと感じている人が多い。

(3) 行き交う、の項目では、「あまり進んだと感じない」「まったく進んだと感じない」と回答した人が約 3 割強で、「やや進んだと感じる」「かなり進んだと感じる」と回答した人の約 2 倍近くになっている。年齢別でみると、5、60 歳代の人には他の年代の人よりも取組みが進んでいないと感じている人が多く、居住地域別でみると、神埼町仁比山地区の居住者は他の地域の居住者よりも取組みが進んだと感じている人が多い。

単位=上段：%、下段：件数

	全 体	だ か と な り 感 じ 進 ん だ	と や 感 じ 進 ん だ	わ い ど か え ら な い ・ も	い だ あ と ま り 感 じ 進 ん だ	な ん だ と た く 感 じ 進 ん だ	無 回 答
(1) 住まう	100.0 519	5.6 29	25.4 132	45.3 235	16.6 86	5.2 27	1.9 10
(2) 働く	100.0 519	1.3 7	12.5 65	45.9 238	28.9 150	8.9 46	2.5 13
(3) 行き交う	100.0 519	0.8 4	15.8 82	48.9 254	23.9 124	6.9 36	3.7 19



■各属性のクロス集計結果

(1) 住まう

(2) 働く

(3) 行き交う

単位=上段：%、下段：件数

	サン プル 数	(1) 住まう						(2) 働く						(3) 行き交う						
		かなり 進んだ と感じ る	やや 進んだ と感じ る	い ど ち ら と も い え な い	あ ま り 進 ん だ と 感 じ な い	な ん だ と た く 感 じ な い	無 回 答	かなり 進んだ と感じ る	やや 進んだ と感じ る	い ど ち ら と も い え な い	あ ま り 進 ん だ と 感 じ な い	な ん だ と た く 感 じ な い	無 回 答	かなり 進んだ と感じ る	やや 進んだ と感じ る	い ど ち ら と も い え な い	あ ま り 進 ん だ と 感 じ な い	な ん だ と た く 感 じ な い	無 回 答	
全体	519	5.6	25.4	45.3	16.6	5.2	1.9	1.3	12.5	45.9	28.9	8.9	2.5	0.8	15.8	48.9	23.9	6.9	3.7	
年齢別	29歳以下	47	4.3	25.5	53.2	10.6	6.4	0.0	0.0	12.8	61.7	19.1	6.4	0.0	0.0	19.1	59.6	14.9	6.4	0.0
	30歳代	57	1.8	22.8	61.4	7.0	5.3	1.8	0.0	14.0	59.6	14.0	12.3	0.0	0.0	10.5	59.6	17.5	10.5	1.8
	40歳代	61	3.3	21.3	50.8	14.8	8.2	1.6	1.6	4.9	57.4	21.3	14.8	0.0	0.0	18.0	49.2	19.7	13.1	0.0
	50歳代	81	3.7	21.0	46.9	22.2	4.9	1.2	0.0	8.6	40.7	34.6	13.6	2.5	0.0	13.6	39.5	37.0	6.2	3.7
	60歳代	135	3.7	27.4	42.2	20.0	5.9	0.7	1.5	11.1	37.8	41.5	7.4	0.7	0.0	13.3	45.9	31.1	8.1	1.5
	70歳以上	133	12.0	27.8	36.1	16.5	3.0	4.5	2.3	19.5	39.8	26.3	4.5	7.5	3.0	19.5	48.9	17.3	2.3	9.0
	性別	男性	218	3.2	28.9	41.7	19.3	6.0	0.9	1.4	15.6	37.2	32.1	12.4	1.4	0.5	15.6	42.7	29.4	9.2
女性		278	7.9	23.4	47.1	14.4	4.3	2.9	1.1	11.2	53.2	25.2	5.8	3.6	1.1	15.8	54.0	20.1	4.3	4.7
居住地別	神埼町神埼地区	179	6.1	27.9	44.1	17.9	2.2	1.7	1.1	16.8	43.0	27.9	8.4	2.8	0.6	17.9	49.7	20.1	7.8	3.9
	神埼町西郷地区	61	4.9	21.3	45.9	19.7	8.2	0.0	0.0	13.1	37.7	37.7	9.8	1.6	1.6	6.6	55.7	26.2	8.2	1.6
	神埼町仁比山地区	68	2.9	32.4	45.6	10.3	5.9	2.9	1.5	13.2	51.5	27.9	5.9	0.0	0.0	27.9	39.7	25.0	2.9	4.4
	千代田町東部地区	53	9.4	17.0	47.2	18.9	7.5	0.0	5.7	11.3	47.2	28.3	7.5	0.0	3.8	9.4	47.2	30.2	7.5	1.9
	千代田町中部地区	62	8.1	17.7	54.8	12.9	1.6	4.8	0.0	8.1	54.8	25.8	3.2	8.1	0.0	17.7	46.8	24.2	3.2	8.1
	千代田町西部地区	63	3.2	34.9	39.7	12.7	6.3	3.2	0.0	7.9	49.2	23.8	15.9	3.2	0.0	11.1	50.8	25.4	9.5	3.2
	脊振町	30	3.3	10.0	40.0	30.0	16.7	0.0	0.0	6.7	36.7	40.0	16.7	0.0	0.0	10.0	53.3	26.7	10.0	0.0
居住年数別	3年未満	36	0.0	19.4	69.4	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6	69.4	11.1	13.9	0.0	0.0	0.0	80.6	13.9	5.6	0.0
	3年以上5年未満	13	7.7	7.7	69.2	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	61.5	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	61.5	38.5	0.0	0.0
	5年以上10年未満	35	0.0	17.1	65.7	17.1	0.0	0.0	0.0	8.6	71.4	14.3	5.7	0.0	0.0	20.0	54.3	17.1	8.6	0.0
	10年以上20年未満	73	6.8	23.3	42.5	20.5	5.5	1.4	0.0	6.8	49.3	28.8	12.3	2.7	0.0	17.8	45.2	28.8	6.8	1.4
	20年以上30年未満	75	5.3	20.0	46.7	17.3	9.3	1.3	1.3	12.0	42.7	32.0	9.3	2.7	0.0	13.3	50.7	24.0	9.3	2.7
	30年以上	279	6.8	29.4	39.8	16.5	5.0	2.5	1.8	16.1	39.1	32.3	7.9	2.9	1.4	17.9	44.4	24.0	6.8	5.4

【問6】あなたが神崎市で暮らすなかで、以下の施策について現在の満足度と今後の重要度について、あなたのお考えに近いものを選んでください。
 ((1)~(25)の満足度と重要度それぞれ1つに○)

重要度については、すべての施策の加重平均が 3.0 を上回っており、各施策が「やや重要」「重要」と回答した人が多く、重要度には差はあるが、重要でない施策はないといえる。

満足度については、全施策の加重平均の平均値がおよそ 2.9 であり、満足度の高い施策と低い施策に差がみられる。

重要度が高いと評価されている施策の上位 5 つは、「高齢者・障がい者等福祉の充実」「子育て支援、児童福祉の充実」「保健・医療体制の充実」「地場産業、新産業の育成」「消防・防災・交通安全体制の充実」であり、神崎市での暮らしに密にかかわる施策が上位を占めている。

満足度が低いと評価されている施策の下位 5 つは「賑わいある商工業の創出」「活気ある農林水産業の振興」「魅力ある観光の振興」「地場産業、新産業の育成」「道路・交通網の整備・充実」であり、産業振興、インフラ整備に関する施策が下位を占めている。

課題性の高い施策（平均より重要度が高く、満足度が低い施策）としては、「地場産業、新産業の育成」「賑わいある商工業の創出」「活気ある農林水産業の振興」「魅力ある観光の振興」「豊かな自然環境の保全と活用」「道路・交通網の整備・充実」「上・下水道の整備」「定住を促進する環境の整備」の 8 つの施策があげられる。

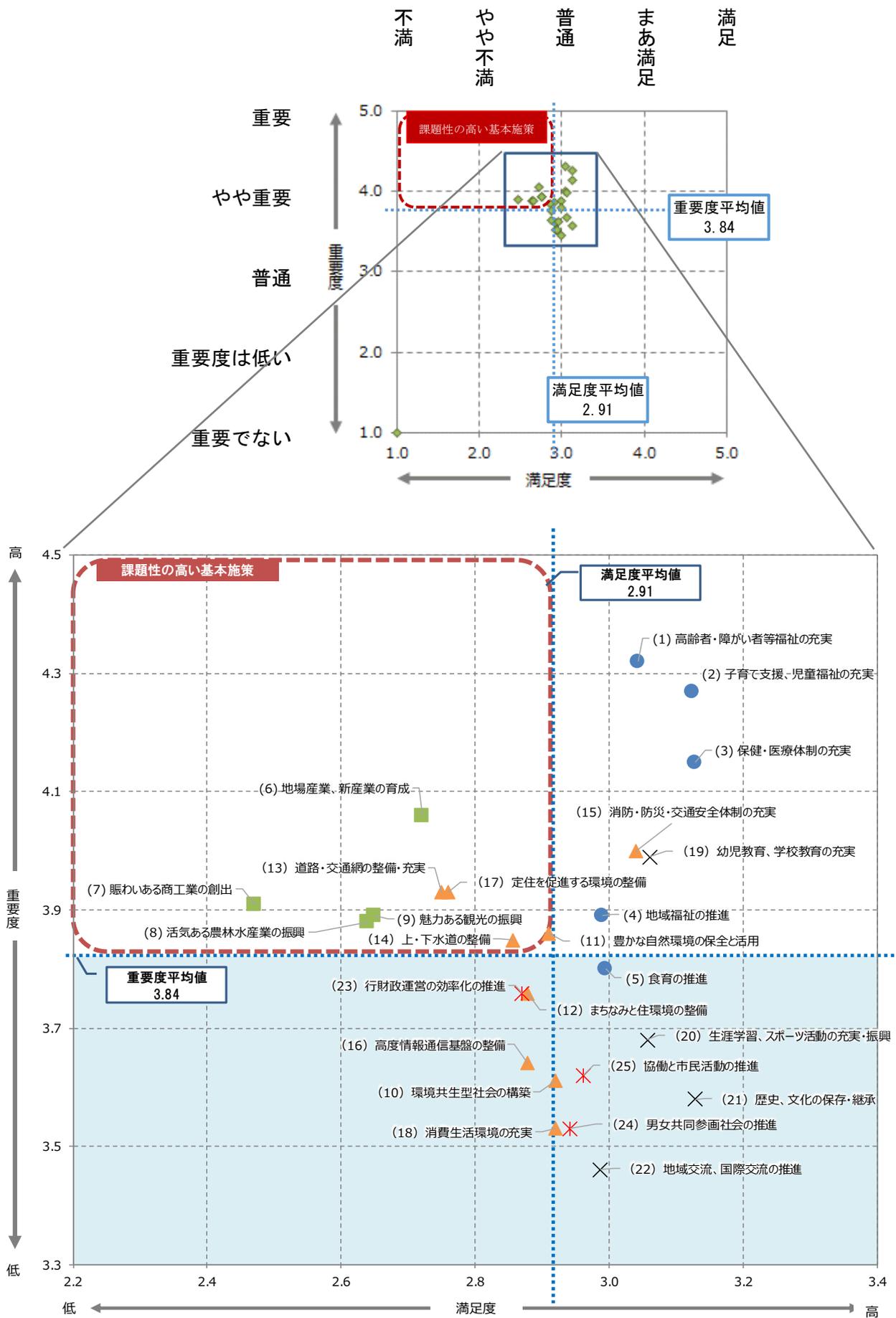
凡例	分類	第2次神崎市総合計画の基本目標
●	保健福祉	1.健やかに安心して暮らせるまちづくり 【保健・福祉・医療】
■	産業流通	2.力強く活力のあるまちづくり 【産業振興・観光振興】
▲	生活環境	3.環境にやさしく住みやすいまちづくり 【自然環境・都市基盤・定住促進】
×	教育文化	4.創造性豊かで輝く人の育つまちづくり 【教育・文化・交流】
*	行財政・協働	5.みんなで協働して進めるまちづくり 【行財政改革・市民参画】

【加重平均の算出方法】

①現在の満足度	②今後の重要度
満足 : 5点	重要 : 5点
まあ満足 : 4点	やや重要 : 4点
普通 : 3点	普通 : 3点
やや不満 : 2点	重要度は低い : 2点
不満 : 1点	重要でない : 1点

左記の点数に各選択肢の回答数を掛け、それらを合計して、全体の回答数で割り戻して「加重平均値を算出」

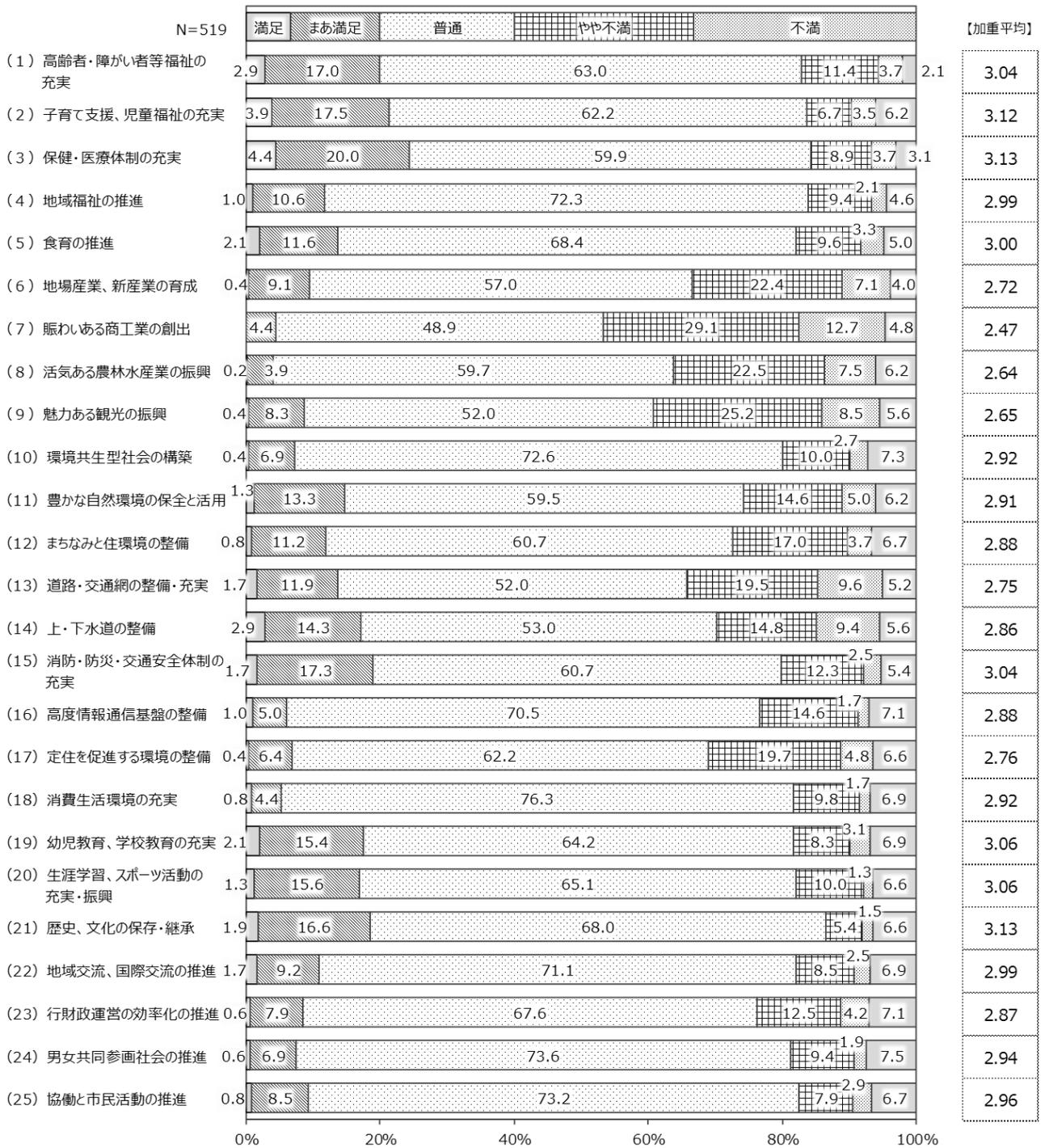
【加重平均プロット図(重要度⇔満足度)】



【満足度】

単位＝上段：％、下段：件数

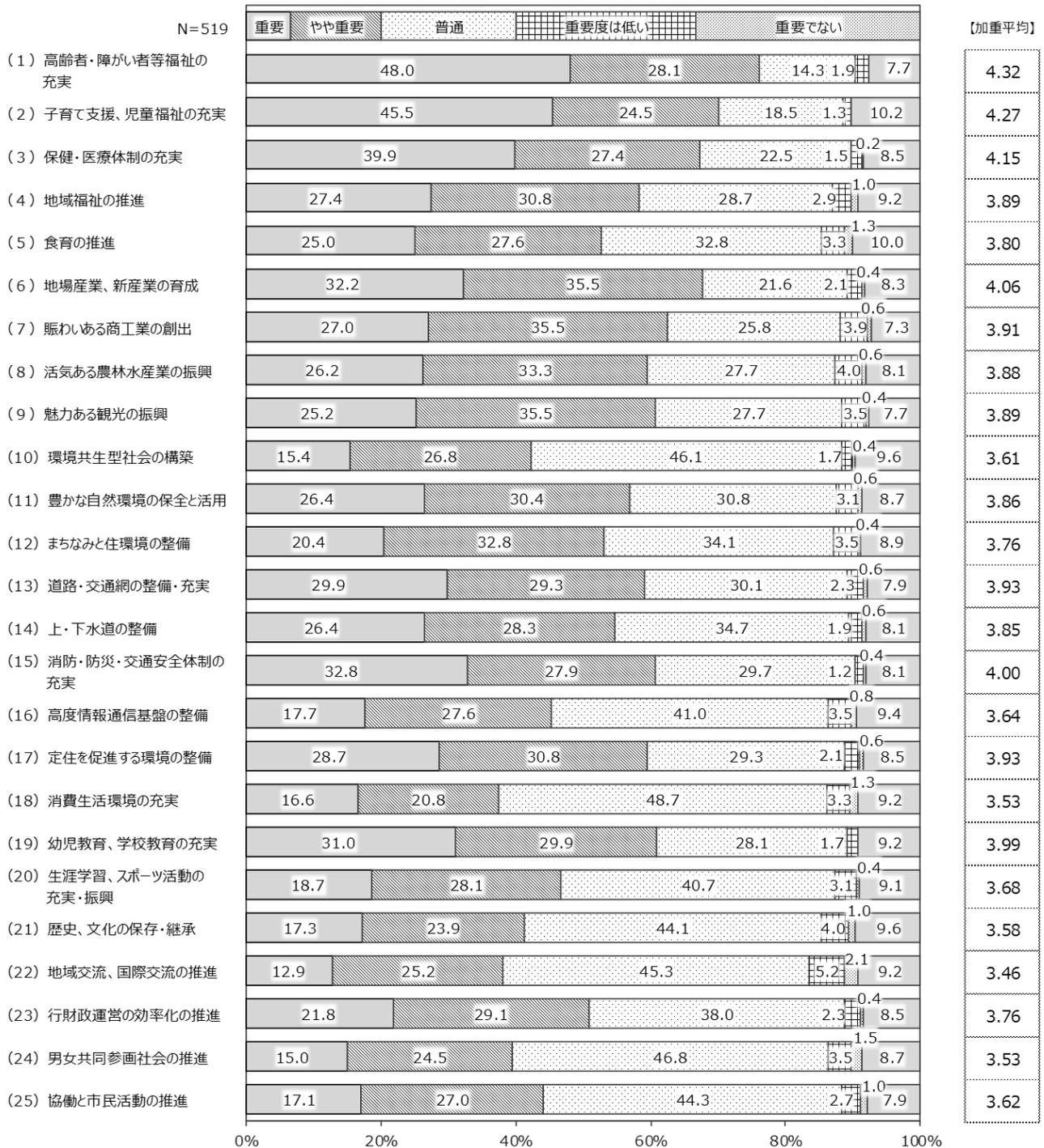
	全 体	満 足	ま あ 満 足	普 通	や や 不 満	不 満	無 回 答	加 重 平 均
(1) 高齢者・障がい者等福祉の充実	100.0 519	2.9 15	17.0 88	63.0 327	11.4 59	3.7 19	2.1 11	3.04
(2) 子育て支援、児童福祉の充実	100.0 519	3.9 20	17.5 91	62.2 323	6.7 35	3.5 18	6.2 32	3.12
(3) 保健・医療体制の充実	100.0 519	4.4 23	20.0 104	59.9 311	8.9 46	3.7 19	3.1 16	3.13
(4) 地域福祉の推進	100.0 519	1.0 5	10.6 55	72.3 375	9.4 49	2.1 11	4.6 24	2.99
(5) 食育の推進	100.0 519	2.1 11	11.6 60	68.4 355	9.6 50	3.3 17	5.0 26	3.00
(6) 地場産業、新産業の育成	100.0 519	0.4 2	9.1 47	57.0 296	22.4 116	7.1 37	4.0 21	2.72
(7) 賑わいある商工業の創出	100.0 519	- -	4.4 23	48.9 254	29.1 151	12.7 66	4.8 25	2.47
(8) 活気ある農林水産業の振興	100.0 519	0.2 1	3.9 20	59.7 310	22.5 117	7.5 39	6.2 32	2.64
(9) 魅力ある観光の振興	100.0 519	0.4 2	8.3 43	52.0 270	25.2 131	8.5 44	5.6 29	2.65
(10) 環境共生型社会の構築	100.0 519	0.4 2	6.9 36	72.6 377	10.0 52	2.7 14	7.3 38	2.92
(11) 豊かな自然環境の保全と活用	100.0 519	1.3 7	13.3 69	59.5 309	14.6 76	5.0 26	6.2 32	2.91
(12) まちなみと住環境の整備	100.0 519	0.8 4	11.2 58	60.7 315	17.0 88	3.7 19	6.7 35	2.88
(13) 道路・交通網の整備・充実	100.0 519	1.7 9	11.9 62	52.0 270	19.5 101	9.6 50	5.2 27	2.75
(14) 上・下水道の整備	100.0 519	2.9 15	14.3 74	53.0 275	14.8 77	9.4 49	5.6 29	2.86
(15) 消防・防災・交通安全体制の充実	100.0 519	1.7 9	17.3 90	60.7 315	12.3 64	2.5 13	5.4 28	3.04
(16) 高度情報通信基盤の整備	100.0 519	1.0 5	5.0 26	70.5 366	14.6 76	1.7 9	7.1 37	2.88
(17) 定住を促進する環境の整備	100.0 519	0.4 2	6.4 33	62.2 323	19.7 102	4.8 25	6.6 34	2.76
(18) 消費生活環境の充実	100.0 519	0.8 4	4.4 23	76.3 396	9.8 51	1.7 9	6.9 36	2.92
(19) 幼児教育、学校教育の充実	100.0 519	2.1 11	15.4 80	64.2 333	8.3 43	3.1 16	6.9 36	3.06
(20) 生涯学習、スポーツ活動の充実・振興	100.0 519	1.3 7	15.6 81	65.1 338	10.0 52	1.3 7	6.6 34	3.06
(21) 歴史、文化の保存・継承	100.0 519	1.9 10	16.6 86	68.0 353	5.4 28	1.5 8	6.6 34	3.13
(22) 地域交流、国際交流の推進	100.0 519	1.7 9	9.2 48	71.1 369	8.5 44	2.5 13	6.9 36	2.99
(23) 行財政運営の効率化の推進	100.0 519	0.6 3	7.9 41	67.6 351	12.5 65	4.2 22	7.1 37	2.87
(24) 男女共同参画社会の推進	100.0 519	0.6 3	6.9 36	73.6 382	9.4 49	1.9 10	7.5 39	2.94
(25) 協働と市民活動の推進	100.0 519	0.8 4	8.5 44	73.2 380	7.9 41	2.9 15	6.7 35	2.96



【重要度】

単位＝上段：％、下段：件数

	全 体	重 要	や や 重 要	普 通	い 重 要 度 は 低	重 要 で な い	無 回 答	加 重 平 均
(1) 高齢者・障がい者等福祉の充実	100.0 519	48.0 249	28.1 146	14.3 74	1.9 10	- -	7.7 40	4.32
(2) 子育て支援、児童福祉の充実	100.0 519	45.5 236	24.5 127	18.5 96	1.3 7	- -	10.2 53	4.27
(3) 保健・医療体制の充実	100.0 519	39.9 207	27.4 142	22.5 117	1.5 8	0.2 1	8.5 44	4.15
(4) 地域福祉の推進	100.0 519	27.4 142	30.8 160	28.7 149	2.9 15	1.0 5	9.2 48	3.89
(5) 食育の推進	100.0 519	25.0 130	27.6 143	32.8 170	3.3 17	1.3 7	10.0 52	3.80
(6) 地場産業、新産業の育成	100.0 519	32.2 167	35.5 184	21.6 112	2.1 11	0.4 2	8.3 43	4.06
(7) 賑わいある商工業の創出	100.0 519	27.0 140	35.5 184	25.8 134	3.9 20	0.6 3	7.3 38	3.91
(8) 活気ある農林水産業の振興	100.0 519	26.2 136	33.3 173	27.7 144	4.0 21	0.6 3	8.1 42	3.88
(9) 魅力ある観光の振興	100.0 519	25.2 131	35.5 184	27.7 144	3.5 18	0.4 2	7.7 40	3.89
(10) 環境共生型社会の構築	100.0 519	15.4 80	26.8 139	46.1 239	1.7 9	0.4 2	9.6 50	3.61
(11) 豊かな自然環境の保全と活用	100.0 519	26.4 137	30.4 158	30.8 160	3.1 16	0.6 3	8.7 45	3.86
(12) まちなみと住環境の整備	100.0 519	20.4 106	32.8 170	34.1 177	3.5 18	0.4 2	8.9 46	3.76
(13) 道路・交通網の整備・充実	100.0 519	29.9 155	29.3 152	30.1 156	2.3 12	0.6 3	7.9 41	3.93
(14) 上・下水道の整備	100.0 519	26.4 137	28.3 147	34.7 180	1.9 10	0.6 3	8.1 42	3.85
(15) 消防・防災・交通安全体制の充実	100.0 519	32.8 170	27.9 145	29.7 154	1.2 6	0.4 2	8.1 42	4.00
(16) 高度情報通信基盤の整備	100.0 519	17.7 92	27.6 143	41.0 213	3.5 18	0.8 4	9.4 49	3.64
(17) 定住を促進する環境の整備	100.0 519	28.7 149	30.8 160	29.3 152	2.1 11	0.6 3	8.5 44	3.93
(18) 消費生活環境の充実	100.0 519	16.6 86	20.8 108	48.7 253	3.3 17	1.3 7	9.2 48	3.53
(19) 幼児教育、学校教育の充実	100.0 519	31.0 161	29.9 155	28.1 146	1.7 9	- -	9.2 48	3.99
(20) 生涯学習、スポーツ活動の充実・振興	100.0 519	18.7 97	28.1 146	40.7 211	3.1 16	0.4 2	9.1 47	3.68
(21) 歴史、文化の保存・継承	100.0 519	17.3 90	23.9 124	44.1 229	4.0 21	1.0 5	9.6 50	3.58
(22) 地域交流、国際交流の推進	100.0 519	12.9 67	25.2 131	45.3 235	5.2 27	2.1 11	9.2 48	3.46
(23) 行財政運営の効率化の推進	100.0 519	21.8 113	29.1 151	38.0 197	2.3 12	0.4 2	8.5 44	3.76
(24) 男女共同参画社会の推進	100.0 519	15.0 78	24.5 127	46.8 243	3.5 18	1.5 8	8.7 45	3.53
(25) 協働と市民活動の推進	100.0 519	17.1 89	27.0 140	44.3 230	2.7 14	1.0 5	7.9 41	3.62



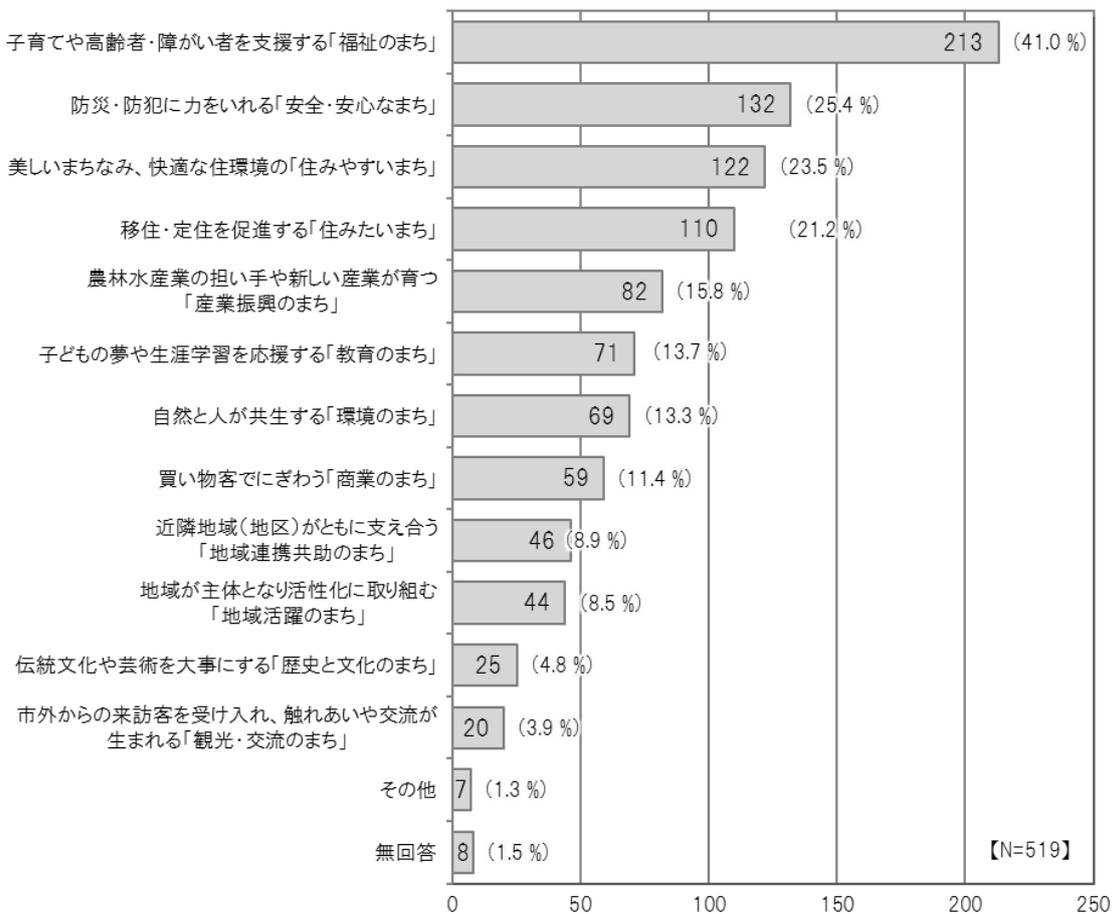
Ⅲ. 神埼市のまちづくりについておたずねします。

【問7】 神埼市が今後 10 年間のまちづくりで、特に力を入れるべきことはどれだと思いますか。
(2つまで○)

『子育てや高齢者・障がい者を支援する「福祉のまち」』と回答した人が 41.0%で最も多く、次いで『防災・防犯に力をいれる「安全・安心なまち」』と回答した人が 25.4%と 2 番目に多く、『美しいまちなみ、快適な住環境の「住みやすいまち」』と回答した人が 23.5%、『移住・定住を促進する「住みたいまち」』と回答した人が 21.2%、『農林水産業の担い手や新しい産業が育つ「産業振興のまち」』と回答した人が 15.8%となっている。

年齢別で見ると、全体の割合と比較し、29 歳以下に『美しいまちなみ、快適な住環境の「住みやすいまち」』、30 歳代以下に『子どもの夢や生涯学習を応援する「教育のまち」』、40 歳代に『移住・定住を促進する「住みたいまち」』、70 歳以上に『防災・防犯に力をいれる「安全・安心なまち」』と回答した人が多い。

居住地域別で見ると、全体の割合と比較し、神埼町西郷地区及び仁比山地区に『防災・防犯に力をいれる「安全・安心なまち」』、千代田町及び神埼町仁比山地区に『移住・定住を促進する「住みたいまち」』、脊振町及び千代田東部地区に『農林水産業の担い手や新しい産業が育つ「産業振興のまち」』と回答した人が多い。



【その他の回答】

- ・ 佐賀市のように乳がん検診を各医療機関で実施してほしい
- ・ 働く場を増やす
- ・ 企業誘致して定住を促進してほしい
- ・ 市議の効率向上（定数削減含む）
- ・ 川久保線にバスを通してほしい（佐賀市方面へ）
- ・ 総合運動公園設置（体育館、野球場等）
- ・ 近くにプールがあればいい

■各属性のクロス集計結果

単位＝上段：％、下段：件数

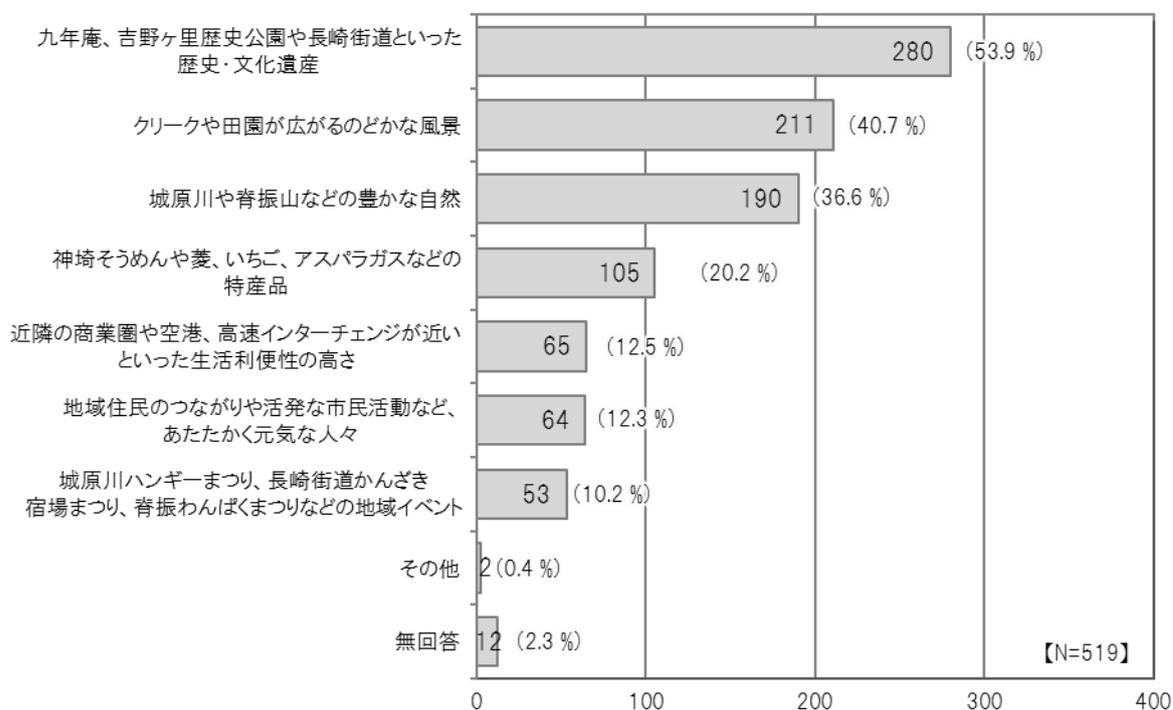
		サンプル数	自然と人が共生する「環境のまち」	子どもの夢や生涯学習を応援する「教育のまち」	子育てや高齢者・障がい者を支援する「福祉のまち」	農林水産業の担い手や新しい産業が育つ「産業振興のまち」	美しいまちなみ、快適な住環境の「住みやすいまち」	市外からの来訪者を受け入れる「観光・交流のまち」	買い物を客でにぎわう「商業のまち」	伝統文化や芸術を大事にする「歴史と文化のまち」	「防災・防犯に力をいれる安全・安心なまち」	地域が主体となり活性化に取り組む「地域活躍のまち」	近隣地域（地区）がともに支え合う「地域連携共助のまち」	「移住・定住を促進する」	その他	無回答
全体		100.0 519	13.3 69	13.7 71	41.0 213	15.8 82	23.5 122	3.9 20	11.4 59	4.8 25	25.4 132	8.5 44	8.9 46	21.2 110	1.3 7	1.5 8
年齢別	29歳以下	100.0 47	17.0 8	25.5 12	40.4 19	2.1 1	40.4 19	0.0 0	17.0 8	2.1 1	19.1 9	2.1 1	4.3 2	27.7 13	0.0 0	0.0 0
	30歳代	100.0 57	14.0 8	24.6 14	45.6 26	15.8 9	15.8 9	5.3 3	15.8 9	5.3 3	17.5 10	3.5 2	7.0 4	22.8 13	0.0 0	1.8 1
	40歳代	100.0 61	9.8 6	13.1 8	41.0 25	13.1 8	23.0 14	6.6 4	13.1 8	4.9 3	27.9 17	6.6 4	6.6 4	29.5 18	0.0 0	0.0 0
	50歳代	100.0 81	11.1 9	14.8 12	42.0 34	17.3 14	28.4 23	1.2 1	16.0 13	1.2 1	21.0 17	9.9 8	6.2 5	24.7 20	3.7 3	0.0 0
	60歳代	100.0 135	14.8 20	11.9 16	38.5 52	21.5 29	23.7 32	3.7 5	8.9 12	5.9 8	24.4 33	9.6 13	11.9 16	17.8 24	2.2 3	0.0 0
	70歳以上	100.0 133	13.5 18	5.3 7	42.1 56	15.8 21	18.0 24	5.3 7	6.8 9	6.0 8	33.1 44	11.3 15	11.3 15	15.8 21	0.8 1	5.3 7
	性別	男性	100.0 218	15.1 33	14.7 32	37.2 81	18.8 41	23.9 52	3.7 8	9.6 21	6.0 13	24.8 54	7.8 17	8.3 18	22.5 49	1.4 3
女性	100.0 278	12.6 35	12.2 34	45.0 125	12.9 36	22.7 63	4.0 11	12.9 36	4.3 12	26.3 73	7.9 22	9.7 27	20.9 58	1.4 4	2.2 6	
居住地別	神埼町神埼地区	100.0 179	16.2 29	14.5 26	38.0 68	12.3 22	24.0 43	3.9 7	12.8 23	6.1 11	26.3 47	11.2 20	7.8 14	19.6 35	0.0 0	1.7 3
	神埼町西郷地区	100.0 61	14.8 9	14.8 9	45.9 28	14.8 9	19.7 12	1.6 1	19.7 12	1.6 1	34.4 21	3.3 2	3.3 2	9.8 6	6.6 4	3.3 2
	神埼町仁比山地区	100.0 68	10.3 7	7.4 5	44.1 30	7.4 5	27.9 19	7.4 5	8.8 6	8.8 6	30.9 21	5.9 4	10.3 7	27.9 19	1.5 1	0.0 0
	千代田町東部地区	100.0 53	13.2 7	11.3 6	37.7 20	24.5 13	15.1 8	5.7 3	9.4 5	5.7 3	24.5 13	9.4 5	7.5 4	22.6 12	0.0 0	5.7 3
	千代田町中部地区	100.0 62	17.7 11	14.5 9	33.9 21	17.7 11	25.8 16	3.2 2	4.8 3	6.5 4	21.0 13	6.5 4	14.5 9	25.8 16	0.0 0	1.6 1
	千代田町西部地区	100.0 63	6.3 4	15.9 10	52.4 33	20.6 13	28.6 18	0.0 0	9.5 6	0.0 0	19.0 12	3.2 2	9.5 6	25.4 16	1.6 1	1.6 1
	脊振町	100.0 30	6.7 2	13.3 4	40.0 12	30.0 9	20.0 6	6.7 2	13.3 4	0.0 0	16.7 5	20.0 6	13.3 4	16.7 5	3.3 1	0.0 0
居住年数別	3年未満	100.0 36	16.7 6	22.2 8	47.2 17	11.1 4	33.3 12	8.3 3	16.7 6	5.6 2	13.9 5	2.8 1	8.3 3	16.7 6	0.0 0	0.0 0
	3年以上5年未満	100.0 13	15.4 2	15.4 2	46.2 6	0.0 0	23.1 3	0.0 0	15.4 2	0.0 0	38.5 5	0.0 0	0.0 0	23.1 3	0.0 0	7.7 1
	5年以上10年未満	100.0 35	17.1 6	20.0 7	40.0 14	5.7 2	20.0 7	2.9 1	17.1 6	5.7 2	25.7 9	8.6 3	5.7 2	22.9 8	0.0 0	0.0 0
	10年以上20年未満	100.0 73	15.1 11	16.4 12	37.0 27	9.6 7	24.7 18	2.7 2	9.6 7	6.8 5	28.8 21	4.1 3	11.0 8	30.1 22	0.0 0	1.4 1
	20年以上30年未満	100.0 75	13.3 10	12.0 9	40.0 30	6.7 5	41.3 31	1.3 1	12.0 9	1.3 1	32.0 24	5.3 4	5.3 4	21.3 16	4.0 3	0.0 0
	30年以上	100.0 279	12.2 34	10.4 29	41.9 117	22.2 62	17.9 50	4.7 13	10.4 29	5.4 15	24.0 67	11.1 31	10.0 28	19.4 54	1.4 4	2.2 6

【問8】あなたが神崎市らしさを感じるのどのようなところですか。(2つまで○)

「九年庵、吉野ヶ里歴史公園や長崎街道といった歴史・文化遺産」と回答した人が53.9%で最も多く、「クリークや田園が広がるのどかな風景」と回答した人が40.7%、「城原川や脊振山などの豊かな自然」と回答した人が36.6%、「神埼そうめんや菱、いちご、アスパラガスなどの特産品」と回答した人が20.2%と続いており、「歴史・文化遺産」「自然」「特産品」の順に市民は神崎市らしさを感じているといえる。

年齢別で見ると、全体の割合と比較し、30歳代以下に「神埼そうめんや菱、いちご、アスパラガスなどの特産品」、50、60歳代に「城原川や脊振山などの豊かな自然」と回答した人が多い。

居住地域別で見ると、全体の割合と比較し、神埼町に「九年庵、吉野ヶ里歴史公園や長崎街道といった歴史・文化遺産」、千代田町に「クリークや田園が広がるのどかな風景」、脊振町に「城原川や脊振山などの豊かな自然」と回答した人が多い。



【その他の回答】

- ・ 役場の方々が親切。有り難い。
- ・ 田舎

■各属性のクロス集計結果

単位＝上段：％、下段：件数

		サンプル数	遺産	長崎街道とい った歴史・文 化	九年庵、吉 野ヶ里歴史 公園や	自然	城原川や脊 振山などの 豊かな	かな風景	クレークや 田園が広が るのだ	アスパラガ スなどの特 産品	神埼そうめ んや菱、い ちご、	つりなどの 地域イベン ト	城原川ハン ギーマつり 、長崎街道 か	地域住民の つながりや 元気な市 民活	動など、あ たたく元 気な人々	のチェンジ が近いとい った生活利 便性	近隣の商業 圏や空港、 高速イン ター	その他	無回答	
全体		100.0 519	53.9 280	36.6 190	40.7 211	20.2 105	10.2 53	12.3 64	12.5 65	0.4 2	2.3 12									
年齢別	29歳以下	100.0 47	48.9 23	27.7 13	44.7 21	36.2 17	10.6 5	10.6 5	6.4 3	0.0 0	4.3 2									
	30歳代	100.0 57	52.6 30	24.6 14	40.4 23	33.3 19	10.5 6	5.3 3	14.0 8	1.8 1	1.8 1									
	40歳代	100.0 61	57.4 35	37.7 23	42.6 26	19.7 12	11.5 7	8.2 5	11.5 7	0.0 0	1.6 1									
	50歳代	100.0 81	61.7 50	46.9 38	42.0 34	17.3 14	11.1 9	9.9 8	7.4 6	0.0 0	0.0 0									
	60歳代	100.0 135	47.4 64	41.5 56	41.5 56	17.0 23	5.9 8	14.1 19	16.3 22	0.7 1	1.5 2									
	70歳以上	100.0 133	56.4 75	32.3 43	38.3 51	14.3 19	13.5 18	17.3 23	14.3 19	0.0 0	4.5 6									
性別	男性	100.0 218	49.5 108	43.6 95	43.6 95	15.6 34	6.0 13	16.1 35	14.2 31	0.5 1	2.3 5									
	女性	100.0 278	58.3 162	30.2 84	39.9 111	23.7 66	13.7 38	9.0 25	11.5 32	0.4 1	2.5 7									
居住地別	神埼町神埼地区	100.0 179	59.2 106	38.5 69	35.2 63	21.2 38	10.1 18	10.6 19	14.5 26	0.0 0	2.2 4									
	神埼町西郷地区	100.0 61	50.8 31	34.4 21	42.6 26	14.8 9	6.6 4	11.5 7	19.7 12	1.6 1	4.9 3									
	神埼町仁比山地区	100.0 68	77.9 53	41.2 28	14.7 10	30.9 21	7.4 5	8.8 6	13.2 9	0.0 0	0.0 0									
	千代田町東部地区	100.0 53	39.6 21	28.3 15	58.5 31	18.9 10	11.3 6	20.8 11	1.9 1	0.0 0	3.8 2									
	千代田町中部地区	100.0 62	33.9 21	33.9 21	64.5 40	17.7 11	8.1 5	12.9 8	14.5 9	0.0 0	1.6 1									
	千代田町西部地区	100.0 63	50.8 32	15.9 10	58.7 37	17.5 11	17.5 11	11.1 7	11.1 7	1.6 1	3.2 2									
	脊振町	100.0 30	50.0 15	80.0 24	13.3 4	16.7 5	13.3 4	13.3 4	3.3 1	0.0 0	0.0 0									
居住年数別	3年未満	100.0 36	66.7 24	25.0 9	36.1 13	33.3 12	5.6 2	8.3 3	8.3 3	2.8 1	2.8 1									
	3年以上5年未満	100.0 13	53.8 7	46.2 6	30.8 4	23.1 3	7.7 1	7.7 1	7.7 1	7.7 1	0.0 0									
	5年以上10年未満	100.0 35	62.9 22	42.9 15	28.6 10	25.7 9	11.4 4	5.7 2	5.7 2	0.0 0	2.9 1									
	10年以上20年未満	100.0 73	54.8 40	42.5 31	43.8 32	19.2 14	8.2 6	12.3 9	13.7 10	0.0 0	1.4 1									
	20年以上30年未満	100.0 75	61.3 46	36.0 27	41.3 31	22.7 17	9.3 7	5.3 4	10.7 8	0.0 0	4.0 3									
	30年以上	100.0 279	49.5 138	35.1 98	42.7 119	17.6 49	11.5 32	15.8 44	14.3 40	0.0 0	2.2 6									

IV. 市民協働のまちづくりについておたずねします。

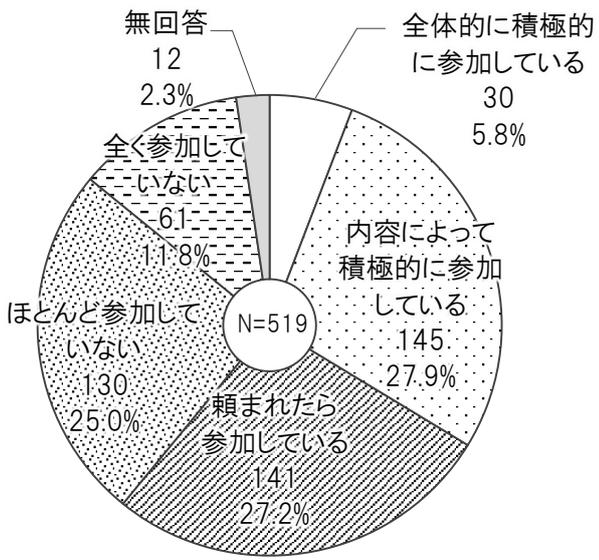
【問9】 市内や地区、グループなどで行われている市民活動は、これからのまちづくりを進める上で大きな原動力となるものです。あなたは、市民活動にどの程度参加していますか。(1つに○)

「内容によって積極的に参加している」と回答した人が 27.9%で最も多く、「全体的に積極的に参加している」と回答した人を含めると、全体の3分の1の人が市民活動に積極的に参加している。次いで、「頼まれたら参加している」と回答した人が 27.2%であり、何らかの形で市民活動に参加している人は6割以上を占めている。

その一方で、年齢別でみると、29歳以下では7割弱、30歳代では5割強の人が「全く参加していない」もしくは「ほとんど参加していない」と回答しており、参加状況に年齢差がみられる。

居住地域別でみると、神埼町神埼地区及び千代田町西部地区では、「全く参加していない」もしくは「ほとんど参加していない」と回答した人が他の地区より多く、参加状況に地域差がみられる。

居住年数別でみると、5年未満の居住者に「全く参加していない」もしくは「ほとんど参加していない」と回答した人が多く、居住年数が短いほど参加している人が少ない傾向がみられる。



■各属性のクロス集計結果

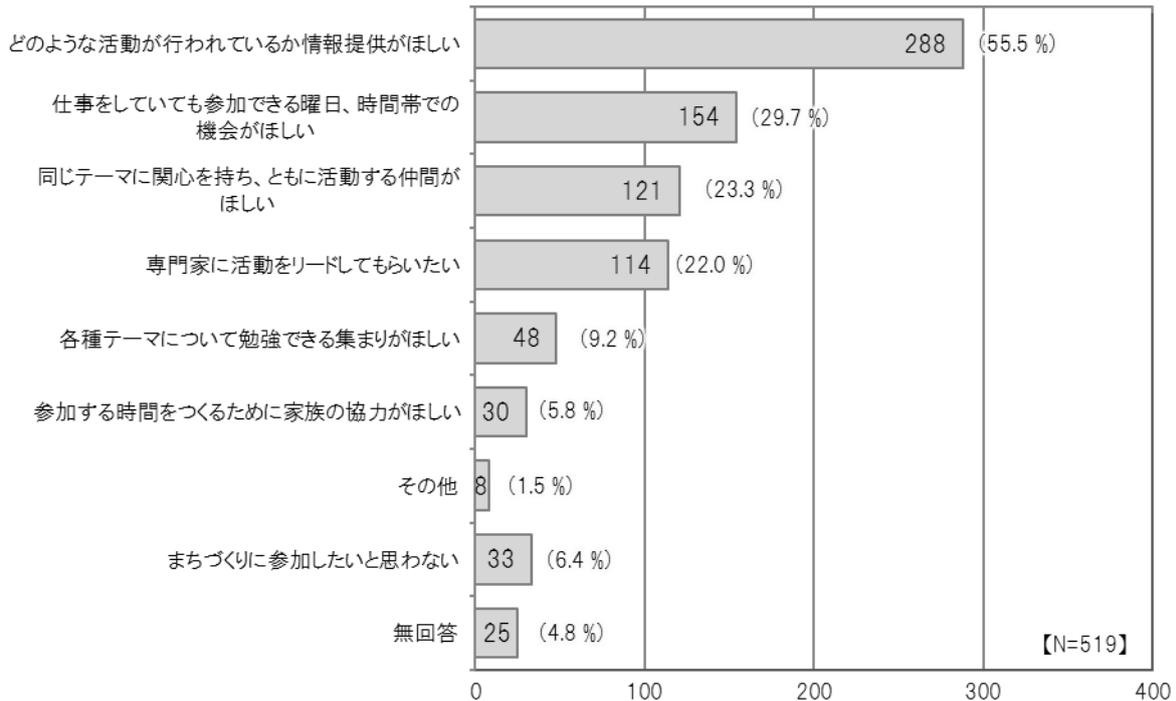
単位＝上段：％、下段：件数

		サンプル数	加全 した体的 しているに 積極的に参 加する	に内 容参加によ つて積極的 に参	い頼 るまれたら 参加して	ない ほとんど 参加してい	全 く参加して いない	無 回答
全 体		100.0 519	5.8 30	27.9 145	27.2 141	25.0 130	11.8 61	2.3 12
年 齢 別	29歳以下	100.0 47	0.0 0	14.9 7	19.1 9	42.6 20	23.4 11	0.0 0
	30歳代	100.0 57	3.5 2	31.6 18	10.5 6	29.8 17	24.6 14	0.0 0
	40歳代	100.0 61	9.8 6	19.7 12	32.8 20	24.6 15	13.1 8	0.0 0
	50歳代	100.0 81	4.9 4	35.8 29	29.6 24	22.2 18	7.4 6	0.0 0
	60歳代	100.0 135	6.7 9	25.9 35	37.0 50	22.2 30	5.9 8	2.2 3
	70歳以上	100.0 133	6.8 9	30.1 40	23.3 31	22.6 30	10.5 14	6.8 9
性 別	男性	100.0 218	8.3 18	28.4 62	29.8 65	21.1 46	11.0 24	1.4 3
	女性	100.0 278	3.6 10	28.1 78	25.2 70	27.3 76	12.6 35	3.2 9
居 住 地 別	神埼町神埼地区	100.0 179	5.0 9	21.8 39	26.3 47	32.4 58	12.8 23	1.7 3
	神埼町西郷地区	100.0 61	8.2 5	19.7 12	32.8 20	23.0 14	13.1 8	3.3 2
	神埼町仁比山地区	100.0 68	10.3 7	36.8 25	30.9 21	16.2 11	4.4 3	1.5 1
	千代田町東部地区	100.0 53	1.9 1	32.1 17	22.6 12	20.8 11	15.1 8	7.5 4
	千代田町中部地区	100.0 62	6.5 4	37.1 23	27.4 17	12.9 8	14.5 9	1.6 1
	千代田町西部地区	100.0 63	3.2 2	30.2 19	22.2 14	30.2 19	12.7 8	1.6 1
	脊振町	100.0 30	6.7 2	26.7 8	33.3 10	26.7 8	6.7 2	0.0 0
居 住 年 数 別	3年未満	100.0 36	0.0 0	13.9 5	11.1 4	41.7 15	33.3 12	0.0 0
	3年以上5年未満	100.0 13	7.7 1	30.8 4	0.0 0	46.2 6	7.7 1	7.7 1
	5年以上10年未満	100.0 35	11.4 4	28.6 10	17.1 6	25.7 9	17.1 6	0.0 0
	10年以上20年未満	100.0 73	4.1 3	21.9 16	27.4 20	35.6 26	11.0 8	0.0 0
	20年以上30年未満	100.0 75	4.0 3	29.3 22	29.3 22	18.7 14	18.7 14	0.0 0
	30年以上	100.0 279	6.8 19	30.1 84	30.8 86	21.5 60	6.8 19	3.9 11

【問10】 今後あなたが市民協働を考えるうえで、まちづくりに参加するには、どういったことが必要ですか。(2つまで○)

「どのような活動が行われているか情報提供がほしい」と回答した人が 55.5%で最も多く、次いで、「仕事をしても参加できる曜日、時間帯での機会がほしい」と回答した人が 29.7%、「同じテーマに関心を持ち、ともに活動する仲間がほしい」と回答した人が 23.3%となっている。

年齢別で見ると、全体の割合と比較し、29歳以下及び70歳代に「同じテーマに関心を持ち、ともに活動する仲間がほしい」、30～50歳代に「仕事をしても参加できる曜日、時間帯での機会がほしい」、と回答した人が多い。



【その他の回答】

- ・ 市民協働の重要性を周知させるべき
- ・ 参加したくても幼児がいると参加が難しい。そのことに対する理解がない場合が多い。
- ・ 子どもと共に参加できる、または託児所がある
- ・ 若者でも参加しやすい場所、環境をつくってほしい
- ・ 団体の積極性がない
- ・ 昔からの住人が「移住者を受け入れない」という慣習を変える
- ・ 昔からいる人と新しく入った人が共通の考えを持てるような機会
- ・ 災害時の対策及び対応への注力

【まちづくりに参加したいと思わない理由】

- ・ 高齢のため
- ・ 参加するのは若い人にすべき
- ・ 身障者であるため
- ・ 仕事と子育てで忙しい
- ・ 単身赴任であり、介護の必要もあるので
- ・ 仕事・家事・育児に追われ、時間を作る心の余裕がない
- ・ 時間がない
- ・ 一人一人の気持ちが分からない
- ・ 人間関係が煩わしい
- ・ 行政が行うべき
- ・ やることが他の市と同じ
- ・ 興味がないから
- ・ 病弱のため
- ・ 体力がない
- ・ 家事で忙しい
- ・ 考え方が合わない
- ・ 地域の協調性がないから
- ・ 「まちづくり」が理解できない
- ・ 交通に不便だから

■各属性のクロス集計結果

単位＝上段：％、下段：件数

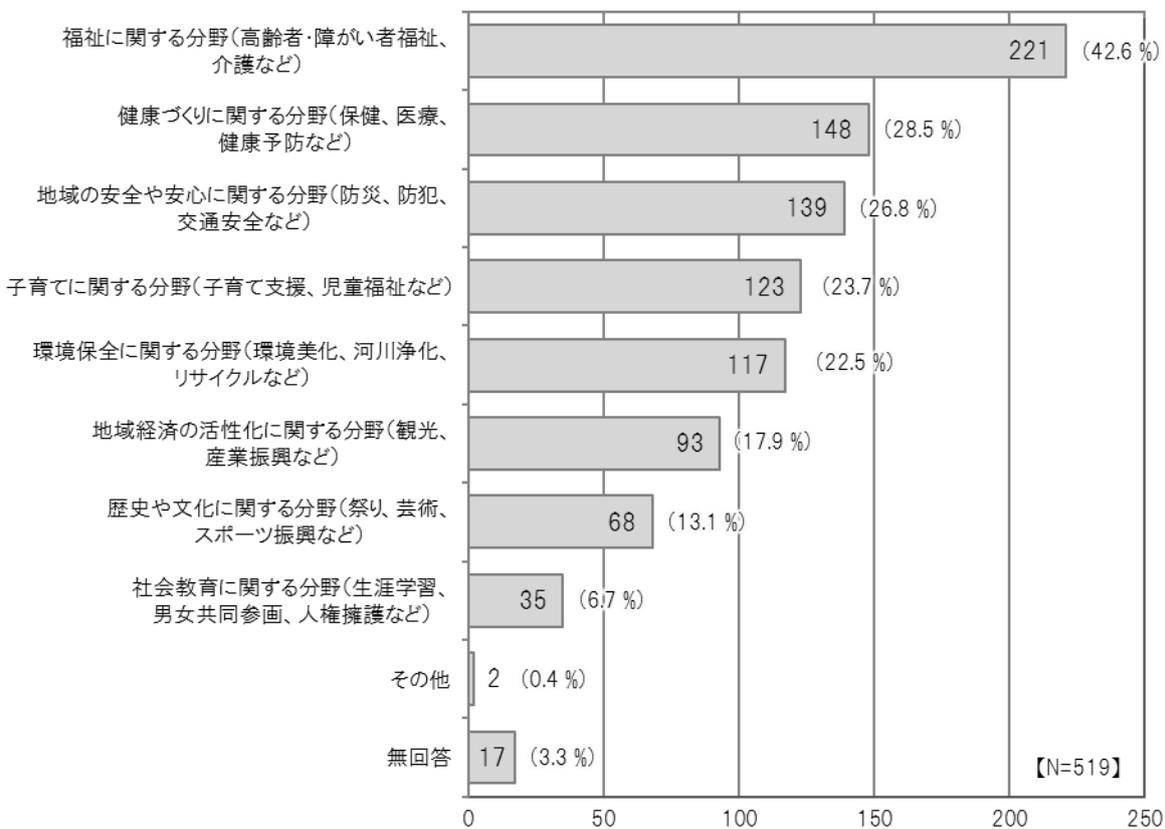
		サンプル数	がほ し い	同 じ テ ー マ に 活 動 す る 仲 間	会 が ほ し い	き る 日 、 時 間 帯 で の 機	仕 事 を し て い て も 参 加 で	め に 家 族 の 協 力 が ほ し い	参 加 す る 時 間 を つ く る た	い ど の よ う な 活 動 が ほ し い	で き る テ ー マ に つ い て 勉 強	ド 専 門 家 に 活 動 を リ ー	そ の 他	た ま ち づ く り に 参 加 し	無 回 答
全 体		100.0 519	23.3 121	29.7 154	5.8 30	55.5 288	9.2 48	22.0 114	1.5 8	6.4 33	4.8 25				
年 齢 別	29歳以下	100.0 47	36.2 17	29.8 14	8.5 4	46.8 22	6.4 3	19.1 9	2.1 1	4.3 2	2.1 1				
	30歳代	100.0 57	15.8 9	49.1 28	5.3 3	45.6 26	1.8 1	26.3 15	7.0 4	8.8 5	0.0 0				
	40歳代	100.0 61	23.0 14	47.5 29	9.8 6	47.5 29	1.6 1	21.3 13	3.3 2	6.6 4	3.3 2				
	50歳代	100.0 81	16.0 13	48.1 39	6.2 5	53.1 43	11.1 9	18.5 15	0.0 0	4.9 4	3.7 3				
	60歳代	100.0 135	19.3 26	18.5 25	3.7 5	66.7 90	13.3 18	25.9 35	0.7 1	5.2 7	4.4 6				
	70歳以上	100.0 133	31.6 42	14.3 19	5.3 7	56.4 75	10.5 14	18.8 25	0.0 0	8.3 11	9.8 13				
性 別	男性	100.0 218	24.3 53	31.2 68	3.7 8	56.0 122	9.6 21	23.9 52	2.3 5	6.0 13	4.6 10				
	女性	100.0 278	22.3 62	29.9 83	7.2 20	54.7 152	8.6 24	21.2 59	0.7 2	6.8 19	4.7 13				
居 住 地 別	神埼町神埼地区	100.0 179	25.1 45	27.4 49	5.6 10	61.5 110	11.2 20	20.7 37	1.7 3	6.7 12	2.2 4				
	神埼町西郷地区	100.0 61	19.7 12	29.5 18	3.3 2	55.7 34	9.8 6	9.8 6	4.9 3	11.5 7	6.6 4				
	神埼町仁比山地区	100.0 68	17.6 12	38.2 26	7.4 5	58.8 40	10.3 7	25.0 17	0.0 0	1.5 1	4.4 3				
	千代田町東部地区	100.0 53	24.5 13	34.0 18	9.4 5	35.8 19	7.5 4	22.6 12	0.0 0	5.7 3	11.3 6				
	千代田町中部地区	100.0 62	25.8 16	29.0 18	3.2 2	59.7 37	9.7 6	21.0 13	0.0 0	4.8 3	6.5 4				
	千代田町西部地区	100.0 63	22.2 14	28.6 18	6.3 4	52.4 33	3.2 2	27.0 17	1.6 1	7.9 5	6.3 4				
	脊振町	100.0 30	26.7 8	23.3 7	3.3 1	43.3 13	3.3 1	40.0 12	3.3 1	6.7 2	0.0 0				
居 住 年 数 別	3年未満	100.0 36	22.2 8	22.2 8	8.3 3	66.7 24	2.8 1	19.4 7	0.0 0	5.6 2	2.8 1				
	3年以上5年未満	100.0 13	30.8 4	30.8 4	0.0 0	38.5 5	0.0 0	30.8 4	7.7 1	0.0 0	7.7 1				
	5年以上10年未満	100.0 35	20.0 7	37.1 13	11.4 4	45.7 16	8.6 3	14.3 5	8.6 3	8.6 3	0.0 0				
	10年以上20年未満	100.0 73	26.0 19	28.8 21	5.5 4	56.2 41	6.8 5	23.3 17	1.4 1	8.2 6	4.1 3				
	20年以上30年未満	100.0 75	25.3 19	37.3 28	4.0 3	50.7 38	8.0 6	20.0 15	2.7 2	6.7 5	5.3 4				
	30年以上	100.0 279	22.9 64	28.3 79	5.4 15	56.6 158	11.1 31	22.2 62	0.4 1	6.1 17	5.7 16				

【問11】 今後、市民と行政が協働で取組むことが必要、あるいは取組めば有効であると考えられるのはどの分野だと思いますか。(2つまで○)

「福祉に関する分野（高齢者・障がい者福祉、介護など）」と回答した人が 42.6%で最も多く、次いで、「健康づくりに関する分野（保健、医療、健康予防など）」と回答した人が 28.5%、「地域の安全や安心に関する分野（防災、防犯、交通安全など）」と回答した人が 26.8%となっている。

年齢別で見ると、全体の割合と比較し、30歳代以下に「子育てに関する分野（子育て支援、児童福祉など）」、40歳代に地域の安全や安心に関する分野（防災、防犯、交通安全など）、50歳代以上に「福祉に関する分野（高齢者・障がい者福祉、介護など）」「健康づくりに関する分野（保健、医療、健康予防など）」と回答した人が多い。

居住地域別で見ると、全体の割合と比較し、神埼町西郷地区に「地域の安全や安心に関する分野（防災、防犯、交通安全など）」、千代田町中部地区及び西部地区に「子育てに関する分野（子育て支援、児童福祉など）」、脊振町に「地域経済の活性化に関する分野（観光、産業振興など）」と回答した人が多い。



【その他の回答】

- ・ 商店の活性化
- ・ 被災地ボランティアの声掛け、送迎

■各属性のクロス集計結果

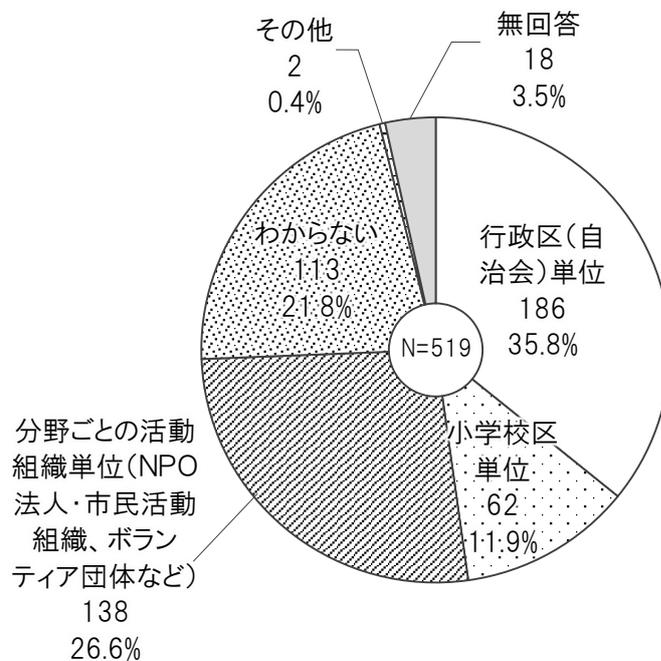
単位＝上段：％、下段：件数

		サンプル数	福祉に関する分野（高齢者・障がい者福祉、介護など）	健康づくりに関する分野（保健、医療、健康予防など）	生涯学習、男女共同参画、人権擁護など	社会教育に関する分野（生涯学習、男女共同参画）	子育て支援、児童福祉など	振興など（祭り、芸術、スポーツなど）	歴史や文化に関する分野（祭り、芸術、スポーツなど）	環境美化、河川浄化、リサイクルなど	環境安全に関する分野（環境安全など）	地域の安全や安心に関する分野（防災、防犯、交通安全など）	地域経済の活性化に関する分野（観光、産業振興など）	その他	無回答
全体		100.0 519	42.6 221	28.5 148	6.7 35	23.7 123	13.1 68	22.5 117	26.8 139	17.9 93	0.4 2	3.3 17			
年齢別	29歳以下	100.0 47	27.7 13	21.3 10	17.0 8	42.6 20	21.3 10	23.4 11	21.3 10	4.3 2	4.3 2	0.0 0			
	30歳代	100.0 57	31.6 18	17.5 10	8.8 5	49.1 28	12.3 7	12.3 7	29.8 17	26.3 15	0.0 0	0.0 0			
	40歳代	100.0 61	36.1 22	16.4 10	8.2 5	29.5 18	16.4 10	18.0 11	36.1 22	23.0 14	0.0 0	1.6 1			
	50歳代	100.0 81	49.4 40	34.6 28	2.5 2	18.5 15	16.0 13	23.5 19	18.5 15	23.5 19	0.0 0	2.5 2			
	60歳代	100.0 135	40.0 54	29.6 40	8.9 12	20.0 27	13.3 18	24.4 33	26.7 36	17.8 24	0.0 0	3.0 4			
	70歳以上	100.0 133	54.9 73	36.8 49	1.5 2	11.3 15	6.8 9	24.8 33	28.6 38	12.8 17	0.0 0	7.5 10			
性別	男性	100.0 218	38.1 83	23.9 52	8.3 18	23.9 52	15.6 34	23.4 51	29.8 65	19.7 43	0.0 0	2.8 6			
	女性	100.0 278	45.7 127	32.0 89	5.4 15	25.2 70	11.2 31	21.2 59	25.5 71	15.5 43	0.7 2	3.6 10			
居住地別	神埼町神埼地区	100.0 179	41.3 74	28.5 51	7.3 13	20.7 37	16.2 29	21.8 39	26.3 47	19.6 35	1.1 2	2.2 4			
	神埼町西郷地区	100.0 61	37.7 23	31.1 19	4.9 3	23.0 14	13.1 8	18.0 11	41.0 25	11.5 7	0.0 0	4.9 3			
	神埼町仁比山地区	100.0 68	48.5 33	32.4 22	4.4 3	20.6 14	17.6 12	17.6 12	27.9 19	22.1 15	0.0 0	0.0 0			
	千代田町東部地区	100.0 53	37.7 20	32.1 17	5.7 3	20.8 11	15.1 8	28.3 15	22.6 12	13.2 7	0.0 0	7.5 4			
	千代田町中部地区	100.0 62	46.8 29	29.0 18	1.6 1	30.6 19	6.5 4	24.2 15	21.0 13	16.1 10	0.0 0	6.5 4			
	千代田町西部地区	100.0 63	46.0 29	19.0 12	14.3 9	33.3 21	3.2 2	25.4 16	30.2 19	9.5 6	0.0 0	3.2 2			
	脊振町	100.0 30	40.0 12	30.0 9	6.7 2	20.0 6	16.7 5	23.3 7	13.3 4	40.0 12	0.0 0	0.0 0			
居住年数別	3年未満	100.0 36	27.8 10	22.2 8	2.8 1	47.2 17	19.4 7	19.4 7	19.4 7	22.2 8	0.0 0	0.0 0			
	3年以上5年未満	100.0 13	23.1 3	7.7 1	15.4 2	46.2 6	15.4 2	38.5 5	38.5 5	0.0 0	0.0 0	7.7 1			
	5年以上10年未満	100.0 35	48.6 17	25.7 9	8.6 3	28.6 10	8.6 3	11.4 4	31.4 11	20.0 7	2.9 1	2.9 1			
	10年以上20年未満	100.0 73	42.5 31	17.8 13	4.1 3	30.1 22	16.4 12	26.0 19	34.2 25	15.1 11	0.0 0	0.0 0			
	20年以上30年未満	100.0 75	44.0 33	30.7 23	9.3 7	24.0 18	10.7 8	30.7 23	24.0 18	12.0 9	1.3 1	2.7 2			
	30年以上	100.0 279	44.4 124	33.3 93	6.5 18	17.6 49	12.9 36	19.7 55	25.8 72	20.4 57	0.0 0	3.9 11			

【問12】 協働のまちづくりを進めていくために、どのような単位で活動することが望ましいと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

「行政区（自治会）単位」と回答した人が 35.8%で最も多く、次いで、「分野ごとの活動組織単位（NPO法人・市民活動組織、ボランティア団体など）」と回答した人が 26.6%となっている。

一方で、居住地域別でみると、神埼町仁比山地区及び脊振町では、他の地域と比べ、「小学校区単位」と回答した人が多くみられる。



■各属性のクロス集計結果

単位＝上段：％、下段：件数

		サンプル数	行政区（自治会）単位	小学校区単位	分野ごとの活動組織単位（ボランティア団体など）	わからない	その他	無回答
全体		100.0 519	35.8 186	11.9 62	26.6 138	21.8 113	0.4 2	3.5 18
年齢別	29歳以下	100.0 47	19.1 9	27.7 13	8.5 4	42.6 20	0.0 0	2.1 1
	30歳代	100.0 57	26.3 15	12.3 7	29.8 17	28.1 16	1.8 1	1.8 1
	40歳代	100.0 61	27.9 17	18.0 11	29.5 18	24.6 15	0.0 0	0.0 0
	50歳代	100.0 81	42.0 34	4.9 4	28.4 23	19.8 16	0.0 0	4.9 4
	60歳代	100.0 135	39.3 53	11.1 15	28.9 39	16.3 22	0.7 1	3.7 5
	70歳以上	100.0 133	42.1 56	7.5 10	27.1 36	18.0 24	0.0 0	5.3 7
性別	男性	100.0 218	40.4 88	16.1 35	21.6 47	16.5 36	0.5 1	5.0 11
	女性	100.0 278	31.7 88	9.0 25	30.2 84	26.3 73	0.4 1	2.5 7
居住地別	神埼町神埼地区	100.0 179	33.0 59	9.5 17	29.6 53	23.5 42	0.6 1	3.9 7
	神埼町西郷地区	100.0 61	36.1 22	8.2 5	27.9 17	24.6 15	0.0 0	3.3 2
	神埼町仁比山地区	100.0 68	39.7 27	20.6 14	23.5 16	13.2 9	1.5 1	1.5 1
	千代田町東部地区	100.0 53	35.8 19	11.3 6	22.6 12	20.8 11	0.0 0	9.4 5
	千代田町中部地区	100.0 62	38.7 24	8.1 5	30.6 19	19.4 12	0.0 0	3.2 2
	千代田町西部地区	100.0 63	38.1 24	11.1 7	19.0 12	31.7 20	0.0 0	0.0 0
	脊振町	100.0 30	36.7 11	23.3 7	23.3 7	13.3 4	0.0 0	3.3 1
居住年数別	3年未満	100.0 36	19.4 7	8.3 3	27.8 10	44.4 16	0.0 0	0.0 0
	3年以上5年未満	100.0 13	46.2 6	15.4 2	15.4 2	23.1 3	0.0 0	0.0 0
	5年以上10年未満	100.0 35	22.9 8	11.4 4	25.7 9	31.4 11	0.0 0	8.6 3
	10年以上20年未満	100.0 73	38.4 28	12.3 9	27.4 20	20.5 15	0.0 0	1.4 1
	20年以上30年未満	100.0 75	32.0 24	14.7 11	25.3 19	26.7 20	0.0 0	1.3 1
	30年以上	100.0 279	40.1 112	11.1 31	27.2 76	16.5 46	0.7 2	4.3 12

神埼市のまちづくりや市政についてのご意見がありましたら、率直なお考え、ご要望をお聞かせください。

■神埼町神埼地区

年齢	性別	自由意見	
29 歳以下	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 熊本地震や九州北部豪雨が神埼市で起きて市民が安全に、生活ができるよう対策対応を…。 	
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①ごみをまだ自宅で燃やしているところが多い。困りし迷惑。②婦人会を廃止してほしい。ランチ等ではなく、必要なことにお金を使ってほしい。断ると無視されたり、理不尽な文句を言われたり、イジメに近い仕打ちを受けます。時代遅れです。婦人会は他の町にほとんどないとのことなので、ご検討いただけませんか？③ごみ袋に名前を書かずに出す家庭がほとんどです。出し方も逆さになり、中身が出ていることもあり、どこの家庭のゴミなのか、名前がないので不明なことが多いです。④農家ばかりなので、農業に関するイベントが多くて、休みの日に朝早くから拘束され体が休まりません。草むしりやゴミ拾いなど必要なことはいいですが、それ以外の農家に関係のないことまで巻き込まれたくないので、どうかしてほしいです。神埼において、こうした慣習の残る地区は他になく、周りの人もイヤイヤ仕方なくやっているとのことなので、意味のないものかと思えます。その後の飲み会目当てのようなので、それなら飲み会だけをやればいいことで、不必要なことに貴重な休みをつぶされる会社員の立場にもなってほしいです。新しく来た人たちは非国民のような扱いをされるため、とても住みにくく、居心地の悪い空間となっています。 ● 下水道料金が高すぎる。それが理由で移住をやめた知人もいる。実にもったいない。神埼郵便局に車止め石を設置してほしいですね。 	
30 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 神埼駅北エリアの開発が神埼市のさらなる発展につながると思います。 ● 神埼小への通学路がどこも狭く、毎日心配です。誰かが犠牲にならないと動いてもらえないのでしょうか？なるべく早く対策をとっていただきたいです。 ● 保育料の減額。吉野ヶ里公園など施設使用料を市民だけの特別価格にするなど、移住してプラスになることがあれば人口も増えるのではないかと思います。 	
		女性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①子どもたちが安全な遊び場として吉野ヶ里公園があるので、年間パスの助成をしてほしい。神埼周辺の歴史にも興味が湧き、さらには佐賀を大切に思ってもらえると思う。また、外から転居を考えるにあたり、子どもがいる世帯はこのような助成をとても気にする。人口を増加させてくれるであろう世帯に魅力を感じてもらえれば、市の未来も明るくなるのではないかと。 ● ②下水道の加入が少ないせいで、先に下水にした家庭は、上下水道代が高すぎる。入れれば値上がりすることがわかっていけば加入する人が少ないのは当たりまえ！目標を決め、早急に推進していくべき。のんきすぎます。
			<ul style="list-style-type: none"> ● ①神埼駅の活性化。大きな駐車場付き、大きな道の駅②神埼駅から吉野ヶ里公園への屋根付きの遊歩道の整備 ③市立図書館の整備④西九州大学とのコラボ、商品開発
	<ul style="list-style-type: none"> ● ①町の中での雇用が少ない②企業が少ない③商店などがあまりない④飲食店が少ない⑤日中人が集まる場所が少ないと感じる。町のなかが活性化すれば違うのかなと思うことがある 		
	<ul style="list-style-type: none"> ● ①特急が神埼駅に停まるように JR に要望してほしい②国民健康保険の人間ドック等の助成を充実させてほしい③様々な立場・状況の人が誰でも暮らしやすいまちになることを期待します 		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐賀市内より移ってきましたが、佐賀市内より、静かで住みやすいです。吉野ヶ里遺跡がある歴史の町としては、バスやタクシーが少なく、もったいない気がします。佐賀市内からアクセスできるような移動手段の充実と、若い方や外国人が集まれるカフェなど、飲食店の誘致を行って、更に魅力ある街にしてほしいです。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援について、神埼に土日もあるような児童館(支援センター)がほしいです。母親が午前中だけでも病院や美容室、急な用事を済ませられるように一時預かりセンターみたいな施設もほしいです。また、雇用について、子育てしている母親たちが無理なく働ける環境づくりをしてほしい。時間帯や、日数など、あと、子どもの急病、行事に快く対応してもらえる環境 		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害のある人に対する理解を求めます。差別がなくなることを願っています。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路について。鏡等あっても、見ずに突進してくる車が多いので、道路の補強などもしてほしい。 		

年齢	性別	自由意見	
40 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 議員の数を減らしてほしい。 ● 市民会議などの事業を見直してほしい。人口減のなかで、コンパクトに意見交換が行える環境を整えてほしい。 	
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● もっと子どもが自由に遊べるところが充実すればいいですね。今の時代に合わせた公園づくりをしてほしい。幼児用のブランコひとつ町に無く、若い親子は、佐賀市の公園まで行っているそうです。さびしいですね。 ● 街灯も少なく、運動できる場所も少ないし、田舎にしては家賃も高いので、佐賀市への転移を希望しています。医療機関も少なく、というか病院はほとんど市外まで足を運んでいるので、今のところ、住みやすいとは思っていません。 ● 施設のスクラップアンドビルドを計画的に行い、経費削減に努めるべきだと思う。 ● 神埼橋一神埼駅にかけての道路が非常に、交通量が多いのに道幅や歩道が狭くて危険です。朝夕は特に自転車等の学生も増えるため、道路拡張すべきと考えます。半年ほどしか住んでいないので、クリークの成り立ちや役割など、わかりませんが、これだけ多いのであれば、ヒシ以外に何かアピールできる取り組みが必要と思います。 	
		不明	<ul style="list-style-type: none"> ● 神埼に雇用が少ない。企業誘致など積極的に。市役所での対応に困った。申請書(大人用と子ども用の二種類)を取りに行くよう子どもに頼んだところ、子供用しかもらえなかった。意味がわからない。
		男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業誘致に努力してください。みやき町の様に町営住宅を作って人口を増やしてほしいです。 ● 高齢化が進み、一方子どもたちの働く場所は限られている。若い人口が流入する魅力のある街づくりをしてほしい。 ● 神崎市は交通マナーが大変悪い。総合計画も大事だが、住民の性格を修正しなければ根本的改善は望めない。
50 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● これから増える老人のために健康づくりのための企業の導入、高齢者の働く場所の確保、若者が集まるような商業施設 ● みんなが気軽に集まって、楽しく過ごせる町の施設があればいいと思います。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ● 核家族化が進む現代においても、田舎のよさ、何世代も一緒に暮らしている家族もあると思うので、その人間関係のよさ、優しさも大切にできるような町づくり、自営業、農業などで生計が立てられるまちづくりをしてほしいと思います。また、神埼に住居を構え、近隣で働くことができる環境づくりもありかとおもいます(ベッドタウンとしての人口増加)。 	
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 近年全国では激甚災害が多発しているが、神崎市も城原川を抱えており、人ごとではない。治水対策、城原川ダム対策の政策も進んでいるとは思いますが、安全、安心な地域があつてこそ。環境あつての子育て教育、保健、医療体制、高齢者・障がい者支援の充実ができると思います。強固な地盤対策こそ豊かな神崎市まちづくりだと思います。 ● 高齢者にとって住みやすい安心安全のまちづくり。独居老人が多いなか、支援の充実を期待します。 ● 子ども達、年寄りが笑顔で生きていられる町がいいですね。 ● 私の家(出来町)周りのクリークは、すぐ葎が生えて中の水が全く見えません。ヘドロが溜まっているので一年に一度は重機を使って取り除いてほしいと思います。 ● 長期療養者就職支援と親が長期療養時の子どもの教育支援をお願いしたい ● 豊かな自然や文化財などがあつて、とても良い所だと思います。企業誘致など積極的に行い、税収を増やす努力が必要だと思います。農業を行う若手を育てていく必要も大いに感じます。市政やまちづくりに関して若い人達の意見やアイデアをたくさん取り入れ、市を活性化していく取り組みを是非してってください。 	
		男性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①都会っぽい吉野ヶ里に対して、神埼は寂れて活気のない街に見えます。中心部から離れた地域にも店舗などがあると高齢者等にも優しいのでは？自転車でも行ける距離だとおおいいですね。②九年庵の駐車場のアルバイトの採用は、その地区の人だけが対象になっていますが、車の渋滞等は市民みんなの問題だと思います。市民税は皆払ってます。5:5(市民全体)にしてはどうですか？同じ人ばかりが毎年 10 万近くもらえるのは不公平だと思います。
		男性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①綺麗な河川にして、町の内でもホテルが見られるように川の整備(川底の砂地)②市による後継者の育成(農業、職人)
		男性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①道路の整備を早急に検討していただきたい 渋滞やそれに伴う迂回車輛が狭い道で猛スピードを出して危険極まりない ②役所の建物ばかりに税金を使うのではなく、住環境に充当してほしい ③鳥栖駅での乗り継ぎ時刻を調整してもらえたら、遠隔地への通勤・通学も可能となり、神崎市定住者も増えるのではないのでしょうか
		男性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①都会っぽい吉野ヶ里に対して、神埼は寂れて活気のない街に見えます。中心部から離れた地域にも店舗などがあると高齢者等にも優しいのでは？自転車でも行ける距離だとおおいいですね。②九年庵の駐車場のアルバイトの採用は、その地区の人だけが対象になっていますが、車の渋滞等は市民みんなの問題だと思います。市民税は皆払ってます。5:5(市民全体)にしてはどうですか？同じ人ばかりが毎年 10 万近くもらえるのは不公平だと思います。
		男性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①綺麗な河川にして、町の内でもホテルが見られるように川の整備(川底の砂地)②市による後継者の育成(農業、職人)
男性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①道路の整備を早急に検討していただきたい 渋滞やそれに伴う迂回車輛が狭い道で猛スピードを出して危険極まりない ②役所の建物ばかりに税金を使うのではなく、住環境に充当してほしい ③鳥栖駅での乗り継ぎ時刻を調整してもらえたら、遠隔地への通勤・通学も可能となり、神崎市定住者も増えるのではないのでしょうか 		

年齢	性別	自由意見
60 歳代	男性	● できるだけ神崎に住み続け、できるだけ地域活動にも参加したいと思っていますが、車がないと病院にも行けないし、食料品等の調達もできません。年をとっても今のまま住み続けられるか不安です。
		● 行政が動かないと何もできないと思います。
		● 行政の方々も環境美化、観光促進への取り組みは表向きだけではありませんか？本心から取り組んでいますか？市役所前の国道沿いの歩道の雑草を誰もしない。
		● 災害に強いまちづくり、災害が起こったら市民に早めに連絡して、犠牲者が出ないように共助いただきたい。現在、異常気象が多いのでそう思います。
		● 山間部と平野部からなる神崎市にしかできない情報発信をして、活性化を図って下さい。きっと裕福な神崎市が実現できることでしょう。
		● 神崎市は河川の多さが魅力であるが、洪水災害に備え、河川の整備が重要である。雑草、ゴミなどを定期的に除去して、きれいな魚の住める河川を維持してほしい。無用な箱物の建設は不要！
		● 中央公民館の北側はテニスコート跡に滑り台やブランコなど設置して下さい。日の隈公園では遠い。運動施設も作ってほしい。上峰町みたいに巡回バスを作ってほしい。
		● 町づくりの基本方針としては、環境にやさしくて住みやすく、定住(若者の U ターンを含む)を促進する環境の整備などがあります。一番必要なのは働く場所があるということで、市の一つの課題として、企業誘致をお願いします。近い将来、他の市町村との合併の考えはあるのでしょうか！
		● 町づくり景観をよくしてほしい。道が通っていないところがある。
		● 定住を促進する環境に持って行ってください。
	● 不要な公共事業はやめてほしい。	
	女性	● 近年集中豪雨などがありますが、城原川やクリークのなかの草が中州のようになっていところが多々見られます。一度見守ってもらい、早急に、川底等、水の流れをスムーズにしたいと特に関心します。また、何かイベントがあるときの清掃ではなく、神崎駅北側の草も刈り取ってほしいです。すばらしい景観の神崎駅です。市内の美化を期待したいです。
		● 子育て支援にもっと力を入れてほしい。公園や児童館など、子どもが集う場が少ないため、他の市町村に出かけている現状。新庁舎ができれば、近くに子どもが集う場を一緒に建ててほしい。
		● 市民のためにしっかり仕事をしてほしい。
● 私は安心安全に暮らせることが最重要と考えています。佐賀空港がオスプレイの駐屯地なれば神崎も安心安全な暮らしが脅かされるのではと不安になります。		
70 歳以上	男性	● ①神崎市内で作るそうめん、アスパラ、ひしの実等を使った料理等で町おこしをしたほうが良いと思う②不要になった建物等は特別養護施設にするか、民間に貸し付けた方がよいのでは③子どもたちが自由に遊べる場所が少ない
		● ①企業誘致、活況を呈する町づくり ②若い人の職場の確保 ③図書館建設
		● 空家の活用、整理
		● 市民が安心して、働きがいのある工場をもう少し、外部に働きかけ取り入れてほしい。毎日ご苦労様です。
		● 神崎市は商業化に努めることで人口増加を見込めると思う。
		● 田園用クリークの保全には力を入れてあるが、住宅街の排水路等も見回り、環境の悪いところは改善を望む
		● 脊振、神崎、千代田町、各地域の特色を生かしたまちづくりをお願いします。庁舎や公園を作るだけがまちづくりではないと思います。維持費管理経費は大丈夫ですか。
	女性	● ①公衆トイレの水洗化②高速神崎のバス停がいつも汚い③水車の里の活用を考えてほしい
		● サークル活動の会場利用申請は月初めの早朝申込になっているが、そのために活動を自粛している人もおられると思います。よって、中央体育館・中央公民館の利用方法を工夫していただきたいと思っています。
		● スポーツが盛んな青少年たちが増えた昨今、うれしいことですね！スポーツセンターがほしい

年齢	性別	自由意見
		ですね！！
70歳以上	女性	● 城原の川底を深くし、その土を野越しにあてる。
		● 神埼も少しは有名になりました。市長さんは男が良いです。
		● 神埼を愛する市民の一人として、このようなアンケートや、竹原の四人書きの行事など、市を盛り上げる企画に深く感銘しました。災害対策の強化なども今後の課題かと思いますが、さらなる市の発展のために行政一丸となって、ご活躍くださることを望みます。
		● 病院への通院、買い物に際してはタクシーを利用しているが、巡回バスがあれば助かる。

■神埼町西郷地区

年齢	性別	自由意見
29歳以下	男性	● すべてにおいてよりよい町づくりをお願いします。
30歳代	男性	● ①企業誘致、住宅支援を行い、税金アップ②子育てしやすい環境(公園、川の整備) ③外貨を取りやすい観光支援での税金アップ④高齢者支援(買い物等場、病院の充実) ⑤道路の整備 ● 市内地(例えば市役所近辺)に子どもが遊べるような場がほしいです。図書館も入りやすい造りにしてほしい。
	女性	● 神埼は育児をしながら住んでいますが、とても自然が多く過ごしやすい環境だと感じます。ただ、女性の働く場所が少なく、佐賀市内まで行かないといけないのは残念に思います。子どもを連れて遊びに行ける児童館もしくは公園が中心部にあれば嬉しいなと思います。神埼に住んでいる人が神埼で楽しみ、消費をすることで地域も活性化するし、一日食事をして遊んでゆっくりできる場所があれば、自然と人が集まり、交流も生まれると思います。今後に期待しています。宜しくお願いします。
40歳代	男性	● 災害も少なく非常に住みやすい町だが、城原川の水害対策を優先的にやってもらいたい。
	女性	● 神埼市のまちづくりに力を入れてあり、なによりだと思います。数年前に小学校でバッジをつけるようになりましたが、このバッジが何かを変え、誰かの意識が変わりましたか？また、町に子どもを連れて出かけるところがあまりないように思われます。また、子どもが安心して遊べる所があればと思います。自家用車がないとたいへん不便です。 ● 医療費の件はとても助かっております。
	不明	● 中学校の体育館がないのはおかしい。新庁舎を新築する費用があるなら中学校の体育館が先じゃないですか？千代田中も脊振中もあります。中学校の体育館がないとか聞いたことがあります。これ以上の無駄な財政はやめてください。これまでこの町に住んでいて良かったと思うことがひとつもありません。今後もこのままだったら他の町へ引越す予定です。もっと市民のことを考えて下さい。
50歳代	女性	● 企業誘致して市民税を下げしてほしい。 ● 共働き家庭も増えているので、自治会の行事等の負担を軽減できると助かります。
60歳代	男性	● ①学童保育の充実(私立保育所の保育時間までは学童保育も行う) ②子どもの医療費の無償化(義務教育期間) ③子どもと老人が集える公園の設置(市役所跡地の活用)
		● ①高速道の小渋にスマートインターチェンジができたと思う ②長崎新幹線の開通でFGTやミニ新幹線が長崎本線を通れば、現状の踏切の遮断機が閉まる時間はどうなるのでしょうか？そういう情報も公開してほしい。
		● ゴミ袋に関し、地区名・個人名を記入する様式は個人情報を守っていないという最たるものだと考えます。
		● 意見を聞くより考えなさい。方法は知ってるハズ！実行してくれ！
		● 今後の町づくり、市政も重要であるが、現在の足元も注視してほしい。地区の行事の廃止など(運動会参加者は例年変わらず、老いていけばかりで、参加できる種目もなくなっている)。
		● 神埼市の公共建造物については、もう少し地元業者の参入を希望したい。
		● 人口減少の地域で、高齢者の健康増進と元気な高齢者の積極的な社会参加ができるシステムを作る。地域で介助の必要な高齢者に元気な高齢者が介助するなど。
		● 人口が年々減少する中で、地区行事の運営や、役員の確保に事欠いているのが現状。統合が現実的とは思いますが、その際に、問題となる事項などをあげて、モデル的なプロセス・フローを作成してもらえないか。
● 水害対策(城原川、田手川) 教育(不登校児童への教職員の意識向上)		

年齢	性別	自由意見
60 歳代	女性	● 高齢者の増加が見込まれるため、安心して生活ができる環境づくり、子育て支援の充実を図り、自然環境を維持され、防犯等に努めてほしい。
		● 自然と人が共生するまちづくり。住みたい(定住したい)人が増える環境づくりをお願いいたします。
		● 川の掃除をしてほしい。我が家の前の川は草でいっぱい。頻度を決め、川底の掃除をしてほしい！！
70 歳以上	男性	● 集落内の災害の危険がないか調査してほしい(水害)
	女性	● ふるさと道路。桜並木にちゃんとした桜が咲いている木がほとんどありません。
		● 一番困っているのは、買い物(日常の食料品)が不便なことです。
		● 今後とも神崎市発展のためがんばってください。よりよいまちづくりができることを期待しています。
不明	● 大雨による被害(朝倉市など)が多発しているため、神埼地区も城原川の氾濫が心配です。特に、城原川は天井川になっています。決壊した時にどうするのか、決壊しないようにはどうすればいいのか、今後のことも考えてもらいたい	

■神埼町仁比山地区

年齢	性別	自由意見
30 歳代	男性	● 生活に希望の持てる町
	女性	● 焼却炉を使う家が近所にあり、家の中や洗濯物に臭いがつき、いつも迷惑だなと思っているが、本人様にも言えず、どこに相談したらいいのかわからないままです。環境を綺麗にしたい、住みやすい町、安心して住める街の一つとして、少し考えられたらと思います。
40 歳代	男性	● 市が若返る必要があります。親がいるので住んでいます、そうでなければ、不便で魅力もないので住みません。
	女性	● 女性や若者が安心して暮らせて仕事がしやすい環境にしてほしい
		● 神崎市外から引っ越してきましたが、「市」なのに、図書館の小ささにはびっくりしました。ショックでした。私がいままで育ってきた町・市では、神崎市とはそんなに規模もかわらないところでしたが、それでも充実した図書館でした。あと、子ども(特に小学生)が挨拶もしないし、逆に悪口を言われたこともあるし、注意してもばかにしたような態度をとったり、全く反省していないところなど、子育てには問題ありのような気がしました。親の育て方が間違っているのか、学校の教育に問題ありなのか、わかりませんが……。鳥栖、久留米、佐賀市内へ行くには、ちょうど途中で、交通の便は良いと思います。でも 34 号線の渋滞はどうにかしてほしいです。
不明	● 保育園、学童をもっと利用しやすくしてほしい。土曜日午前中だけの預かりも拒否されます。入園時に口頭または文書によるその説明は一切ありませんでした。もっと子育てに、親にも優しい保育園づくり、神崎市になってほしいです。	
60 歳代	男性	● ①神崎市に道の駅の設置②県道仁比山地区の道路拡張
		● 神埼市の特色を作り、地域の PR するものは何か、道の駅の可能性も東脊振に作られ、ショッピング場所も他地区にあり、さて神埼は何を中心に人を集めるか。「住みたい町神埼」子育て支援はどうなっているか。県の行政の場も佐賀市と鳥栖市に統合され、さみしくなり、東部地区の教育の中心だった神埼も下降しているように感じる。
		● 地域の活性化、市民の定住化を図る為、観光資源の構築と PR、雇用の創出。福祉の町づくり(地域老人クラブ、学童組織の形成)。
	女性	● ①子供懇談会の毎年の開催が大変うれしく思っております。他県から移住してみて素晴らしいと思います。今後も続けてもらいたい。②市民との懇談会も参加してみて本当に良いことと思います。
		● ①豊かな自然環境を大切にしてほしい ②市会議員の数を減らしてもいいと思います。
		● 40 年前に神崎市に移住してきて、現在では、道路も広くなって歩道もでき、街灯もついて、クリーク等も整備され、地区も明るく、住みやすくなりました。今後も、子育て・教育・文化遺産・特産物の工場を願うものです。要望として、平ヶ里踏切周辺から市役所前交差点周辺の交通の緩和を切望します(市役所も新設されますので)。
● 下水道の整備を早く進めてほしい。		
● 自然豊かではあるが、車社会のため、騒音がひどいので道の補修など定期的に考えて下さい。特産品が地元においても知られていないことがある。		
● 神埼に越してきたばかりで町・市のことをこれから学びたいので、習い事(健康ダンスなど)が		

年齢	性別	自由意見
		開かれている場所がもっと近くにあればいいと思います。あと、ハローワークが神埼にもあったらと思ってます。佐賀まではちょっと不便でした。
		● 神崎市などの公共施設に健康器具の設置などをお願いしたい！安い単価での使用などを希望する
		● 同じ地区でもなかなか会う機会が少ないため、月に一回でも会合を開いてもいいのではないのでしょうか。
		● 年寄りばかりの家庭、空家が増えているので、どうにかならないかと思う。
		● 農業が主産業の地とはいえ、トラクターで歩道を走ったり、水田を耕したドロドロのトラクターで道路を汚すなど、目に余る労働者が多い。環境の美化に気を配るのも農業者の務めかと思っています。
70 歳以上	男性	● ①神崎市にも火葬場があったらと思う②脊振ダムが必要と思う
	女性	● 70 代でも働きたいという気持ちがあり、健康上も問題なく特技を生かしていく場があればと思います。
		● タクシーの高齢者割引など考えていただいたら、高齢者も活動できると思います。
		● 近所には下水道がなく、私の家の前で下水がたまり、蚊が大量発生しており、役場に駆除を頼みに行きましたが、個人でするよう言われました。浄化槽を取り付けたはいいですが、個人では金がかかりすぎて困っています。月に二回検査が行われ、さらには年に一度県から調査があるけれど、県が何の役にも立ちません。
	● 神埼図書館をいつも利用しています。職員の方の対応には感謝しています。図書館のスペースがもう少し広くなったらと思います。今の図書館は出入口も狭くて暗く感じます。別館にして「神崎市長立図書館」とはつきりわかるように希望します。	
不明	男性	● 神崎市内の各業界の青年部が互いに協力できるような活動の場を設けていただきたい。

■千代田町東部地区

年齢	性別	自由意見
30 歳代	男性	● 私の住んでいる場所もそうですが、車を用いないと生活必需品の購入が難しいのが気になります。車を用いてお店に行けるなら問題ありませんが、免許証を返納された方や、今後返納を予定される方、また、介護等でお店に行く時間を得難い方を対象に、移動販売などを充実させていくことで、より住みやすい、移住したくなるアピールになるのでは、と思います。
40 歳代	男性	● 市長や議員って必要ですか？
50 歳代	女性	● 私の住む千代田町東部地区は子どもの数が減っている。そのために、家族も家を建てることに不安があるようだ。公営住宅または住宅を建てる土地の確保ができないかと思っています。
		● 小城市のようなメディカルモール・超大型商業施設がほしい。コストコなど誘致できれば吉野ヶ里遺跡とセットで人が集まるかも。
60 歳代	男性	● 神崎市も年々人口が減少していると思いますが、企業の誘致をもっと積極的にしていただき、雇用を増やしてもらいたいです。高齢者が私の周りにも多くおられますが、身体が不自由になる前に、予防介護を充実出来たらいいと思います。
		● マスコットを変えてほしい！外部の方に、田舎くさい、恥ずかしいから早期にやめてほしい！麦わら屋根の帽子だけでも控除できないものか！？ 早期の実現を！！イメチェンも大事だ！！
	女性	● 若者の雇用の場を確保し、また、移住、定住を促すための若者専用住宅等の整備が必要である。
70 歳以上	男性	● 異常気象が多発するなか、各地区の狭いクレーク、道路の側溝の浄化整備を要望します。蚊の発生を防ぎ、伝染病防止にも効果があると考えます。また、市職員の資質向上を期待します(専門的知識、マナーの習得)
		● 定住の推進、空家対策、若者が住める街づくり
70 歳以上	男性	● 三養基地区が住宅を建てて人口増加に成功しているのを見習って、千代田地区も一考して実行し、地区人口を増やしてほしいです
		● 少子高齢化が進んでいることを痛感します。その要因は、若い人達の働く場所が少なく、家族の後継者たる子ども達がいらないことで、将来的には空家が増加するでしょう。神崎市にお願いすることは、これまで以上に地元で働ける環境づくりを進めるために、企業誘致などお願いしたい。とにかく、市からの人口流出を防止することが必要だと思います。

年齢	性別	自由意見
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 色々な町発展に力を注いでいただいて感謝いたしております。 ● 人口問題高齢者が多く若い世代が少ないので10年20年先の心配どうすればいいのかと思うばかりです

■千代田町中部地区

年齢	性別	自由意見
29 歳以下	男性	● 神崎市がまちづくりや市政についてどのような取り組みを行っているのか把握できていません。今回のアンケートをきっかけに、神崎市の HP など調べてみようと思いましたので、今後も市民が市の活動を知るための機会(意識調査や情報発信等)に力を入れてほしいと思いました。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● ①静かで自然豊かなので、子育てにはよいところだと思います。子育て世代に教えられる場があればいいと思います。共働き家庭のことも考慮して、土日がいいです。そういう講座があれば良いと思います。 ②農家が多いので、田畑で燃やしてあるのを見かけます。洗濯物を外に干せないという方も多いです(特に市外から来られた方)。 ● PR をしっかりすべき。人口減少が危惧されるので、定住・移住の取り組みも積極的に行うべきだと思います。住宅面でも雇用面でも何かインパクトのある施策が行われるといいなと思います。
		● とても住みやすい市です。これからも、もっと住みやすい市になるよう期待します！
30 歳代	男性	● ○○の町として、住民にメリットのある特化してほしい。
	女性	● プール付きの運動センターを作ってほしい。市が活性化するためには、住人が元気で健康であることが一番大事ではないかと思います。そのためにも、是非身体を動かせる場を作ってほしいです。
		● まだ綺麗な道路の不要な工事をするより、子ども達が安全に遊べるような公園などをまず整備してほしい
		● 千代田保育園と他の保・幼稚園のシステムの差！オムツの持ち帰りは不衛生！！お金を払うから白ご飯持参よりも、お米を炊いてほしい！働く保護者に優しくない！！先生の言葉遣いや態度が悪すぎて、実際預けたいと思わない。役場職員の態度が悪すぎるからでは？！
● 働く場所が無く、業種・職種などの選択肢がとても少ない。女性が就くことの多い事務職の平均給与が少なすぎるため、若年層女性が自活できません。女性が元気なら地域経済も一層活気づくと思います。若い人でも休日を神埼圏内で過ごしたくなるような、おしゃれな場所が増えるといいですね。		
40 歳代	男性	● 子育てにおいて、高校生までの医療費支援は、本当に助かっています。今後、安全で住みやすい市になるように多方面で努力してほしいと思うし、協力もしていきたいと思う。
		● 子育て世代にとっては医療補助などが充実していて、とても住みやすい所だと思う。工場の誘致もそれなりに進んでいて、発展している感じがある。もっと PR すると良いと思う。
50 歳代	男性	● 市の職員が多過ぎるのでは。千代田役場はがらんとしている。仕事の成果が見えない。公費の無駄では。
		● 神埼高校の移転に伴い、自転車通学者の増加などのため、国道34号等の交通渋滞がますます悪化すると思われます。国道 34 号は県内でも混雑が著しい地区に指定されているので、改善案の検討が必要だと思います。今後大型建設物件の計画が進むなか、建築専門職員がいないので、外部へ依頼されていますが、市においても、地域に精通した職員が必要と思われる
	女性	● 神埼町は閉鎖的である。人・物・車・情報が広く流通するように、東西南北の道路整備が必要。広く外からの人間を取り込みましょう。
60 歳代	男性	● 工業団地を作ってもらい、経済が豊かになるように産業にも力を入れてもらいたい。企業の誘致をお願いします。 お年寄りから子どもまでが集えるような施設がほしい。プール、図書館、温泉、トレーニングジムなど。
		● 今後、10、20 年後は市内のほとんどの集落が限界集落となる。少子高齢化の進行で活性化はない。子どもがいないということは、将来はない。高齢化対策と同時(40 年程度前より)に対策を講じているべきであったと思う。もう遅い。ジリ貧になるばかり
	女性	● 行政で行われている地区の行事に、参加を義務付けたらどうか。
		● 子ども達が安全に遊べる魅力のある公園をつくってほしい。千代田町民運動会の種目を誰でも気軽に参加できる簡単で面白みのあるもので考えてほしい。

年齢	性別	自由意見
		<ul style="list-style-type: none"> ● 地域巡回バスを、もっと利用しやすいかたちに工夫してほしい ● 老後も神崎市で暮らしたいが、子どもたちが地元にはいないため、どうなるかわからない。若い人が地元就職でき、交通の便が良ければなあと思う。
70歳以上	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在どこの地区でも空き家が目立ちます。解体するにも莫大な金がかかるし、その後は何倍もの固定資産税がかかるとのことで、そのままにしている人も多いと聞きます。解体時の補助金を増やし、その後の税金ももう少し抑えられないのでしょうか。 ● 今後ますます増加する高齢者の医療費を抑えるために、健康な老人を作るべく、運動施設がほしい。インストラクターがいればなおよい。また、元気な年寄りを子育て支援や学童の見守りに役立てれば、生きがいにいなるし、一石二鳥かと思う。 ● 最近の集中豪雨や自然災害のニュースを見て、果たして神崎市では防災救済の対策は充分なされているのかと不安に思います。社会の高齢化がますます進むなかで、いつまでも住み慣れた地で暮らしていけるように、病院・買い物・日々の暮らしの手助けなど、高齢者同士、近所の人々、行政の人々の目配り、気配りが大切だと思います。 ● ①神崎市の粗大ごみリサイクルセンターは三瀬にあり、あまりに遠くて利用したいができない。もっと近くに移動してほしい。 ②神崎市は農家の力が強く、田んぼを持たないサラリーマンあがりは肩身が狭い。

■千代田町西部地区

年齢	性別	自由意見
29歳以下	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● クリークの美化と書いてあるが、本当にしているのでしょうか。クリークの泥が多すぎる。外来生物も多い。ミシシippアカミガメやライギョを多く見かけ、前はウナギなどを取っている人を見かけていた。 ● 人口流出を防ぎ、神崎市への転入を促進するため、例えば、特色ある私立学校を誘致したり、神崎市に住むメリットを発信してはどうか。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援については他の市町村と比較して充実していないと思う。保育園数や延長保育については見直していただければ引越等考えずに済む。他市等は一回につき数百円で延長保育可能と聞いたり、地域的なサポートや健診の数も充実していると知り、住み続けるか悩みます。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもと散歩していると、よく知らない方が声を掛けてくれて、子育てするにはいい所だと感じました。社会復帰を支援してもらえると助かります。
		<ul style="list-style-type: none"> ● 他県から越してきて、この神崎市で初めての出産、子育てを経験しました。保健センターの方がとても親切で、ささいなことでも気軽に話せます。近くに知り合いのいない私にとっては、とても心強いです。また、ベビーベッドやベビーカーを無償貸与していただけたところもとてもありがたいです。気になった点としては、パーキングパーミットの利用が妊娠7ヶ月～というところ。初期の方がつわりがしんどかった自分としては、もう少し早い段階から利用できるとうれしいと感じました。現在気になっているところは、幼児の遊べる室内施設があればいいという点です。できれば無料で利用できるとうれしいです。親子ふれあい室は休日開いていなかったりするので…。無茶な要望ばかりで申し訳ありません。
30歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来、神崎市をリードしていく若者の雇用を創出していく場所を作ってほしいと思います。
	女性	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校の学童の利用時間を18時半までにしてほしい。共働きの家庭も増え、正社員では終業が17時半の職場も多いので、仕事帰りに18時まで迎えるのは大変厳しく、パートでしか働けないため、生活がきつい。少子化で人口も少なくなっているため、子どもを育て、生活出来る環境に力を入れてほしい。 ● 神埼小付近の道はとても狭く、通勤するとき、緊張して運転しています。ガス代も高くて驚きました。これから子育てもする予定なので、子育て支援の充実が希望です。 ● 昔から住んでいる家は地区行事があるが、新しく出来た住宅団地は関係ない。婦人会という名の集まりがあったり、人間関係が面倒くさい。せからしい。千代田町西部地区なので、神崎市内へ買い物に行くことがありません。駅までも佐賀駅の方が近いし、神埼駅は利用したことがありません。 ● 田舎なので男尊女卑の考えが未だに残っていて、不愉快。私は小学校教諭で、仕事をしながら子育てをしているが、理不尽さを感じる事が多くある。30-40代の人たちは同じように感じている人も多いのではないのでしょうか。女性も働くことは、当たり前前の時代。50代以上の方の女性だけが子育てをするという考え方を教育していく必要があると思う。こんなところに住

年齢	性別	自由意見
		みたくないけれど、子どもがいるから身動きが取れないだけ。とても大変です。
40 歳代	男性	● 今後、佐賀県や神埼市の人口は増加しないし、雇用の創出等も不可能だと思います。今できることは、今いる子ども達に自分のふるさとの良さ、家族の大切さを教育することだと思います。
	女性	● 住みやすい街になるよう、いろいろと考えてくださってありがとうございます ● 千代田に住む私の周りでは、女性はほとんど他の市町村に働きにいらしています。近くに働ける場所があれば、もっと子育てと仕事の両立もしやすいので、働く場がもっとあればよいです。ファミリーサポート(子育て支援)ももっと充実させてほしいし、障がい児教育にもっと力を入れてほしいです。
50 歳代	男性	● 産業がない雇用がないので他に仕事を求めて人々が出て行くため、昼は人がいない。仕事があるなら昼間でも人がいて、商業も賑わう。 ● 野焼きをやめてほしい。
	女性	● 一口に神崎市といっても、脊振、神埼、千代田で違うと思います。地域の特性を生かし、地域でできることから取り組んでいったらと思います。 ● 高齢者の足がない。病院、スーパーに行くのも不便 ● 店の閉まる時間が早い。道路がガタガタでラインも消えかかっている。蚊が多くて散歩も出来ないので駆除してほしい。車がないと不便極まりない。標識が少ない。急行バスがないので他県への大学へ通えなかった。結果若者の流出になっているのでは。
60 歳代	女性	● 空家を減らすこと 食料品の巡回移動車 健康寿命を延ばすためには？ ● 千代田西部在住であり、買い物では佐賀市内を利用することが多い。今後車の運転ができなくなると、買い物や病院通いもどうすればよいかと不安になる。 ● 老人同士がふれあえる、憩いの場(弁当を持ち寄れるなど)、趣味の場、ボランティアの場、日帰り旅行の場がほしい。独りぼっちが当たり前とならぬよう、各自で前向きな行動をとり、役に立つことがあれば、役に立ちたいですね。
	男性	● 若年層が地域における公共の場へ積極的に参加せず、市の指針に無関心な現状では、何を計画しても無意味に終わると思います。
70 歳以上	女性	● 議員がいない地区も分け隔てないでください。

■脊振町

年齢	性別	自由意見
29 歳以下	女性	● 交通の不便で買い物も 20 分以上かかる。雪の日は山に閉じ込められた感じで通勤に困るので、移住したくなる。災害や雪対策に力を入れてほしい。
30 歳代	男性	● 住民の高齢化と過疎化が進み、残る住民が苦しまないよう、市外からの定住の推進をしてほしいです。そのために、産業の振興、環境の整備等が急務と思います。市長以下職員の方々に期待しています。ぜひ、頑張ってください。
	女性	● 子育てサークルがもっと近くにあれば参加したいです。室内での遊び場の充実をお願いします。
40 歳代	女性	● 通勤・買い物ともに不便なところに住んでいますが、無い物ねだりばかりしても自分に言い聞かせる日々です。
	不明	● 人口増加が課題だと思う。策がなければ、吉野ヶ里町との合併を進めた方が良いと思う。
50 歳代	女性	● ①高齢者や買物ができないひとたちの足が不足しているので、もっと利用しやすい、交通機関の充実を考えてほしい ②避難放送は高齢者には聞き取りにくく、各家庭に放送設備を設置してほしい ● 神崎市・千代田町・脊振町が連携して、できる産業を多くして、市民が市内で働き、生活出来るようにしてほしい
	男性	● 若者の定住、他市町からの転入等で人口増加。道路の整備、特に中山間地の市道。
60 歳代	不明	● ①脊振町らしさは感じるが、他の地区はわからない ②地区伝統を守るのはいいが、区長らの縛りがきつすぎて、自由な活動が行えない。 ● 脊振町は人口減少で買い物をする店もなく、将来車に乗れなくなったり、夫婦のどちらかが病気になったりすると、どうすればよいかわからず不安でいっぱいです。何をしても車がないとできず、近くにタクシーもなく、バスは一日何本かしかこないの、いつも不安を抱えています。
	70 歳以上	男性

年齢	性別	自由意見
上	女性	● 山間部に住んでいるため、いろんな面で、不自由している。なんとか過疎化対策をしてもらいたい。
	不明	● 地域の歴史、文化をもっと子ども達にも教育すべき。
不明	不明	● 人口を増やす(→産業の強化・移入)→子育て世代の移住促進→教育の強化、特色のある教育等、移住のメリットを増やす

■不明

年齢	性別	自由意見
不明	不明	● 教育のことは教職者・PTAに任せ、外野は口をつぐむべきだ。
不明	不明	● 年齢を重ねて車を運転出来なくなると、どこで行動するにも不便

3. アンケート調査票



市民まちづくりアンケート ご協力をお願い



市民の皆様には、日頃から市政に対しご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、神崎市では平成 20 年 3 月に「神崎市総合計画」を策定し、まちづくりに取り組んでまいりました。

このたび、来年度からの 10 年間の方向性を示す第 2 次神崎市総合計画の策定に取り組んでおり、今回のアンケート調査は、今後のまちづくりを検討するうえでの貴重な資料とさせていただくことを目的に実施するものです。

市民の皆様一人ひとりが神崎市の主役であり、皆様のご意見がこれからの神崎市のまちづくりを進めていく力となります。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の目的をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせください。

なお、アンケートの集計結果は市報かんざき及び神崎市ホームページで公表します。

平成 29 年 8 月

神崎市長 松本 茂幸

【アンケート回答に際してのお願い】

1. 宛名のご本人がお答えください（回答目安時間は 10 分です）。
2. お答えは、設問ごとに（1つに○）、（2つまで○）などそれぞれ指定されていますので、お間違えのないようお気を付けてください。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）
3. ご記入いただいた調査票は **8 月 14 日（月）** までに同封の返信用封筒に入れて返送・または本庁企画課、各支所総合窓口課へご提出ください。
（切手は不要です。）
4. ご記入は、ボールペン、鉛筆、シャープペンシル又は万年筆でお願いします。
5. この調査票についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

神崎市役所 企画課（担当：鶴・篠木）

電話 0952-37-0102（直通）

※本調査は、18 歳以上の市内居住者の中から、無作為に抽出した方に無記名で記入をお願いするものです。調査の結果は統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することとはなく、ご迷惑をおかけすることは絶対にありません。

I. あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなた自身のことについてお答えください。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

(1) 年齢	1. 29歳以下	2. 30歳代	3. 40歳代
	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳以上
(2) 性別	1. 男性		2. 女性
(3) お住まいの地域	1. 神埼町 神埼地区		2. 神埼町 西郷地区
	3. 神埼町 仁比山地区		4. 千代田町 東部地区
	5. 千代田町 中部地区		6. 千代田町 西部地区
	7. 脊振町		8. わからない場合は町名と地区名を記入 (_____ 町 _____)
(4) 神崎市でのお住まい状況	1. 生まれた時からずっと住んでいる		
	2. 神崎市(旧町村)で生まれ、一度転出したが戻ってきた		
	3. 神崎市(旧町村)外で生まれ、他の市町村から転入してきた		
(5) 神崎市での居住年数	1. 3年未満		2. 3年以上5年未満
	3. 5年以上10年未満		4. 10年以上20年未満
	5. 20年以上30年未満		6. 30年以上

問2 あなたは、神崎市が住みやすいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3 あなたは、神崎市にどの程度愛着を感じていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 非常に愛着を感じている | 2. 愛着を感じている |
| 3. あまり愛着を感じていない | 4. 全く愛着を感じていない |



問4 これからも、神崎市に住みたいと思いますか。それとも市外に移りたいと思いますか。(1つに○) 回答番号に応じて、矢印の質問にお答えください。

1. ずっと住んでいたい	3. できれば移りたい
2. なるべく住んでいたい	4. 早く移りたい



1、2と回答した方



3、4と回答した方

その理由を3つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。				その理由を3つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。			
1. 市内に働く場所があるから 2. 通勤、通学に便利だから 3. 子育て、教育の環境が整っているから 4. 保健、医療体制が充実しているから 5. 高齢者や障がい者への支援が充実しているから 6. 食料や日用品の買い物に便利だから 7. 公共施設や公共サービス・生活環境の整備が充実しているから 8. 文化・スポーツ・レジャーなど、余暇を楽しむ環境が整っているから 9. 神崎市に愛着があるから 10. 近くに親族（親や子など）がいるから 11. 地域の人たちとの人間関係を大切にしたいから 12. 自然環境がよいから 13. まちのイメージがよいから 14. 治安がよいから 15. 住宅事情がよいから 16. その他（ ）				1. 市内に働く場所がないから 2. 通勤、通学に不便だから 3. 子育て、教育の環境が整っていないから 4. 保健、医療体制が充実していないから 5. 高齢者や障がい者への支援が充実していないから 6. 食料や日用品の買い物に不便だから 7. 公共施設や公共サービス・生活環境の整備が不十分だから 8. 文化・スポーツ・レジャーなど、余暇を楽しむ環境が整っていないから 9. 神崎市に愛着がないから 10. 別の地域にいる親族（親や子など）と一緒に暮らしたいから 11. 地域の人たちとの人間関係がわずらわしいから 12. 自然環境がわるいから 13. まちのイメージがわるいから 14. 治安がわるいから 15. 住宅事情がわるいから 16. その他（ ）			
回答欄	1	2	3	回答欄	1	2	3



Ⅱ. 総合計画についておたずねします。

問5 過去10年間、神崎市総合計画では、まちづくりの基本理念として、市民のさまざまな生活シーンをもとに以下の3つを設定してきました。

【まちづくりの基本理念】

- (1) 住まう ～悠久の土地で、市民が健やかに安心して暮らし続ける～
- (2) 働く ～多様な産業基盤を築き、豊かな夢資源を活かす～
- (3) 行き交う ～次代を担う人材と地域文化を育て、市民がまちづくりの主役となる～

この10年間で、上記の実現に向けた取組みが進んでいると感じますか。

((1)～(3)の項目ごとに1つに○)

まちづくりの基本理念	かなり進んだと感じる	やや進んだと感じる	どちらともいえない・わからない	あまり進んだと感じない	まったく進んだと感じない
(1) 住まう	1	2	3	4	5
(2) 働く	1	2	3	4	5
(3) 行き交う	1	2	3	4	5

問6 あなたが神崎市で暮らすなかで、以下の施策について現在の満足度と今後の重要度について、あなたのお考えに近いものを選んでください。

((1)～(25)の満足度と重要度それぞれ1つに○)

項目 (施策)	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	重要度は低い	重要でない
●健やかに安心して暮らせるまちづくり										
(1) 高齢者・障がい者等福祉の充実 (福祉サービスの質向上、社会参加支援)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 子育て支援、児童福祉の充実 (保育サービス拡充、母子保健対策推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 保健・医療体制の充実 (健康教室・相談の充実、関係機関連携)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 地域福祉の推進 (地域福祉活動支援、生活困窮世帯支援)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 食育の推進 (食文化継承の取組み、地産地消の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目（施策）	現在の満足度					今後の重要度				
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	重要	やや重要	普通	重要度は低い	重要でない
●力強く活気あるまちづくり										
(6) 地場産業、新産業の育成 (地場商品のブランド育成、企業・産業誘致)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 賑わいある商工業の創出 (中心市街地活性化、新事業支援制度)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 活気ある農林水産業の振興 (担い手の育成、生産規模拡大・効率化)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 魅力ある観光の振興 (観光情報PR、周遊ルートの仕掛けづくり)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
●環境にやさしく住みやすいまちづくり										
(10) 環境共生型社会の構築 (環境学習機会の充実、事業者の取組み支援)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 豊かな自然環境の保全と活用 (クリークの美化、森林の多面的活用)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) まちなみと住環境の整備 (公営住宅整備、景観資源の保全・活用)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 道路・交通網の整備・充実 (主要幹線道路整備、地域公共交通確保)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 上・下水道の整備 (地域性に応じた処理方式整備、節水意識普及)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 消防・防災・交通安全体制の充実 (災害に強いまちづくり、治山治水対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 高度情報通信基盤の整備 (技術導入による市民生活と行政運営の改善)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 定住を促進する環境の整備 (住宅整備、情報発信、雇用の創出)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 消費生活環境の充実 (消費者トラブル救済、消費者教育推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
●創造性豊かで輝く人の育つまちづくり										
(19) 幼児教育、学校教育の充実 (教育内容の充実、相談事業の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) 生涯学習、スポーツ活動の充実・振興 (講座・教室の充実、スポーツ活動機会の提供)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) 歴史、文化の保存・継承 (文化財保存、市民学芸員との協働など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 地域交流、国際交流の推進 (地域行事への参加促進、異文化交流)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
●みんなで協働して進めるまちづくり										
(23) 行財政運営の効率化の推進 (市民ニーズへの対応、適正な職員人事)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 男女共同参画社会の推進 (各種審議会での女性委員登用、学校教育推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 協働と市民活動の推進 (市民活動の支援、積極的な情報公開)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

Ⅲ. 神埼市のまちづくりについておたずねします。

問7 神埼市が今後 10 年間のまちづくりで、特に力を入れるべきことはどれだと思いませんか。(2つまで○)

1. 自然と人が共生する「環境のまち」
2. 子どもの夢や生涯学習を応援する「教育のまち」
3. 子育てや高齢者・障がい者を支援する「福祉のまち」
4. 農林水産業の担い手や新しい産業が育つ「産業振興のまち」
5. 美しいまちなみ、快適な住環境の「住みやすいまち」
6. 市外からの来訪者を受け入れ、触れあいや交流が生まれる「観光・交流のまち」
7. 買い物客でにぎわう「商業のまち」
8. 伝統文化や芸術を大事にする「歴史と文化のまち」
9. 防災・防犯に力をいれる「安全・安心なまち」
10. 地域が主体となり活性化に取り組む「地域活躍のまち」
11. 近隣地域(地区)がともに支え合う「地域連携共助のまち」
12. 移住・定住を促進する「住みたいまち」
13. その他()

問8 あなたが神埼市らしさを感じるのはどのようなところですか。(2つまで○)

1. 九年庵、吉野ヶ里歴史公園や長崎街道といった歴史・文化遺産
2. 城原川や脊振山などの豊かな自然
3. クリークや田園が広がるのどかな風景
4. 神埼そうめんや菱、いちご、アスパラガスなどの特産品
5. 城原川ハンギーマつり、長崎街道かんざき宿場まつり、脊振わんぱくまつりなどの地域イベント
6. 地域住民のつながりや活発な市民活動など、あたたかく元気な人々
7. 近隣の商業圏や空港、高速インターチェンジが近いといった生活利便性の高さ
8. その他()

IV. 市民協働のまちづくりについておたずねします。

【協働のまちづくりとは？】

地域課題の解決など共通の目的を達成するために、市民相互、市民と行政または企業が、お互いのできることを活かしつつ、対等な立場で連携・協力し、活動するまちづくりのことです。

問 9 市内や地区、グループなどで行われている市民活動は、これからのまちづくりを進める上で大きな原動力となるものです。あなたは、市民活動にどの程度参加していますか。（1つに○）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 全体的に積極的に参加している | 2. 内容によって積極的に参加している |
| 3. 頼まれたら参加している | 4. ほとんど参加していない |
| 5. 全く参加していない | |

問 10 今後あなたが市民協働を考えるうえで、まちづくりに参加するには、こういったことが必要ですか。（2つまで○）

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 同じテーマに関心を持ち、ともに活動する仲間がほしい | |
| 2. 仕事をしていても参加できる曜日、時間帯での機会がほしい | |
| 3. 参加する時間をつくるために家族の協力がほしい | |
| 4. どのような活動が行われているか情報提供がほしい | |
| 5. 各種テーマについて勉強できる集まりがほしい | |
| 6. 専門家に活動をリードしてもらいたい | |
| 7. その他（ | ） |
| 8. まちづくりに参加したいと思わない（理由： | ） |

問 11 今後、市民と行政が協働で取組むことが必要、あるいは取組めば有効であると考えられるのはどの分野だと思いますか。（2つまで○）

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1. 福祉に関する分野（高齢者・障がい者福祉、介護など） | |
| 2. 健康づくりに関する分野（保健、医療、健康予防など） | |
| 3. 社会教育に関する分野（生涯学習、男女共同参画、人権擁護など） | |
| 4. 子育てに関する分野（子育て支援、児童福祉など） | |
| 5. 歴史や文化に関する分野（祭り、芸術、スポーツ振興など） | |
| 6. 環境保全に関する分野（環境美化、河川浄化、リサイクルなど） | |
| 7. 地域の安全や安心に関する分野（防災、防犯、交通安全など） | |
| 8. 地域経済の活性化に関する分野（観光、産業振興など） | |
| 9. その他（ | ） |

問12 協働のまちづくりを進めていくために、どのような単位で活動することが望ましいと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 行政区(自治会)単位
2. 小学校区単位
3. 分野ごとの活動組織単位(NPO法人、市民活動組織、ボランティア団体など)
4. わからない
5. その他()

最後に、神埼市のまちづくりや市政についてのご意見がありましたら、率直なお考え、ご要望をお聞かせください。(市の特色、期待すること、女性の社会進出や雇用関係、子育て支援、人口問題、地域(地区)同士の共助など自由にご記入ください。)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストにご投函・
または本庁企画課、各支所総合窓口課へご提出ください。



分野ごとの評価理由のまとめ

まとめ	よいところ	気になるところ
健やかに安心して暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●医療関係の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が充実している。 ・高校生まで医療費が充実している。 ●子育て支援、児童福祉の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援については充実している。 ・学童の整備が充実している。 ●暮らしやすい <ul style="list-style-type: none"> ・人が良い。暮らしやすい。 ・生活していて不便はない。 ●高齢者・障がい者施設の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・介護施設の充実。 ・高齢者施設の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ●山間部は限界 <ul style="list-style-type: none"> ・山間部には限界がある。 ●夜間医療が不十分 ●高齢者・障がい者等福祉が不十分 <ul style="list-style-type: none"> ・児童館、障がい者作業施設、施設バリアフリー。 ・高齢者・障がい者に対して優しさが足りない。 ●子育て支援が不十分 <ul style="list-style-type: none"> ・教育関係にかかる出費。 ・義務教育に係る費用の無償化。 ●場所がない <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流をする場がない。 ・子どもを気軽に遊ばせる場所がない。
力強く活気あるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●地場商品のブランド育成 <ul style="list-style-type: none"> ・菱作りが新たな商品(地場産品)になった。 ・神埼そうめんを全国区にPRすべき。 ●工業団地 <ul style="list-style-type: none"> ・南部工業団地ができた。 ●魅力ある観光・祭り等の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・城原は蜚の名所、宿場まつり、櫛田の市。 ・各地で祭りが開催されている。 ●商工業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の進出の期待。 ・雇用の場の創出。 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光 <ul style="list-style-type: none"> ・観光ルートが整備されていない。 ・宿泊施設がない。 ●地域商工業 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街に昔の賑わいが無い。 ・地域商工業の後継者不足。 ●情報発信不足 <ul style="list-style-type: none"> ・外に対する発信力が弱い。 ・取組みが市民は実感できていない。 ●イベント <ul style="list-style-type: none"> ・一体感のあるイベントがない。 ●活気がない ●地場産業、新産業の育成
環境にやさしく住みやすいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●道路・交通網の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・福岡へのアクセスが良い。 ・道路・交通網は優れている。 ●豊かな自然環境 <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が良い ・四季の景観。 ●補助金制度 <ul style="list-style-type: none"> ・定住促進。 	<ul style="list-style-type: none"> ●定住を促進する環境が不十分 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用。発信不足。 ●道路・交通網の整備が不十分 <ul style="list-style-type: none"> ・縦軸の道路に課題。 ・道路整備。 ●河川整備 <ul style="list-style-type: none"> ・河川整備があまり進まない。 ・水害被害。避難路が確保されていない。 ●少子化が進んでいる <ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進み、学校生徒が少なくなっている。 ●交通弱者対策 <ul style="list-style-type: none"> ・巡回バスの時間・本数が充実していない。 ●情報発信不足 <ul style="list-style-type: none"> ・良い環境をもっとアピールすべき。
創造性豊かで輝く人の育つまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●教育環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・教育施設は充実している。 ・小・中一貫教育。 ●歴史・文化財 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史が深い。 ・文化財保存もよくやられている。 ●国際交流 <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流は、西九大の応援がある。 ・小学校で韓国との交流。 	<ul style="list-style-type: none"> ●後継者不足 <ul style="list-style-type: none"> ・少子化で伝統継承が難しくなるのでは。 ・市民(若い世代)は伝統継承に関心がない。 ●図書館が不十分 <ul style="list-style-type: none"> ・市の図書館をもっと充実させる必要がある。 ●地域交流が不十分 <ul style="list-style-type: none"> ・地域間の交流が乏しい。 ●情報発信不足 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統の情報発信不足。
みんなで協働して進めるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●一体感がある <ul style="list-style-type: none"> ・地区の問題は地区で解決しようという意識がある。 ●夜の市長室 <ul style="list-style-type: none"> ・夜の市長室は良い。 ●消防団の充実 ●協力者の充実 ●行財政運営 <ul style="list-style-type: none"> ・県内では良くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●協働と市民活動が不十分 <ul style="list-style-type: none"> ・町づくりに取り組むクラブやサークルがない。 ・関心度が低い。 ・地域のつながりが薄れている。 ・市民に当事者意識が低い。 ●男女共同参画が不十分 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画が地域に浸透していない。 ●情報発信不足 <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動の情報が届いていない。

第2次神崎市総合計画策定に向けた

市民ワークショップニュース

1号

神崎市の10年間の通信簿をつけました!

プログラム

1. 開会・あいさつ
2. 情報提供(市の現状等について)
3. 作業1(グループ分け、参加者紹介)
4. 作業2(神崎市の通信簿づくり)
5. 各グループの発表
6. まとめ
7. 閉会



ワークショップの構成

第1回

平成 29 年 9 月 30 日(土)
平成 29 年 10 月 1 日(日)
テーマ
「神崎市の通信簿」

第2回

平成 29 年 10 月 14 日(土)
テーマ
「神崎市の戦略」

第3回

平成 29 年 10 月 29 日(日)
テーマ
「神崎市の重点事業」

本市は、平成 20 年 3 月に「神崎市総合計画」を策定しました。

この総合計画の策定から 10 年が経過し、その計画期間が終了することから、これまでの計画の成果を検証するとともに、各種調査を踏まえ、新たな「第2次神崎市総合計画」を策定しています。計画の策定にあたり、市民の皆さんのニーズやご意見をお聞きし、計画に反映させるために、市民ワークショップを開催しました。

第1回目となる今回は、「神崎市の通信簿」と題してこれまで市で取り組んできた施策や取組を通信簿形式で評価していただきました。会の本来の目的は、単に数字で評価してもらうだけでなく、評価の裏に見える理由を皆さんで議論していただくことでした。当日は、皆さんの市に対する熱い思いをお伺いできました!

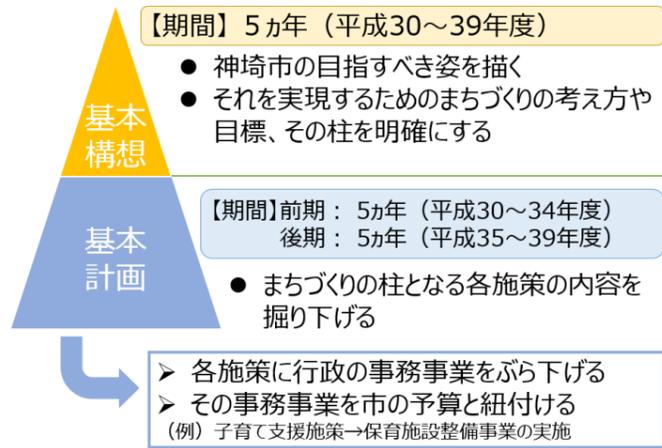
今後は、今回の結果をもとに、より具体的な市の将来像を議論していきたいと考えています。

神埼市の現状・市民まちづくりアンケート結果の共有

神埼市の現状を踏まえ、市民アンケート結果の抜粋を共有。少子高齢化が進んでいる今、「まちの活気づくり」「住みやすい環境づくり」が課題、という回答が多く集まりました。

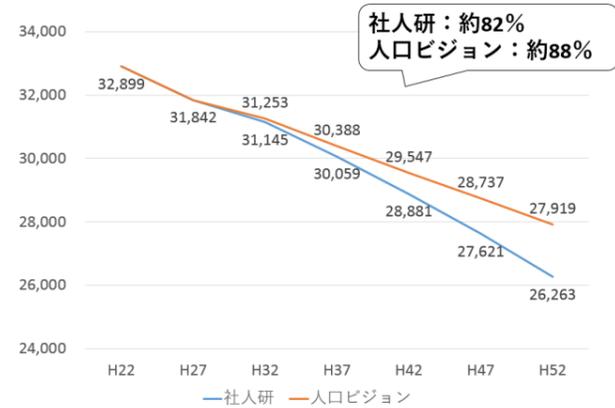
■第2次神埼市総合計画の構成

第2次神埼市総合計画の構成



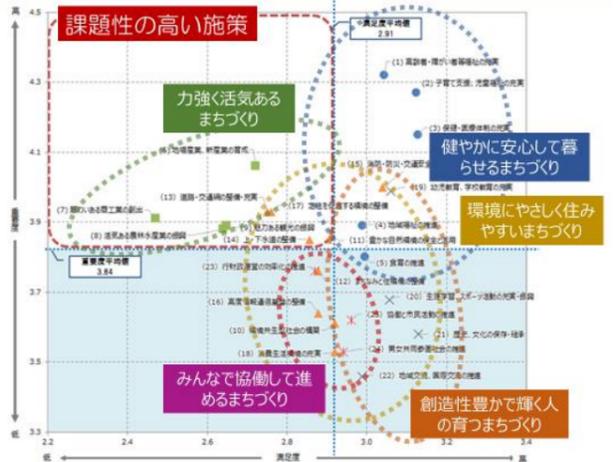
■将来の神埼市の人口予測

将来の神埼市の人口予測



■市民アンケート調査の結果（重要度・満足度）

市民まちづくりアンケート調査の結果（重要度・満足度）



■課題性の高い施策

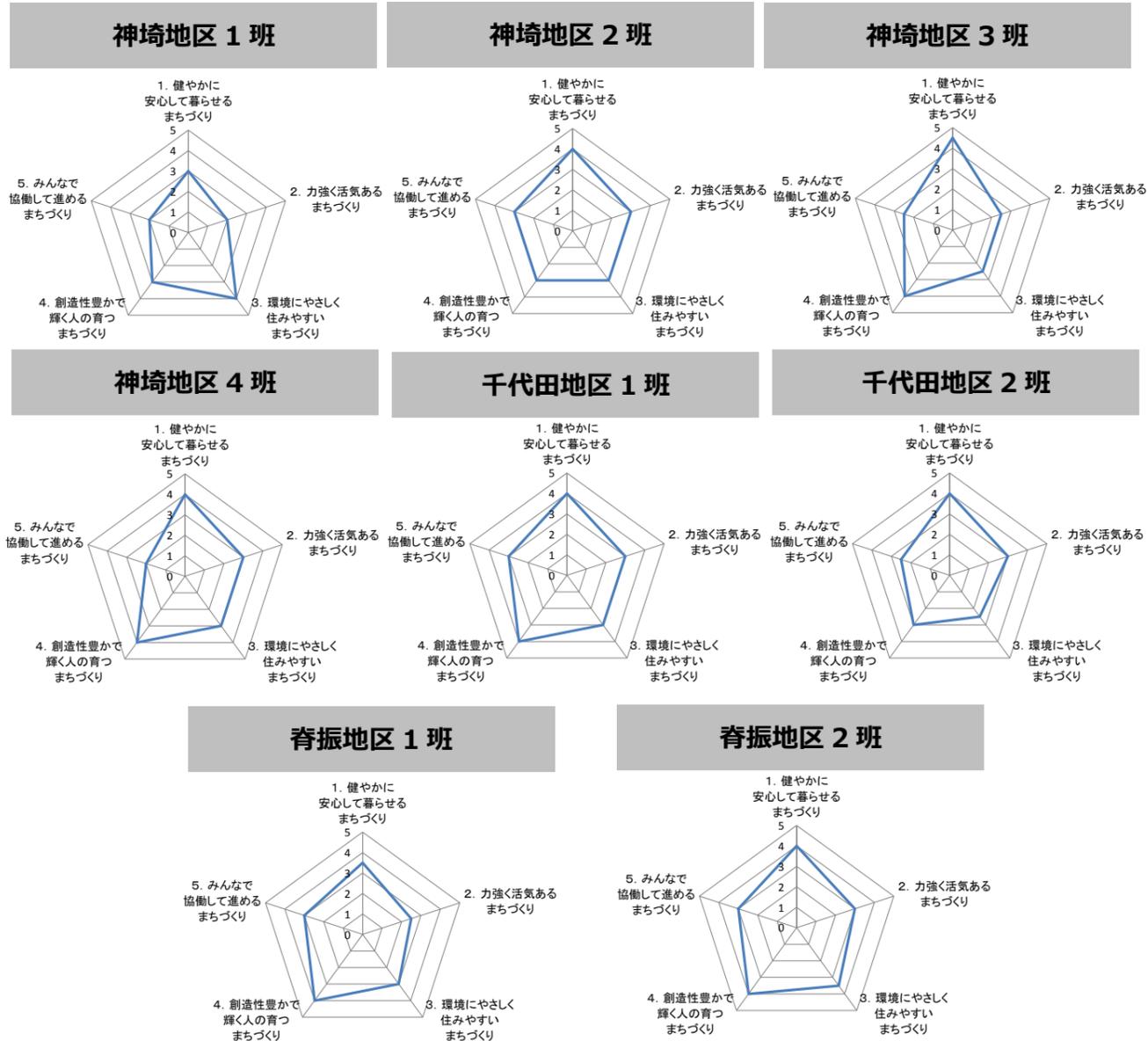
課題性の高い施策

- 地場産業、新産業の育成
- 賑わいある商工業の創出
- 活気ある農林水産業の振興
- 魅力ある観光の振興

- 道路・交通網の整備・充実
- 上・下水道の整備
- 定住を促進する環境の整備

各班の通信簿(レーダーチャート)のまとめ

分野評価は地区内で異なる結果も多いですが、「伸ばしていくところ」は『健やかに安心して暮らせるまちづくり』、「改善していくところ」は『みんなで協働して進めるまちづくり』が最も重要であるという傾向が市全体で見られました。



ワークショップの様子



班ごとの評価点数です。全体の傾向・地区ごとの傾向が見られますね。

□ は伸ばしていくところ
□ は改善していくところ
として各班で評価された分野です。

地区	神埼地区				千代田地区		脊振地区	
	1	2	3	4	1	2	1	2
1. 健やかに安心して暮らせるまちづくり	3	4	4.5	4	4	4	3.5	4
2. 力強く活気あるまちづくり	2	3	2.5	3	3	3	2.5	3
3. 環境にやさしく住みやすいまちづくり	4	3	2.5	3	3	2.5	3	3.5
4. 創造性豊かで輝く人の育つまちづくり	3	3	4	4	4	3	4	4
5. みんなで協働して進めるまちづくり	2	3	2.5	2	3	2.5	3	3



2号

第2次神崎市総合計画策定に向けた

市民ワークショップニュース

神崎市の戦略案と将来像案を話し合いました!

プログラム

1. 開会・あいさつ
2. 前回のふりかえり
3. 作業1 (神崎市のこれからの取組みを考えよう)
4. 作業2 (神崎市の将来像を考えよう)
5. 各グループの発表
6. まとめ
7. 閉会



ワークショップの構成

第1回

平成 29 年 9 月 30 日 (土)
平成 29 年 10 月 1 日 (日)
テーマ
「神崎市の通信簿」

第2回

平成 29 年 10 月 14 日 (土)
テーマ
「神崎市の戦略」

第3回

平成 29 年 10 月 29 日 (日)
テーマ
「神崎市の重点事業」

第2回目となった今回は、「神崎市の戦略」と題し、第1回目で作成した「神崎市の通信簿」を振り返りつつ、神崎市が今後 10 年で行うべき取組みについて意見交換を行いました。

20 代の若い方から子育て中世代の方、数十年間を神崎市で過ごしてきた 70 代の方まで、様々な世代・背景を持つ方と同じテーブルを囲むことで、1つの取組みに対して色々なニーズを結び付けて考えられたと思います。

その後、神崎市の将来像をキャッチフレーズとして班ごとに考えていきました。1つ1つの取組みと全体的なイメージ(将来像)をすり合わせていくことで、「神崎市をこんなまちにしたい!」という皆さんの思いが、より具体的になっていったと思います。

次回は市民ワークショップ最終回。これまでの積み重ねをもとに、神崎市が特に力を入れていくべき重点事業について話し合いを行っていきます。

戦略まとめ「神崎市がより良いまちになるために」～優先的に取り組むべきことを抜粋～

班	目的	内容
1 班	住みよいまちづくり	●食料品や日用品販売をしてくれる巡回販売車
	幸せまちづくり “神ってる”	●行政⇄市民 GAP あるものを生かす ●市民が市のことをもっと知る機会を増やす ●歴史・文化の伝承（子どもなどへ伝える） ●観光ルートづくり
	賑わいまちづくり	●中心市街地拠点、市民協働利活用（まちなか賑わいづくり） ●駅周辺の活性化 ●産業育成（地産品の活用、いのしし、竹） ●学園都市づくり（西九大、清明、留学生） ●人が集まって語り合ったり、仲良くなれる居場所づくり
2 班	まちづくり	●自然を生かした町づくり
	健康にやさしい	●プール・運動施設
	つながる魅力的	●情報発信 ●地域からの情報発信の仕組みづくり（SNS など） ●男女共同参画の意味で婦人会に変わる地域の女子会の必要性
	古いものをいかした	●空き家対策 ●古民家再利用
3 班	活気あるまちにするために	●神崎市農産物等のブランド化 ●神埼ブランド品の提供の場の設置 ●神崎市の情報発信力強化 ●企業誘致強化 ●全てに規模縮小の時代に入るので、コンパクトな街づくりを目指す（ここに参加することで人も金も廻ると信じる） ●働く場の創設 ●観光資源の整備・連携 ●定住への取り組み
	これからの人づくりのために	●市民の意識改革
4 班	人が活性化するまち	●地域協働（助け合い）子ども預かり ●住民のコミュニティづくり ●自治公民館活動の充実
	イキイキ居場所づくりをするまち	●憩いの場所がほしい ●児童～高齢者へ公園を利用して交流づくり ●子ども～大人までが身体を動かせるような運動施設（公園） ●高齢者が多くなるのでシニアの健康居場所作り
	情報発信と文化向上	●情報発信の場として図書館の充実（赤ちゃんから高齢者まで来れる） ●町の情報が市民全体で共有できるように ●文化面の充実（図書館）

将来像案一覧「私たちの目指す神崎市」

1 班	みんなで幸せまちづくり かんざき
2 班	神やどる自然と歴史 人と人がつながる やさしいまち神埼
3 班	住んでみたい幸せあふれるまち 人と人とがつながるまち神埼
4 班	イキイキワクワク みんなで創る みんなが主役のまち —愛があふれだす神埼—

第2次神崎市総合計画策定に向けた

市民ワークショップニュース

3号

神崎市の戦略案と将来像案を話し合いました！

プログラム

1. 開会・あいさつ
2. 前回のふりかえり
3. 神崎市の重点プロジェクトを考えよう
4. 各グループの発表
5. 私のチャレンジ宣言
6. まとめ
7. 閉会



ワークショップの構成

第1回

平成 29 年 9 月 30 日 (土)
平成 29 年 10 月 1 日 (日)
テーマ
「神崎市の通信簿」

第2回

平成 29 年 10 月 14 日 (土)
テーマ
「神崎市の戦略」

第3回

平成 29 年 10 月 29 日 (日)
テーマ
「神崎市の重点事業」

今回は第2次神崎市総合計画策定に向けた、市民ワークショップ最終回でした。第2回目で挙げた「神崎市の戦略」を分野ごとに分け、今後5年間で取組む「神崎市の重点事業」について意見交換を行いました。

重点事業の取組み方について、「すぐやること(1~2年目)」「次にやること(3~4年目)」「時間をかけてやること(5年目)」と、段階的にどのように進めていけばよいか考える中で、プロジェクトを『自分ごと』として捉えることができたのではないかと思います。

ワークショップの最後は、これからのまちづくりへの関わり方を意思表示する、「私のチャレンジ宣言」を全員で行って締めくくりました。

全3回のワークショップが、皆さまの暮らしをより良くするきっかけになれば幸いです。ご参加いただきありがとうございました！

神埼市の重点事業 各班まとめ&「私のチャレンジ宣言」

1班まとめ

プロジェクト名称	地域間・住民同士の交流、助け合い・居場所づくり	
■何をする（具体的な取組み）		
	具体的に何をやるか	何を目標にするか
すぐやること 1、2年目	<ul style="list-style-type: none">・情報が得られる場所づくり・情報誌づくり・インターネットでの情報発信・友達づくり・知り合いづくり	<ul style="list-style-type: none">・必要性を分かってもらう・断る人を減らす
次にやること 3、4年目	<ul style="list-style-type: none">・サークルづくり・図書館での居場所づくり・人と出会える場所づくり	<ul style="list-style-type: none">・一言も喋らない人を減らす
時間をかけてやること 5年目	<ul style="list-style-type: none">・近所間での仮想三世帯・人と交わることの大切さを教育	<ul style="list-style-type: none">・生きがいの明確化
■誰がする（役割分担）		
住民がすること	<ul style="list-style-type: none">・参加する・施設の活用方法を考える	
行政がすること	<ul style="list-style-type: none">・イベントの開催・組織づくり・リーダーづくり・施設整備・環境づくり	
その他関係する仲間	—	

私のチャレンジ宣言

- ◇ 私は野球が好きなので、野球のサークルづくりにかかわり、生きがいづくりをしたいです
- ◇ 何事にも関心を持ち積極的に参加する
- ◇ 参加する
- ◇ 知り合い・お友達づくり

2班まとめ

プロジェクト名称	公園、運動施設等の健康、憩いの場づくり	
■何をする（具体的な取組み）		
	具体的に何をやるか	何を目標にするか
すぐ やること 1、2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある施設の利用頻度、満足度調査 ・今ある公園の把握 ・情報発信し、今ある施設を利活用してもらう ・先生を介護施設から月1来てもらったり、プールの回数券を渡したりする ・NPO法人等活動団体の把握をし、実施主体を統一する ・神崎市マップにおとして、どこで何があるのか情報発信する。市報等に載せることも ・地区公民館等で簡単な運動等をするのに、地区に講師の方が回って来て貰って参加しやすくする 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状把握
次に やること 3、4年目	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の整備 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 城原川沿い、駅北 ➢ 街灯、休憩所 ➢ 運動設備 ・市の市役所の施設で使えるところを利用する ・今ある施設の整備 ・現在実施してある運動サークル等の情報発信（種類、場所、時間） ・健康ポイントで利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の整備 ・情報発信
時間を かけて やること 5年目	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな複合施設の建設 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 運動、セミナー、健康管理、風呂 ➢ バスも出せたらいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の建設 ・健康づくり ・体力づくり ・市民交流
■誰がする（役割分担）		
住民が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・運動する ・市報の購読 	
行政が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の建設 ・情報発信 ・現状施設調査、アンケート調査 	
その他 関係する 仲間	<ul style="list-style-type: none"> ・西九州大学とのコラボ 	

私のチャレンジ宣言

- ◇ 運動する（健康づくり）
- ◇ 運動を通して仲間（グループ）作り
- ◇ 連携して…。協力して…。参加して…
- ◇ 情報発信・運動の実践
- ◇ 運動する
- ◇ 運動（健康づくり）を通じた知り合いづくり

3班まとめ

プロジェクト名称	神埼の魅力PR、市外への情報発信	
■何をやる（具体的な取組み）		
	具体的に何をやるか	何を目標にするか
すぐ やること 1、2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS 等を利用した情報発信 ・ PR 時は目玉になるような表示をする ・ 神埼市のホームページを見たいと思ってもらえるように改善 ・ 九年庵でPR（人が集まる場所でPRする） ・ マスコミを活用 ・ TV で情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神埼市を知ってもらう
次に やること 3、4年目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行会社を利用する（→全国にPRが可能） ・ 魅力・歴史等を説明してくれる人が必要 ・ 人が立ち寄れるように駐車場をつくる ・ 同窓会・県人会等でパンフレット配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神埼市に来たいと思っ てもらう
時間を かけて やること 5年目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各項目のスペシャリストを設け、県外に出向いて魅力をPR ・ 神埼市の歴史についての物語、ドラマ放送などがされれば… 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神埼市に住みたいと思 ってもらう
■誰がやる（役割分担）		
住民が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS で発信 ・ 同窓会等の活用 	
行政が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神埼市のホームページ 	
その他 関係する 仲間	<ul style="list-style-type: none"> ・ マスコミ、旅行会社の活用 ・ 観光パンフレット作成 	

私のチャレンジ宣言

- ◇ 歴史の勉強会に参加する
- ◇ 神埼市をPRするパンフの作成（歴史の視点）
- ◇ SNSで積極的に発信する
- ◇ SNS・同窓会等で神埼市の情報発信



4班まとめ

プロジェクト名称	神埼市民がまちのことを知る機会づくり 歴史・文化・自然の継承	
■何をする（具体的な取組み）		
	具体的に何をやるか	何を目標にするか
すぐやること 1、2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味の人を活用 ・他のテーマと合同 ・観光・歴史・自然ボランティアの育成、やりがいづくり ・野草などの観察会（自然、材木） ・キーワードを作る+アプリ+ポイント ・SNSの活用 ・図書館（機能・職員・資料の充実） ・文学散歩の周知 ・留学生との交流（視点を活用） ・財源の確保 ・土地、地域についての情報 	<ul style="list-style-type: none"> ・神埼（歴史・文化・自然）の周知
次にやること 3、4年目	<ul style="list-style-type: none"> ・認知度・活用度の調査 ・HP・アプリでの地元の情報発信 ・教育・授業との連携 ・既存施設の活用 ・マスター制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が知っている ・市報（回覧板）を家族全員が読む ・段階的な知識充実 ・子どもの居場所
時間をかけてやること 5年目	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館のレベルアップ ・会議（お茶会、座談会）の継続・向上 ・話し合いの意見の反映できるシステム 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を全てのスタートにする ・図書館に行けば何でも分かる ・図書館をよろず相談所に
■誰がする（役割分担）		
住民がすること	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の参加 意見の表出 ・住んでいる地区を見直す、知る ・歴史・建物を調べる ・情報の集約 ・できることからやる 	
行政がすること	<ul style="list-style-type: none"> ・タテ割りの行政システムの見直し ・市民の意見を聞く、説明する ・市民と行政の協働（話し合いの場の運営など） ・全体を通して評価する。先のことを見る ・アプリ開発、SNS ・図書館（機能・職員）の充実 	
その他関係する仲間	<ul style="list-style-type: none"> ・文化連盟 ・郷土研究所 ・文化の杜（読書ボランティア） ・社協、男女参画 ・教育機関 など 	

私のチャレンジ宣言

- ◇ 神埼の文化向上のために図書館の充実を願っています
- ◇ 自分の思いを人に伝え、輪を拡げたいと思っています
- ◇ 神埼市の文化向上のため図書館の充実が出来るよう声を出していきます
- ◇ まだ知らない神埼について知る・学ぶ
- ◇ 何でも参加してみます

5班まとめ

プロジェクト名称	神埼にある資源の活用・連携・観光ルートづくり	
■何をやる（具体的な取組み）		
	具体的に何をやるか	何を目標にするか
<p>すぐやること</p> <p>1、2年目</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次計画の評価 現状の把握 ・プロジェクトチーム発足（市民・行政・関係団体） ・現在、どのような取組みがされているか、行政主導のもの、地域に継承されているもの、住民の取組み（NPOなど）を把握する <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域の資源・宝物を出し合う、リストアップ ・今ある資源などリストの確認 ・資源の洗い出し（そうめん、菱、歴史・文化、九年庵、偉人） <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源のジャンル（文化財・風景・景観・食材） ・観光ルートのテーマ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の状況を知る（継続すべきもの、改めるもの、始めるもの） ・住民が再発見できる神埼魅力をPRする ・体験型・癒し型・驚き型・魅力型を決めていく ・情報発信の方法（自ら？他人を使って？）を考える
<p>次にやること</p> <p>3、4年目</p>	<p>①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光の新たな創造 ・市民・各種団体・行政等の協議 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的観光 <ul style="list-style-type: none"> ・観る～食する ・海拔1m～1500m（四季の移り変わりを観光に取り組んだルートづくり） 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある資源活用策の提案（特に市外の人にとって）
<p>時間をかけてやること</p> <p>5年目</p>	<p>①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼き物 ・昔の農業製品を今風に ・そうめん ・木工製品の体験 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住む人が地元を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の人が喜ぶ地域づくり
■誰がやる（役割分担）		
住民がすること	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の良さを知る努力 ・SNSの活用による個々の情報発信 	
行政がすること	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の方へ魅力を伝える努力 	
その他関係する仲間	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信に強い方（個人・法人など）を集める努力 	

私のチャレンジ宣言

<p>◇ 市についてもっと知り、会合等があれば参加したい</p> <p>◇ 地元脊振の人はもちろん、神埼、千代田の人ともつながって、海から山まで（0mから1055mまで）のおもしろい体験型の観光ルートを考える</p> <p>◇ “神埼のあることが当たり前”の魅力を自分から知る、活用する、伝える、の3段取り組みを行う</p> <p>◇ 健康で長生き。若さを保つ</p>
--

6班まとめ

プロジェクト名称	巡回販売車や巡回バス等の生活利便性の向上	
■何をする（具体的な取組み）		
	具体的に何をやるか	何を目標にするか
すぐ やること 1、2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートを分ける ・巡回バスルート変更 ・時刻表を見直す （鉄道、巡回バス、路線バス連携） ・商工会と協力して配達をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・無料利用者増
次に やること 3、4年目	<ul style="list-style-type: none"> ・注文制販売車 	
時間を かけて やること 5年目	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回バスの回数を増やす ・送迎団体の立ち上げ 地域の力で対応する ・乗合タクシー（障がい者の方は個別対応） ・住民タクシー 	
■誰がする（役割分担）		
住民が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・利用すること 	
行政が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金 	
その他 関係する 仲間	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会 ・社協 ・タクシー会社 ・バス会社 	

私のチャレンジ宣言

- ◇ 販売移動車の件で商店と交渉します
- ◇ 利用する
- ◇ 物が売買される場の運営する。手伝いをしたい
- ◇ 商工会に呼びかけて商品の配達や巡回販売等の仕組み作りを行っていく



第 2 次神崎市総合計画 ～基本構想～ (案)

平成 29 年 11 月

神 崎 市

目次

【はじめに】

第1章 総合計画策定にあたって.....	2
1. 計画策定の目的.....	2
2. 計画の構成と期間.....	2
3. 計画の位置づけ.....	3
第2章 神埼市の現状と課題.....	4
1. 時代の潮流.....	4
2. 現況の特性.....	6
3. まちづくりに対する住民意識.....	11
4. まちづくりの分野別主要課題.....	12

【基本構想】

第1章 神埼市の将来像.....	16
第2章 神埼市の将来都市構造.....	17
第3章 神埼市の人口目標.....	19
第4章 神埼市のまちづくりの基本理念.....	20
第5章 神埼市のまちづくりの基本方針.....	21
基本方針① 子育てから介護まで、誰もが安心して暮らせる環境を充実させる.....	22
基本方針② 市民の日常生活を支える商業・医療機能や、買い物や通院等の利便性を高める.....	22
基本方針③ 市民の暮らしを守り、支え合う、災害に強いまちづくりを進める.....	22
基本方針④ 神埼市で暮らし続けられる、暮らしたくなる環境をつくる.....	23
基本方針⑤ まちへの誇りを育む教育・学習の充実と神埼市の歴史・文化を継承していく.....	23
基本方針⑥ 神埼市の豊かな自然を保護、活用する.....	23
基本方針⑦ 地域資源を活かした、魅力ある観光・交流のまちづくりを進める.....	24
基本方針⑧ 農業や地場産業を活かした、特徴のある産業を育成する.....	24
基本方針⑨ 新産業の育成や新たな企業参入の支援により雇用を創出する.....	24
基本方針⑩ 財政規模にあった計画的な都市基盤の整備を進める.....	25
基本方針⑪ 市民と行政の協働のまちづくりをさらに進める.....	25
基本方針⑫ 効率的かつ効果的な行財政運営を行う.....	25

第1章 総合計画策定にあたって

1. 計画策定の目的

本市は、平成18(2006)年3月20日に3町村が合併し、神崎市として誕生してから10年を迎えました。

この間、平成20(2008)年度から平成29(2017)年度までの10年間を計画期間とする総合計画(第1次神崎市総合計画)を策定し、市が目指すべき将来の都市像を「自然と歴史と人が輝く未来都市 ～潤いと活力を次世代へ継ぐ、夢創造都市をめざして～」として、長期的な施策の指針のもと、時代に対応した様々な行政課題に取り組んできました。

現在、本市を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の一層の進展、自然災害をはじめとする安心・安全に対する市民意識の強まり、地域主権改革や地方創生の推進など、大きく変化している状況にあります。

また、市民ニーズの多様化、高度化が進み、画一的な行政運営では対応が困難となっており、更なる市民等と行政による協働のまちづくりへの取り組みがこれまで以上に強く求められています。

総合計画は、あらゆる時代の変化があっても、進むべき方向を見失わずに市政運営を展開するための長期的な指針であり、行財政運営の最上位の計画と位置づけられます。計画は、基本構想と基本計画を一体的に示し、戦略的な視点をもって施策を推進していくことが、本市の発展に不可欠であると考えます。

そのため、これまでの10年間の取り組みを踏まえながら、これからの10年間の目指すべき将来像と目標を定め、市民と行政とが協働して取り組む新しいまちづくりの指針となる第2次神崎市総合計画を策定するものです。

2. 計画の構成と期間

(1) 計画の構成

市民と行政の協働によるまちづくりを実現していくための指針となる総合計画は、「基本構想」及び「基本計画」で構成します。

なお、総合計画に基づく具体的な事業の内容を明らかにする「実施計画」を今後毎年度策定していきます。

基本構想	基本構想は、まちづくりの基本理念と、これにより実現を目指す神崎市の将来像(基本目標)を定め、市政運営の体系を明らかにするものです。
基本計画	基本計画は、基本構想に掲げる将来像の実現に向けて、各分野で取り組むべき施策の基本方向と施策の体系を明らかにするものです。
実施計画	実施計画は、基本計画で示した施策の方向にしたがって、具体的な事業の内容を明らかにするものです。

第2章 神埼市の現状と課題

1. 時代の潮流

(1) 人口減少・少子高齢化の進行

我が国では、国勢調査ベースで平成 22 (2010) 年をピークに人口減少局面に入りました。人口の減少とともに少子高齢化も進行して、特に高齢化はこれまで世界で経験したことがない急激なスピードで進行しています。

このまま進むと、平成 60 (概ね 2050) 年代には人口が 1 億人を割り込むとともに、高齢化率が 38%前後に達すると予想されています (国立社会保障・人口問題研究所平成 29 (2017) 年推計)。

このような人口構造の急激な変化は、東京一極集中という言葉に示されるように、地域的な偏在を伴っており、地方では若年層の流出や中山間集落の持続性の危機など深刻な問題が生じています。

国ではこうした状況を打開するため、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成 26 (2014) 年) や国土形成計画 (平成 27 (2015) 年) の策定などの取り組みが進められ、一極集中の是正、結婚や出産の支援と出生率の回復、地域の特性に応じた地域課題の解決などを柱として、各地域で同様の取り組みを推進することが促されています。

(2) 大規模な災害の発生とインフラの老朽化

平成 23 (2011) 年の東日本大震災は、広域かつ甚大な被害をもたらしましたが、その後も平成 28 (2016) 年の熊本地震、平成 29 (2017) 年の九州北部豪雨など、各地でこれまでの経験を超えた災害が発生し、多くの人命や財産が失われました。

我が国には多くの断層帯が分布し、大規模な地震がどこでも発生する可能性があることや、近年、時間雨量 100 ミリを超える豪雨をもたらす気候変動が風水害・土砂災害の激甚化をもたらす可能性があることなど、様々な災害に対して備えていくことに警鐘がなされています。

また、高度成長期に集中的に整備された道路や橋梁、その他の公共施設は、整備後 50 年以上経過したものも多く、災害時に機能するべきインフラが損傷して被害を助長する恐れや、今後その維持管理や更新に要する費用が財政を圧迫することが懸念されています。

さらに近年は、顕在化している空き家問題や所有者が把握できない土地の存在、耕作放棄地や山林の荒廃化など、人口の減少や高齢化などに起因する土地の利用のあり方がまちづくりにも問題を及ぼすようになっていきます。

(3) 情報技術の急速な発展

情報技術の発展は、インターネットなどの情報通信技術の総称として用いられた ICT (Information Communication Technology: 情報通信技術) の言葉はすでに定着し、近年は、IoT (Internet of Things : モノのインターネット)、ビッグデータ、ロボット、人工知能 (AI) など分野別に深化する形で、かつこれまでにないスピードと拡がりを持って進行しています。

こうした技術革新は、個人の日常生活におけるスマートフォンや SNS の普及から、産業面における農業への活用、医療、福祉、教育分野への導入、行政サービスなどまで広範囲に影響を及ぼし、社会経済システム全般を大きく変革する可能性があります。

社会経済システム全般に及ぶ変化は、小売業における需要予測の精緻化、農林水産業における生産性の向上、新たな予防・健康増進サービスの創出、公共交通サービスや行政サービスの向上などにつながることを期待されています。

(4) 地球環境・エネルギー問題

東日本大震災を契機として、エネルギーの効率的な利用、再生可能エネルギーの導入促進など、需給両面からの取り組みの必要性が強く認識されました。また、地球温暖化対策の新たな国際的な枠組みであるパリ協定が発効して、温室効果ガスの排出削減に向けた低炭素化の取り組みを推進することが必要となっており、地域においても、自然エネルギーの積極的な活用や循環型社会の構築などを通じた地球環境問題への対応の促進が求められています。

(5) 価値観の多様化と働き方の変化

人口の減少や高齢化に伴う生産年齢人口の縮小傾向から、有効求人倍率が 1.0 を超える人材の不足が定常化するようになっていきます。

また、女性の社会進出が進み、子育て世帯への支援や働き方の改革が求められていること、自然への回帰や地域社会との繋がりを大切にする生活志向など、若い世代を中心に新たな価値観、ライフスタイルにもとづく行動が増えてきていることなど、地域においてだれもが暮らしやすい環境を整えていくことがこれからのまちづくりにとって重要な課題となっています。

(3) 人口の特性

①人口・世帯

平成 27 年の国勢調査によると、本市の人口は 31,842 人で、平成 22 年からは 1,000 人を越える減少となりました。平成 12 年までは人口増加が続いていましたが平成 17 年に減少に転じ、徐々に減少幅が拡大する傾向となっています。

平成 27 年の世帯数は 10,913 世帯で、平成 22 年から 172 世帯増加しました。世帯数は、これまで増加傾向が続いていますが、増加幅は小さくなっています。

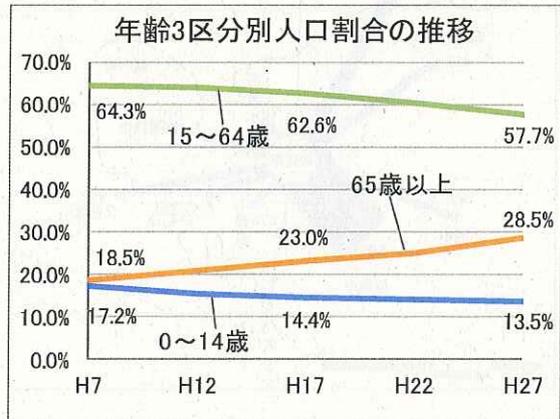
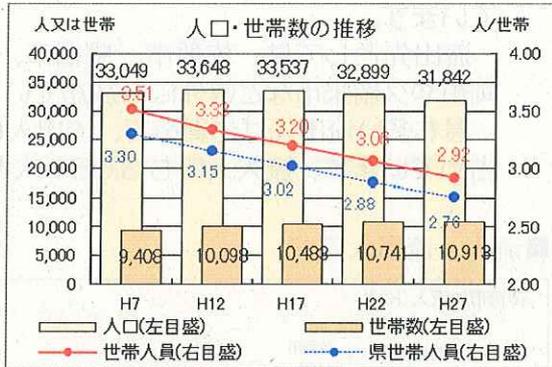
世帯当り人員は、県平均より高い値を推移していますが、平成 27 年は 2.92 人/世帯と、年々縮小しており、核家族化の傾向がみられます。

②年齢構成

年齢構成は、0～14 歳の年少人口と 15～64 歳の生産年齢人口の割合が減少傾向であるのに対して、65 歳以上の高齢人口割合が増加する傾向にあります。高齢化率は平成 7 年の 18.5%から平成 27 年には 28.5%と 10 ポイント上昇しています。

③人口動態

人口増減の内訳を見ると、死亡数が出生数を上回る自然減が徐々に拡大傾向にあります。また、転出者が転入者を上回る社会減となる年次が多くなっています。



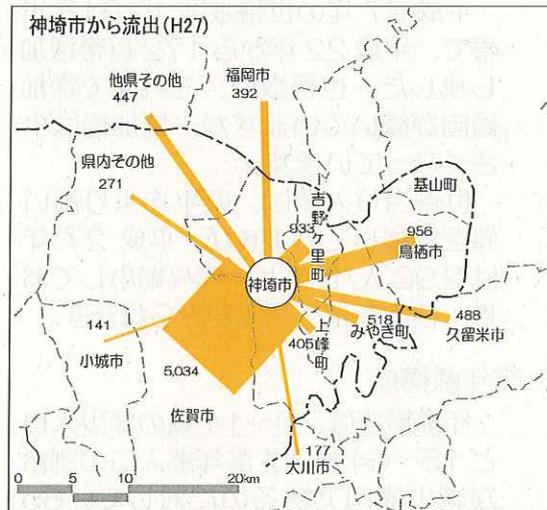
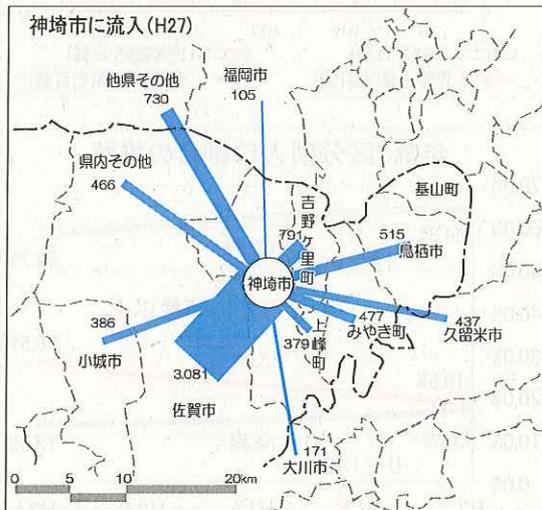
④人口の流入・流出

平成 27 年の通勤通学による日々の人口流動は、2,224 人の流出超過となっています。

流出先としては、佐賀市、鳥栖市、吉野ヶ里町などの近隣自治体が多く、福岡市や久留米市など県外にも及んでいます。

最も多い流出先は佐賀市で、流出人口は 5,034 人と本市就業人口の約 3 割を占めています。流入人口も 3,081 人と、本市との結びつきが強いといえます。

■ 流入・流出人口

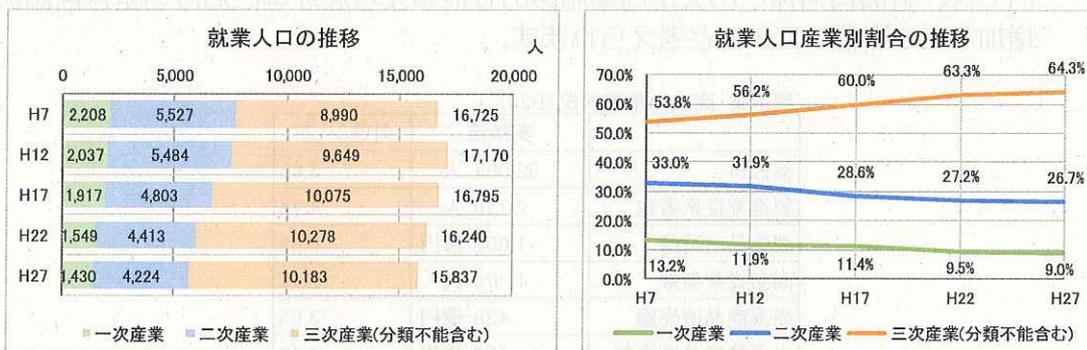


(4) 産業の特性

①就業構造

本市の就業人口は増加基調が続いていましたが、平成12年の17,170人をピークに減少に転じ、平成27年は15,837人となっています。

産業別就業人口は、第一次産業が減少を続け、平成27年には1,430人、割合も9.0%と10%を割り込みました。第二次産業も減少傾向にありますが、平成27年には4,224人、割合は26.7%となっています。第三次産業は、実数、割合ともに増加が続き、平成27年には10,183人、割合は64.3%に達しています。



②農業

平成27年の農家数は435戸で、平成22年から125戸減少しています。経営耕地面積は2,676haで、平成22年から約400ha減少しています。経営耕地は、田が98.6%と大半を占めています。

平成27年の農業就業人口は761人で、平成22年から238人減少しています。このうち60歳以上の割合が76%と4分の3を占めています。

平成27年の耕作放棄地の割合は3.0% (82ha) で、県平均割合の10.3%を大きく下回っています。

農業は本市の基幹産業として位置づけられていますが、高齢化や新たな担い手の不足、市の北部における中山間地域の持続性などが問題となっています。

農業関連指標の推移

	平成22年 a	平成27年 b	増減 b-a	増減 割合
農家数(戸)	560	435	-125	-22%
経営耕地面積(ha)	3,069	2,676	-393	-13%
農業就業人口(人)	999	761	-238	-24%
うち60歳以上率	69%	76%	6%	—
耕作放棄地面積	72	82	10	14%
耕作放棄地割合	2.3%	3.0%	0.7%	—
〃 (県)	9.2%	10.3%	1.1%	—

資料:農林業センサス

※耕作放棄地の割合=耕作放棄地面積÷(耕作放棄地面積+経営耕地面積)

③商工業

平成 26 年の工業統計によると、本市の製造業従業者は 2,750 人、製造品出荷額は 1,008 億円となっています。また、商業統計による商業従業者は 1,476 人、商品販売額は 438 億円となっています。

総人口が県全体に占める割合を目安に、製造業、商業の各値がそれぞれ県全体に占める割合をみると、製造業は従業者数、製造品出荷額ともに人口割合を上回っており、県平均に比べ活発であることがわかります。これは、企業の誘致や工業団地の立地が進んだ結果であると考えられます。

商業は、従業者数、販売額ともに人口割合を下回っており、特に小売業については、近隣自治体への大型商業施設の立地やまちなか等における空き店舗の増加などが影響していると考えられます。

製造業・商業の集積状況(H26)

	実績値	対県シェア
総人口	32,007 人	3.8%
製造業従業者数	2,750 人	4.7%
製造品出荷額	1,008 億円	5.8%
商業従業者数	1,476 人	2.7%
商業商品販売額	438 億円	3.0%
小売業商品販売額	196 億円	2.8%

資料:住民基本台帳、工業統計、商業統計

④観光

本市を訪れる観光客は、近年は約 120 万人前後で推移しています。

本市の観光の特徴としては、県外客が比較的多い反面、宿泊客が極めて少なく、また一人当たり消費額も非常に少ないことがあげられます。



観光の特性(H27)

	神崎市	佐賀県	県内20市町における順位
観光客数	千人 1,144	千人 36,901	10
宿泊者率	0.5%	8.3%	16
県外客率	74.9%	66.5%	4
一人当たり消費額	円/人 623	円/人 3,371	19

資料:佐賀県観光客動態調査

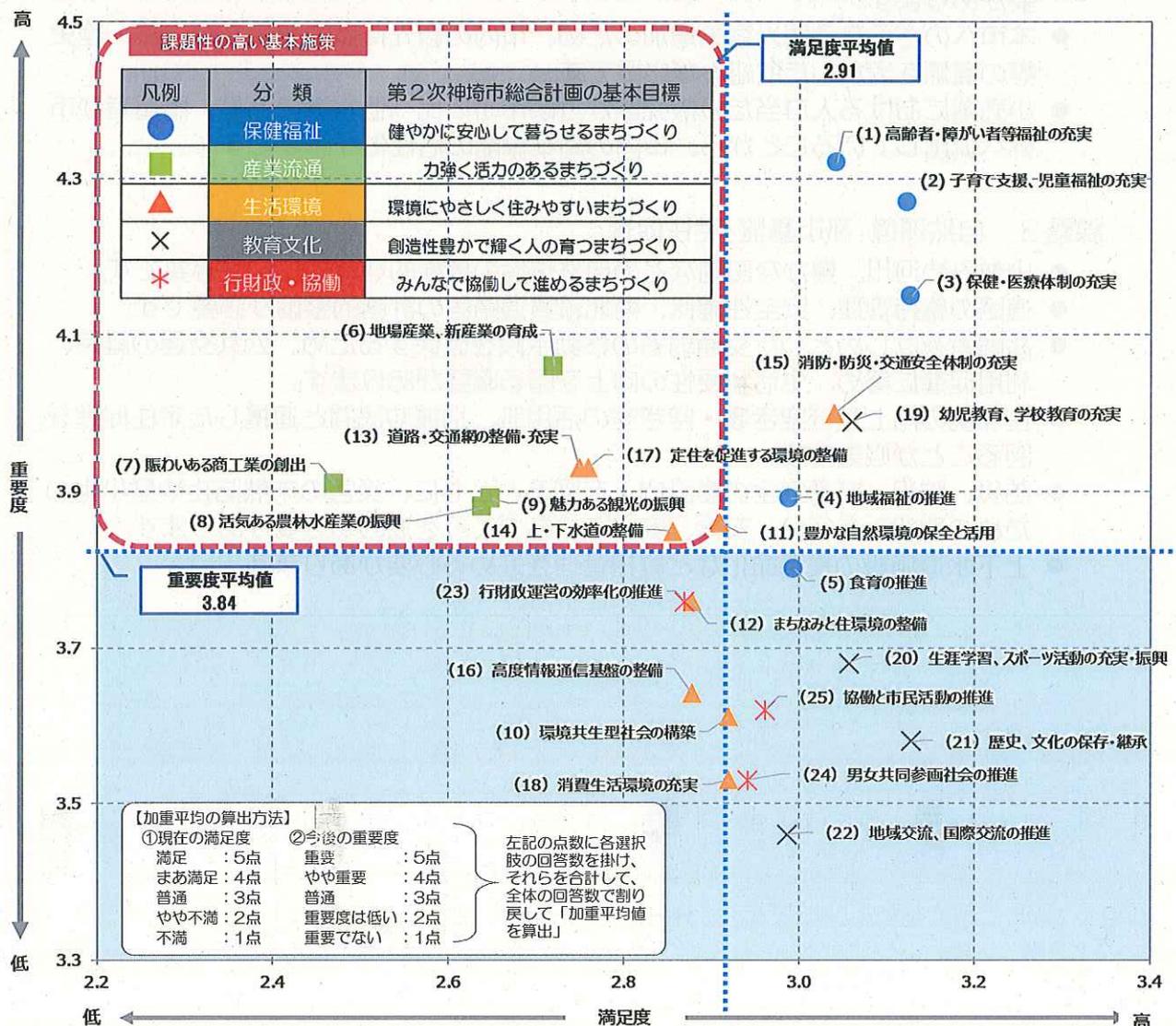
3. まちづくりに対する住民意識

平成 29 年 8 月に実施した市民まちづくりアンケートでは、第 1 次総合計画に位置づけられている施策について、神崎市に暮らす中での現在の満足度と今後の重要度を尋ね、その結果を加重平均値として点数化し、分析を行いました。

現在の満足度が低いと評価されている施策の下位 3 つは、「賑わいある商工業の創出」「活気ある農林水産業の振興」「魅力ある観光の振興」の産業に関する施策が占め、今後の重要度が高いと評価されている施策の上位 3 つは、「高齢者・障がい者等福祉の充実」「子育て支援、児童福祉の充実」「保健・医療体制の充実」の福祉・医療に関する施策が占めています。

課題性の高い施策（平均より重要度が高く、満足度が低い施策、下図の赤枠部分）としては、「地場産業、新産業の育成」「賑わいある商工業の創出」「活気ある農林水産業の振興」「魅力ある観光の振興」「豊かな自然環境の保全と活用」「道路・交通網の整備・充実」「上・下水道の整備」「定住を促進する環境の整備」の 8 つの施策があげられています。

■第 1 次総合計画に位置付けている施策の現在の満足度と今後の重要度の相関関係



4. まちづくりの分野別主要課題

課題1 保健・福祉・医療

- 市民ニーズや時代の変化に対応しながら支援制度、相談体制、サービス提供等のあり方を確立させ、誰もが暮らしやすいまちを形成することが必要です。
- 子どもの数が減少する中で、多様なニーズに応じた子育て支援体制の構築や子ども医療の充実などにより、子どもを産み、育てやすい環境整備が必要です。
- 市内の医療機能の充実を図るとともに、医療、介護等の社会保障費の増加が今後見込まれるため、健康づくりへの積極的な支援等による病気の未然防止や重症化予防を図ることが必要です。

課題2 産業振興・観光振興

- 市内工業団地等への企業の進出を図るとともに、地場産業についても育成、支援を強化し、振興を図る必要があります。
- 耕作放棄地率は県内水準より低いものの、農業就業者の高齢化や後継者不足は進行しており、担い手農家や新規就農者を育成し、農地の集約を図っていく必要があります。
- 本市へのさらなる観光客の増加のため、市内の観光拠点の整備及び自然・歴史等の資源を活かした取組みが必要です。
- 小売業における人口当たり販売額が近隣市町に比べ低水準にあり、購買者が市外へ流出していることから、市内の商業機能の活性化が必要です。

課題3 自然環境・都市基盤・定住促進

- 山並みや河川、豊かな田園などの自然環境の積極的な維持保全が必要です。
- 道路の維持管理、安全性確保、南北縦貫道路等の計画的整備が必要です。
- 高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保するため、公共交通の維持、利用促進に努め、生活利便性の向上を図る必要があります。
- 住環境の向上及び空き家・空き室の活用等、地域や民間と連携した定住促進を図ることが必要です。
- 防災、防犯、交通安全の意識向上を図るとともに、災害の未然防止や最小化のための取組みを行い、安全、安心なまちづくりを進める必要があります。
- 上下水道施設の長寿命化など維持管理を進める必要があります。

課題4 教育・文化・交流

- 学校施設・設備の老朽化に適切に対応するとともに、ICT等を活用した子どもが学習しやすい環境を整える必要があります。
- 外国語教育への対応など、時代に合わせた学力の向上に取り組む必要があります。
- 多様化する生涯学習やスポーツへのニーズに対応できる環境の整備に取り組むとともに、新たな活動機会の創出を図る必要があります。
- 豊富な歴史資源や伝統文化を守り次世代に継承するとともに、観光や文化交流等に積極的に活用することが必要です。
- 国際交流の取組み目的を明確化し、導入期における相互の信頼関係の構築と安定した交流の継続に取り組む、更なる発展を目指す必要があります。

課題5 行財政改革・市民参画

- 自主財源が約3割に留まっており、合併特例措置額が平成28年度から段階的に縮減され平成32年度には打ち切りとなることから、新たな財源（財政）計画の策定や効率的な財政運営が必要です。
- 事務執行の改善や限られた職員数で効率的に業務を遂行するための取組みが必要です。
- 男女共同参画の取組みを更に推進し、ジェンダーフリーについての理解を深めることが必要です。
- 協働のまちづくりの重要性を認識し、活動内容などの情報発信を強化することでまちづくりへの市民参加を促すことが必要です。

第1章 神埼市の将来像

神埼市は吉野ヶ里遺跡を代表とした県下でも有数の遺跡の宝庫であり、約25,000年前の旧石器時代から人々の営みを確認できる歴史のまちでもあります。

「神埼」の名の由来の一説として、市中心部に位置する櫛田宮の造営により荒ぶる神を鎮め祀ったところ、人々を苦しめた災厄が無くなり幸せになったことから、この地が「神埼郡（かんざきのかおり）」となったと言われています。この伝承が示す「人々が幸福に暮らしている姿」は、どのような時流の変化においても、本市が常に目指していくべきビジョンであると考えます。

3 市町の合併により生まれた本市は、自然豊かな脊振地域、まちと歴史が共存する神埼地域、水田とクリークが特徴的な千代田地域と変化に富んでおり、合併から10年を経た今、地域の枠を超え、市民・行政・各種団体などがそれぞれにできること・得意分野で役割を担うことによる「**オールかんざき**」のまちづくりを協働で進めていく必要があります。

神埼市全体の課題やよろこびを「他人ごと」ではなく「**自分ごと**」として考えていくことにより、市民と市民がつながり、絆が生まれます。この絆を「となり近所」から「地区」へ、「地区」から「市全域」へと広げることにより創出される誇りや活力を次世代へと受け継ぐことを、第2次神埼市総合計画では目指していきます。

将来像（現行）

自然と歴史と人が輝く未来都市

～ 潤いと活力を次世代へ継ぐ夢創造都市をめざして ～

将来像（案）

○○○○○○○○

～ ○○○○○○○○○○○○○○○ ～

第2章 神埼市の将来都市構造

神埼市の将来都市構造として、以下のゾーニングの設定及び、拠点、軸の配置を行います。

●土地利用のゾーニングの設定

農業・田園、山林、市街地、工業生産の4つのゾーンを設定します。

概ね長崎自動車道を境に、以南の平野部は水田を主体とした農業・田園ゾーンとします。以北の丘陵地、山地部は、山林主体の山林ゾーンとします。JR 神埼駅周辺は、都市的土地利用がまとまって分布する市街地ゾーンとし、また南部の国道 385号と県道が交差する付近及び長崎自動車道東脊振 IC に接続する県道付近に工場や流通機能の立地を図る工業生産ゾーンとします。

●拠点の配置

中心拠点、地域拠点をそれぞれ配置します。

中心拠点は JR 神埼駅付近の新市庁舎や旧長崎街道沿道の商店街等を含む地区に位置づけ、本市の主要な都市機能が集積したまちの賑わいの中心地としての形成を図ります。

地域拠点は、北部の脊振複合施設を中心とした地区及び南部の千代田庁舎を中心とした地区にそれぞれ位置づけ、北部、南部地域における商業、医療、福祉、コミュニティなどそれぞれの市民の日常生活を支える機能を持った拠点形成を図ります。

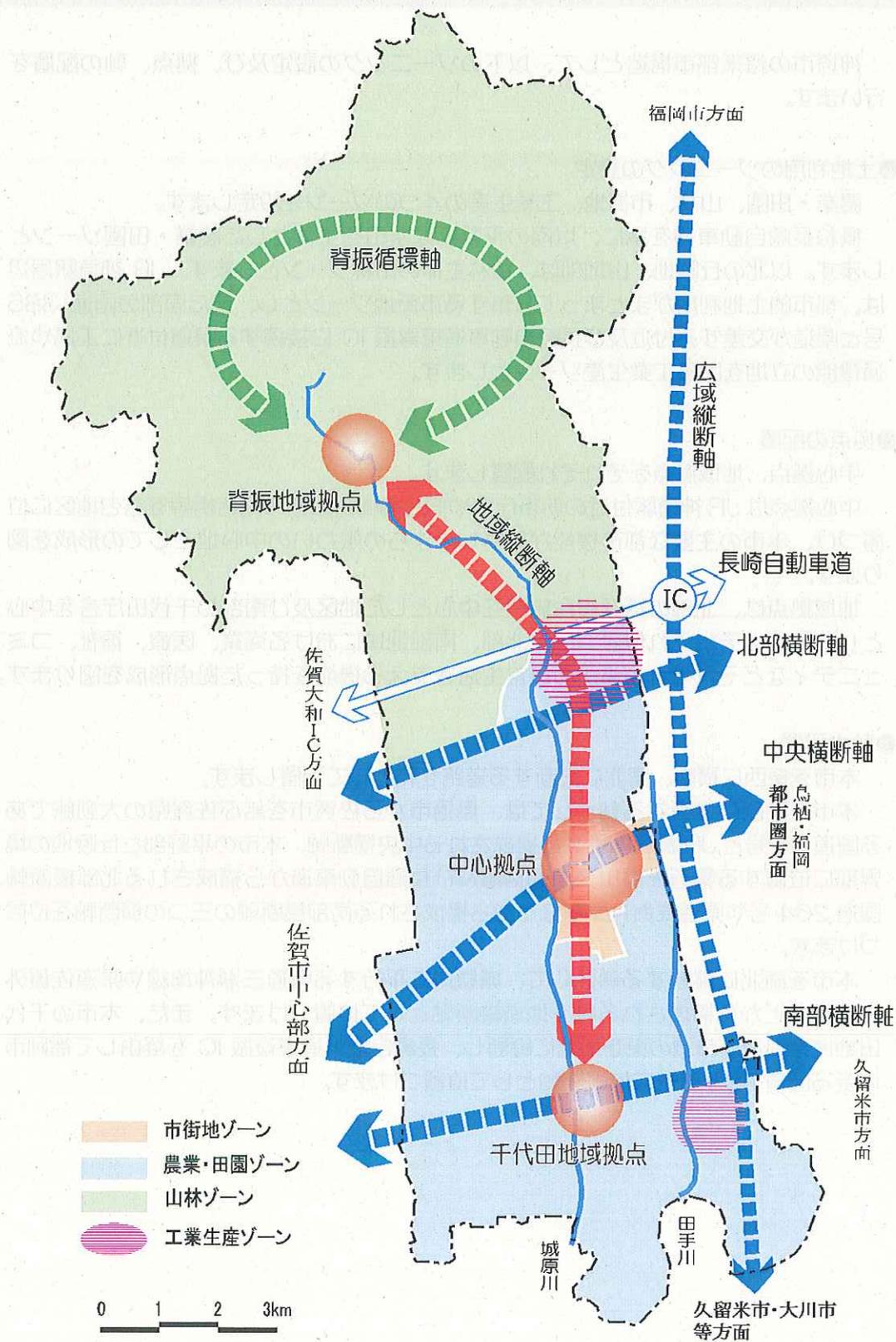
●軸の配置

本市を東西に横断、南北に縦断する道路を軸として配置します。

本市を東西に横断する軸としては、鳥栖市から佐賀市を結ぶ佐賀県の大動脈である国道 34号と JR 長崎本線から構成される中央横断軸、本市の平野部と丘陵地の境界部に位置する県道佐賀川久保鳥栖線及び長崎自動車道から構成される北部横断軸、国道 264号や県道佐賀八女線などから構成される南部横断軸の三つの横断軸を位置づけます。

本市を南北に縦断する軸として、城原川に平行する県道三瀬神埼線や県道佐賀外環状線などから構成される軸を地域縦断軸として位置づけます。また、本市の千代田地域東部及び市域の東を南北に縦断し、長崎自動車道東脊振 IC を経由して福岡市に至る国道 385号を広域縦断軸として位置づけます。

■ 神埼市の将来都市構造イメージ



第3章 神埼市の人口目標

国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」とします）の将来推計人口（平成25（2013）年推計）によると、本市の人口は今後も減少を続け、今回の総合計画の目標年次である平成39（2027）年には約29,600人と3万人を割り、高齢化率も33.6%になると予測されています。

一方、平成27（2015）年に策定した「神埼市人口ビジョン」では、下記の二つの仮定のもとに、概ね45年後の平成72（2060）年の社人研予測値約20,700人に対して、市独自推計値として約24,900人を目標人口としています。

仮定① 合計特殊出生率について、平成32（2020）年に1.80、平成42（2030）年に2.1まで上昇したのちこれを維持

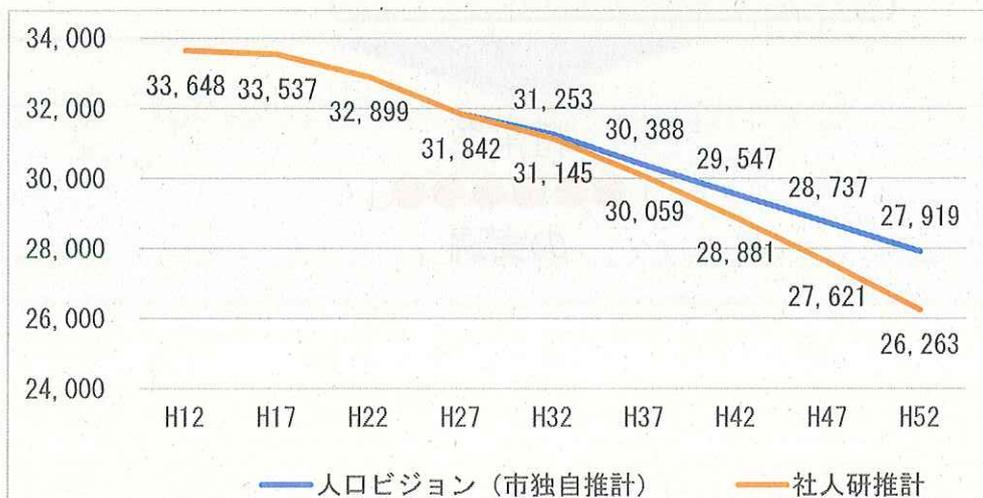
仮定② 人口移動の純移動率について、平成32（2020）年までは社人研の人口推計と同じ値とし、平成32（2020）年から平成42（2030）年までにゼロに収束

第2次総合計画の人口フレームは、この市独自の推計値を用い、本総合計画の目標年次である平成39（2027）年について算定すると概ね30,100人となり、これを目標人口として設定します。

■神埼市の将来人口推計

		平成27(2015)年 国勢調査	平成30(2018)年 基準年	平成39(2027)年 目標年	平成42(2030)年 参考(人口ビジョン)
総人口		31,842 人	31,500 人	30,100 人	29,547 人
年齢 階層別 割合	0～14歳	14%	13%	13%	13%
	15～64歳	58%	56%	54%	54%
	65歳以上	29%	30%	33%	33%

※基準年の値は、平成27(2015)年国勢調査値と平成32(2020)年人口ビジョン推計値の中間値の概数
 ※目標年の値は、平成37(2025)年、平成42(2030)年人口ビジョン推計値の中間値の概数



第4章 神埼市のまちづくりの基本理念

神埼市のまちづくりを進めていく上で、各分野、局面において人口減少、少子高齢化に対応していくことが喫緊の課題です。

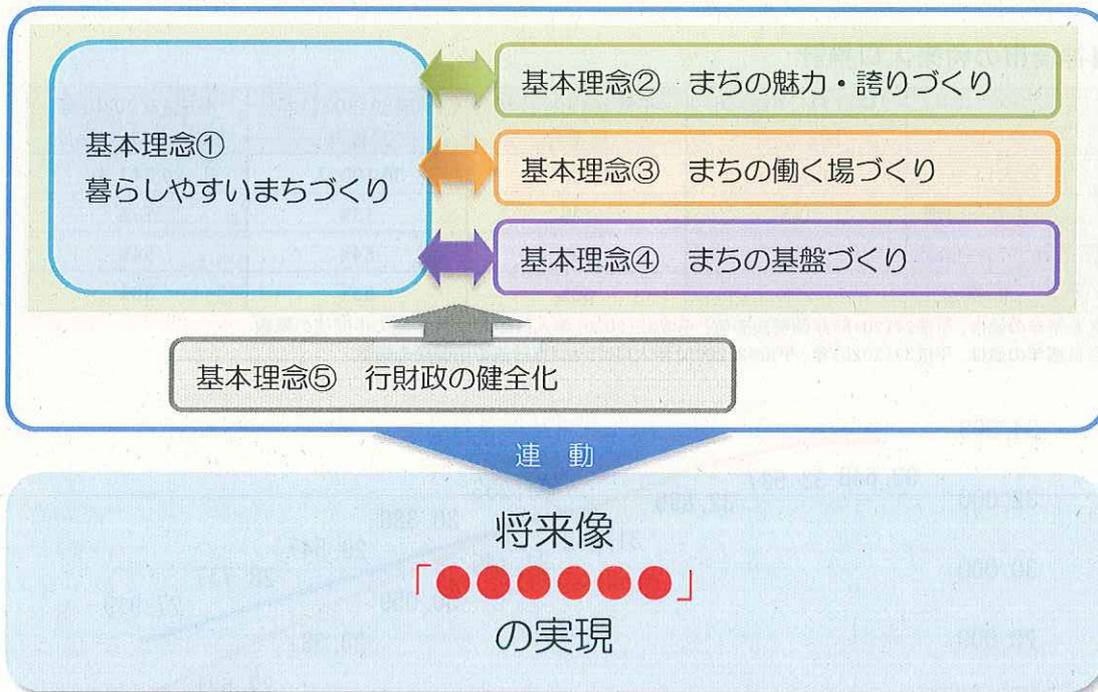
この課題に対応し、前述の人口目標を達成するためには、市民が共通して感じている本市の特色である「暮らしやすさ」を伸ばしながら、その暮らしを支える「働く場」と「まちの基盤」を今後も維持、強化するとともに、市民一人ひとりが本市で暮らしていることに誇りを持ち、その魅力を「神埼らしさ」として発信することが求められます。

また、市の規模や特性に応じた行財政の健全化を図り、本市を維持し続けることも、これからのまちづくりにおいては必要です。

以上を踏まえ、今後10年の神埼市のまちづくりの考え方として、5つの基本理念を掲げます。

これらの基本理念を連動させてまちづくりを進めることにより、神埼市の将来像「●●●●●●」の実現を目指します。

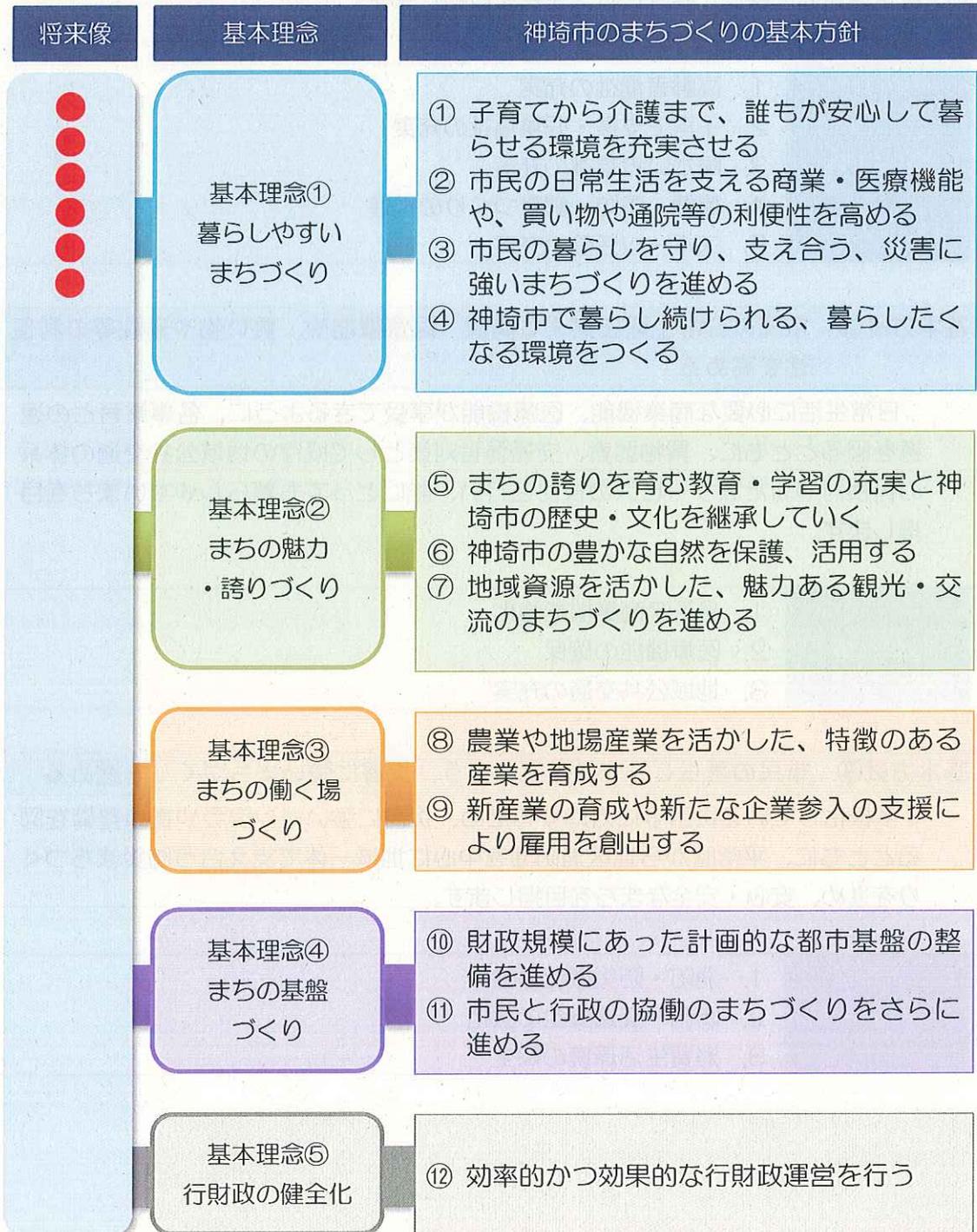
■神埼市のまちづくりの基本理念の位置づけ



第5章 神埼市のまちづくりの基本方針

第4章に位置付けた5つの基本理念に基づき、これからの神埼市のまちづくりを進める上での12の基本方針を掲げます。

■神埼市のまちづくりの基本方針の体系



【基本理念① 暮らしやすいまちづくり】

基本方針① 子育てから介護まで、誰もが安心して暮らせる環境を充実させる

医療・保健・介護・福祉・保育が一体となって協力、連携し、それぞれの事業所や団体、各地区の拠点等をつなぐネットワークを構築することで、子育てから介護まで、地域での見守り、支え合いの中で、誰もが生きがいを持ち、元気で健やかに暮らし続けられるまちを目指します。

基本施策

1. 高齢者福祉の充実
2. 子育て支援・児童福祉の充実
3. 障がい者福祉の充実
4. 保健・予防・健康づくりの推進
5. スポーツ活動の充実

基本方針② 市民の日常生活を支える商業・医療機能や、買い物や通院等の利便性を高める

日常生活に必要な商業機能、医療機能が享受できるように、各事業者との連携を図るとともに、買物弱者、交通弱者対策として既存の地域公共交通の体系の再検討や新たなサービスの検討を行い、誰にとっても暮らしやすいまちを目指します。

基本施策

1. 身近な商業機能強化
2. 医療機能の確保
3. 地域公共交通の充実

基本方針③ 市民の暮らしを守り、支え合う、災害に強いまちづくりを進める

多様化している災害等に対応するため、災害に強いインフラや拠点整備を図るとともに、平常時から地区消防団を中心に地域一体で支え合う防災まちづくりを進め、安心・安全なまちを目指します。

基本施策

1. 消防・防災機能の強化
2. 防犯・交通安全の強化
3. 消費生活環境の保全

基本方針④ 神崎市で暮らし続けられる、暮らしたくなる環境をつくる

住環境整備として、空き家等の利活用の推進と若者世代等の移住・定住の促進を図り、暮らしたくなるまちを目指します。

また、「かんざき暮らし」のきっかけとなる出会いの場の提供や創出に取組み、移住・定住に結びつくまちを目指します。

基本施策

1. 住環境整備、空き家等対策
2. 移住・定住促進策の充実
3. 出会いの場の提供、創出

【基本理念② まちの魅力・誇りづくり】

基本方針⑤ まちへの誇りを育む教育・学習の充実と神崎市の歴史・文化を継承していく

ICT等の時代のニーズに対応した教育環境の充実や今後の少子化を見据えた学校規模の適正化を推奨するとともに、歴史・文化を知り、学び、伝える機会を年齢に関係なく設けることで、市民一人ひとりが誇りを持って本市の魅力を語り継ぐことを目指します。

基本施策

1. 学校教育の充実
2. 生涯学習の推進
3. 歴史・文化の継承

基本方針⑥ 神崎市の豊かな自然を保護、活用する

背振山から筑後川までの多様な自然環境を引き続き地域とともに守り、その豊かな環境資源をレクリエーションや再生可能エネルギーとして活用を図り、自然環境の保護と活用のバランスが取れたまちを目指します。

基本施策

1. 環境共生・資源循環
2. 自然環境の保護・活用
3. まちなみ・クリーク・公園・生活環境の保全・活用

基本方針⑦ 地域資源を活かした、魅力ある観光・交流のまちづくりを進める

本市の自然と歴史の中で創り上げられた地域資源を磨き、特色ある観光資源として活用することで人の流れ（周遊）や交流を創出するとともに、それらの資源を神埼の魅力として全国に情報発信し、行きたくなる、また来たくなるまちを目指します。

基本施策

1. 観光拠点の機能強化
2. 観光振興策の充実
3. まちのPR・シティセールスの強化
4. 地域交流・イベントの強化
5. 国際交流の強化

【基本理念③ まちの働く場づくり】

基本方針⑧ 農業や地場産業を活かした、特徴のある産業を育成する

本市の基幹産業である農業や、神埼そうめんをはじめとした地場産業等の担い手の確保、育成を図るとともに、各事業者や関係者との連携の中で特産品の開発や、神埼ブランドの確立等を進め、地域に産業が息づくまちを目指します。

基本施策

1. 農林水産業の振興
2. 地場産業・伝統産業の振興
3. 地産地消、特産品開発の推進
4. まちなか活性化

基本方針⑨ 新産業の育成や新たな企業参入の支援により雇用を創出する

企業立地用地の確保と企業進出を推進することによって雇用を生み出すとともに、新たな産業育成、創業支援等により市内産業の活性化を目指します。

基本施策

1. 企業誘致の推進
2. 新産業育成・創業支援の強化

【基本理念④ まちの基盤づくり】

基本方針⑩ 財政規模にあった計画的な都市基盤の整備を進める

公共インフラについては、計画的な事業実施、公共施設については、適正配置を促し、効率的かつ効果的な整備・改善を進めることで、財政規模にあった持続可能なまちを目指します。

併せて、施設等の整備・改善にあたっては、ユニバーサルデザインの導入により誰でも安全に利用できる構造を目指します。

基本施策

1. 道路整備
2. 上・下水道整備
3. 高度情報通信基盤整備
4. 公共施設の適正配置
5. ユニバーサルデザインの推進

基本方針⑪ 市民と行政の協働のまちづくりをさらに進める

これからのまちづくりを支える貴重な「人財」として、誰もが参画、活躍できる市民協働の機会を積極的に提供するとともに、各地域のコミュニティの維持、活性化を図るため、地域内、地域間で支え合いながら、子どもから高齢者まで世代を超えて交流し、絆のあるまちを目指します。

基本施策

1. 市民活動支援・拠点づくり
2. 地域の絆・コミュニティづくり
3. 市民参画・協働の機会の提供
4. 男女共同参画の推進

【基本理念⑤ 行財政の健全化】

基本方針⑫ 効率的かつ効果的な行財政運営を行う

事務事業の徹底した見直しや職員のスキルアップ等により、事務の効率化及び市民サービスの向上を図るとともに、財源の確保、使用料等の受益者負担の適正化、市税等の滞納の縮減等により、財政の健全化を図り、安定した行財政運営が実現できるまちを目指します。

基本施策

1. 市民サービスの向上
2. 事務の効率化、組織のスリム化
3. 職員の育成、意識改革
4. 財政の健全化

第2次神崎市総合計画における「神崎市の将来像」について

【職員】

将来像	キーワード
人が輝く共創のまち 神崎市	人・安心・共創
市民で創るネクストステージ 神崎市	人・安全・安心
市民協働で創るネクストステージ 神崎市	人・教育・自然
自然と歴史と人が輝く未来都市 ※基本的な方針は変える必要がないものと判断したため、修正する必要なし	自然・歴史・人
元気よかまち神崎市	元気・住みやすいまち・神崎市
自然と歴史と人が輝く未来都市	自然・歴史・人
自然と人と歴史文化が奏でる交流のまち	人・誇り・歴史・交流・活気
健やかに安心して暮らせる活力ある夢のスローライフ	安心・活力・夢
子どもたちが健やかに成長できる町づくり	子ども・教育・保育・子育て支援・人づくり・成長
自然と歴史と人が輝く未来都市	自然・歴史・人
市民と協働のできるまちづくり	超高齢化大国・空き家・担い手不足
人びとの繋がりで発展しつづける町・かんざき	絆、協働、人材育成(マンパワー)
夢を育み理想の未来へ情報発信するまち	夢・未来・情報
共に助け合い安心・安全に暮らせるまち	安心・安全・共助
市民協働による安全・安心で活力に満ち、市民が誇りと愛着が持てる持続的なまち	市民協働・安全安心・誇りと愛着
自然と歴史と人が輝く未来都市	「自然豊かなまち」「歴史と文化、伝統がいぎづいているまち」「笑顔でにぎわいのある人情あふれるまち」
住環境の環境整備による住みたい市を実現し、戸建て住宅による人口増	住環境・人口増
自然と歴史と人が輝く未来都市	自然・歴史・人
神崎の中心に愛（I・人）が溢れ自然と歴史に魅せられた未来都市 【基本理念】 ○「自然と歴史、文化を守り、郷土（ふるさと）を愛する人が溢れるまちづくり」 ○「人を育み、ふれあいと人の繋がりによる安心があるまちづくり」 ○「市民一人ひとりのまちを愛する気持ちが輝くまちづくり」	①地域づくりは、そこに住む一人ひとりが地元への愛着を感じることができるか重要 ②あることが当たりまえである自然や伝統文化に感謝と愛着を感じることができる人づくりができるか重要 ③地域の助け合いがある暮らしやすさを感じられる地域愛が持てる環境づくりが重要
歴史や文化に愛着を持ち、活力ある街づくり	歴史・文化・活力
定住促進と雇用の拡大により若者を中心とした子育て世代が住みたいと思う神崎市	人口増、定住、雇用
人と人が助け合い郷土愛に満ちた神幸（かみさち）のまち	人・郷土愛・助け合い
緑豊かな自然と歴史に育まれた、未来志向の人が集うまち	自然・歴史・未来
自然と伝統を未来につなぐ、歴史と共存したまち	自然・歴史・安心
安心した子育て・市民共存のまち	人・子ども・生活
住民に活力がり、自然環境を活かした、住み心地のよいまち	人（活力、健康）・経済（市政運営基盤）・環境（住環境、国土保全）
魅力と活気のあるまち（神崎市）～暮らしたい 来てみたい 輝きたい～	人、歴史、自然
地域で安心して暮らせるまち神崎	暮らしやすさ・地域での支え合い・安全安心
輝く文化伝統・美しい自然・豊かなまち 神崎市	市民協働・伝統文化・教育
自然と歴史と人が輝く未来都市	自然・歴史・人
市民が恵まれた自然と歴史の中で住み易いと感じ、誇れるまちづくり	自然・歴史・人
市民が主役の住みよいまち	市民、主役、住む
みんなで夢と活気にあふれたまちづくり	市民協働
自然と歴史と人が輝く未来都市	自然・歴史・人 ◎「はつらつ：ほのほの：すくすく」 ○○満載・・・かんざき 元気！満載： 優しさ！満載： 幸せ！満載
「大切な何かが見つけれられるまち・・・かんざき。」	
神崎で、自然、歴史、暮らし・・・人生を満喫しよう！	
自然と歴史と人が輝く未来都市	自然・歴史・人

【市民ワークショップ】

将来像	キーワード
みんなで幸せまちづくり かんざき 神やどる自然と歴史 人と人がつながる やさしいまち神埼	幸せ子育て、幸せ終活、幸せ生活
住んでみたい幸せあふれるまち 人と人がつながるまち神埼	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい、住みたい、育む、未来、つながる、歴史、暮らしたい、幸せ、生み出す、自然、人 ・人がつながり幸せを生み出すまち神埼 ・住んで良かった神埼のまちを目指し ・全てにレベルアップ神埼だ ・活気、住みたい ・未来都市、成長 ・古代ロマン 人と自然が輝く神崎市 ・人と人がつながる町 ・皆んなで築こう神埼 ・住んでよかった 皆が幸せ
イキイワクワク みんなで創る みんなが主役のまち ー愛があふれだす神埼ー	

【キーワードまとめ】

キーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・人 ・歴史、伝統 ・自然 ・安心、安全 ・住みよい ・つながり、協働、交流、絆、助け合い、支え合い、人情、共創、共助 ・幸せ、元気、活気、活力、笑顔、はつらつ、魅力、愛 ・誇り、愛着 ・夢、未来 ・市民、みんなが主役 ・子育て、人づくり、成長、すくすく、教育

【現行】

将来像	キーワード
自然と歴史と人が輝く未来都市 ～潤いと活力を次世代に継ぐ夢創造都市をめざして～	・自然・歴史・人

【事務局より提案】

将来像	キーワード
時代を超えて幸せをつなぐまち 神崎市 ～自然と歴史と人が宝 誇りあるまちをめざして～	・幸せ・つながり・誇り